地域に生き、世界に伸びる

熊本県立大学
Prefectural University of Kumamoto

2024 University Guide
大学案内

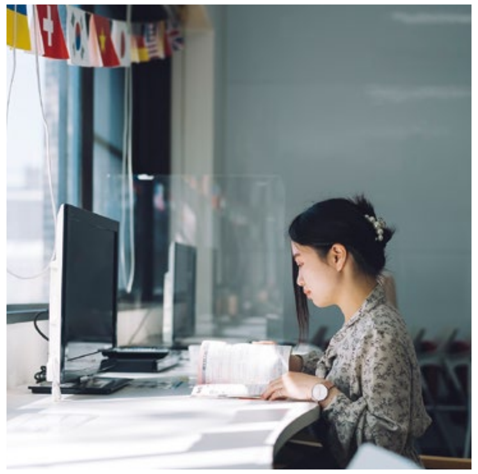
「未来のわたし」を創る場所

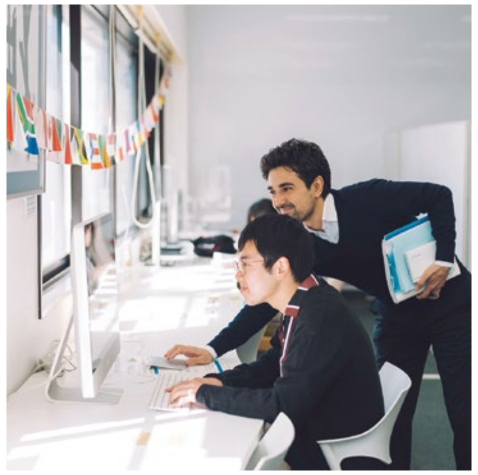
熊本から世界へ羽ばたく

熊本県立大学は、文、環境共生、総合管理の３学部３研究科からなり、人文科学系、自然科学系、社会科学系の３つが有機的に結合した先進的な「集約型大学」です。

また、「地域実学主義」を教育理念とし、「理論を現場に学ぶ」体験的、実践的学修方法であるフィールドワークや、地域課題解決と教育を結び付けた「もやいすと」育成プログラムなど、現場に学び実践力を育むための教育を展開する特色ある大学です。

この大学に学び、地域に根ざし世界に向かって羽ばたこうとする知的探究心旺盛な学生を求めています。





熊本県立大学の〈理念〉

総合性への志向

本学は、人文・社会・自然の学問の三分野から成る大学として、学際的な方法を重視しつつ、総合的な知の形成を目指す。

地域性の重視

本学は、「地域に生き、世界に伸びる」を標榜し、地域社会に開かれた大学として、当面する諸問題を分析し解決すること、地域の知的創造の拠点となることを目指す。

国際性の推進

本学は、グローバル化に対応して、アジアをはじめ世界の多様な文化を学びつつ、諸外国の人々との交流を進め、国際的・多元的な文化の創造を目指す。

熊本県立大学の〈目的〉

熊本県立大学は、豊かな教養と高度な専門性を有し、総合的な知識と実践力、創造力を備えた有為な人材を育成するとともに、研究成果を社会に還元し、教育研究資源を地域に提供することを通じて、熊本県ひいては国際社会の発展に寄与することを目的とする。

Contents

大学の理念・目的 ― 2
理事長・学長メッセージ ― 4
学部教育の特長 ― 6
特色ある教育 ― 7
地域に生きる ― 10
世界に伸びる ― 16
共通教育センター ― 21
文学部 ― 24
日本語日本文学科 ― 26
英語英米文学科 ― 30
環境共生学部環境共生学科 ― 34
環境資源学専攻 ― 36
居住環境学専攻 ― 40
食健康環境学専攻 ― 44
総合管理学部総合管理学科 ― 48
大学院 ― 56
教員一覧 ― 58
キャリアサポート・学修支援 ― 60
学生生活 ― 67
キャンパスマップ ― 74
キャンパス周辺情報 ― 76
学費・奨学金・経済支援 ― 77
入試情報 ― 78

世界は急速に変わっています。AI（人工知能）、IOT（もののインターネット）、ロボット、量子技術など、いま、我々の生活を革命的に変えるといわれる最先端技術は、かつてのインターネット、スマートフォンなどと同様、10年もすれば、ごくあたりまえのものとして、我々の生活に入っていると思います。新型コロナウイルスも、いろいろなかたちで、大学も私たちの生活も変えました。ロシアのウクライナ侵略、中国の超大国化も、世界の政治経済を大きく変えつつあります。競争は国、都市、企業、個人、それぞれのレベルで、ますます厳しくなると思います。みなさんはそういう大きな変化の時代を生きていくことになります。そのためには、変化に柔軟に対応し、次々といろいろなことを学び、自分が何をしたいか、よくわかった上で、そのために学ぶ、また学んだことを自分のものとして使っていく、そういう広い意味での問う力、考える力、学ぶ力、応用する力が要ります。大きく高い建物を建てるには、しっかりした広い土台が必要です。そのためには、古典を読み、自分でプロジェクトを構想して実施し、フィールドに出て実地に作業し、いろんな人々から学び、考え、実行しなければなりません。データ・サイエンスは常識として求められるようになると思います。英語も読み書き話せるようになる必要があります。本学はみなさんがそういう土台を作るための場です。将来、大学ですごした4年間を充実した時間だった、と振り返れるよう、ぜひ、大学という場を活用してください。

公立大学法人熊本県立大学

理事長 白石 隆 Ph.D（歴史）

Shiraishi Takashi

沿　革

1947（昭和22）年　4月　熊本県立女子専門学校創立（熊本城内）
1949（昭和24）年　4月　熊本女子大学開学
　　学芸学部／文学科、生活学科
1950（昭和25）年　6月　熊本市大江渡鹿に校舎移転（現：県立劇場敷地）
1953（昭和28）年　4月　文家政学部／文学科（国文学専攻、英文学専攻）、家政学科に名称変更
1960（昭和35）年　4月　文学科→英文学科、国文学科に分割改組
1963（昭和38）年　4月　家政学科→家政学科、食物学科に分割改組
1980（昭和55）年　4月　熊本市健軍町水洗（現：月出）に移転
　　文学部と生活科学部の２学部制とし学科改組
　　文学部／国文学科、英文学科、
　　生活科学部／食物栄養学科、生活環境学科、
　　生活経営学科
1991（平成 3）年　4月　外国語教育センター設置
1993（平成 5）年　4月　文学研究科／日本語日本文学専攻（修士課程）、英語英米文学専攻（修士課程）設置
1994（平成 6）年　4月　名称を熊本県立大学に変更、男女共学化
　　国文学科→日本語日本文学科
　　英文学科→英語英米文学科に名称変更
　　総合管理学部／総合管理学科を設置
1998（平成10）年　4月　アドミニストレーション研究科（修士課程）設置
1999（平成11）年　4月　生活科学部を環境共生学部に改組
　　環境共生学部／環境共生学科／生態・環境資源学専攻、居住環境学専攻、食・健康環境学専攻
2000（平成12）年　4月　アドミニストレーション研究科（博士課程）設置
2003（平成15）年　4月　環境共生学研究科（修士課程）設置
2005（平成17）年　4月　環境共生学研究科（博士課程）設置
2006（平成18）年　4月　公立大学法人熊本県立大学設立（法人化）
　　地域連携センター、学術情報メディアセンター設置
2008（平成20）年　4月　文学研究科／日本語日本文学専攻（博士課程）設置
　　環境共生学部学科を改組し３学科体制となる
2009（平成21）年　4月　学生支援組織改組 キャリアセンター、保健センター設置
2010（平成22）年　4月　文学研究科／英語英米文学専攻（博士課程）設置
2013（平成25）年　4月　地域連携センターを地域連携・研究推進センターに改組
2014（平成26）年　4月　全学教育推進センター設置
2019（平成31）年　4月　環境共生学部学科を改組し現在の１学科３専攻となる
　　環境共生学部に食育推進室を設置
　　地域連携・研究推進センターを地域連携政策センターに改組
2020（令和 2）年　4月　国際教育交流センター、IR室を設置
2021（令和 3）年　4月　全学教育推進センターを共通教育センターに改組
　　同センター内に緑の流域治水研究室設置
2022（令和 4）年　4月　デジタルイノベーション推進センターを設置
　　地域連携政策センターを地域・研究連携センターに改組

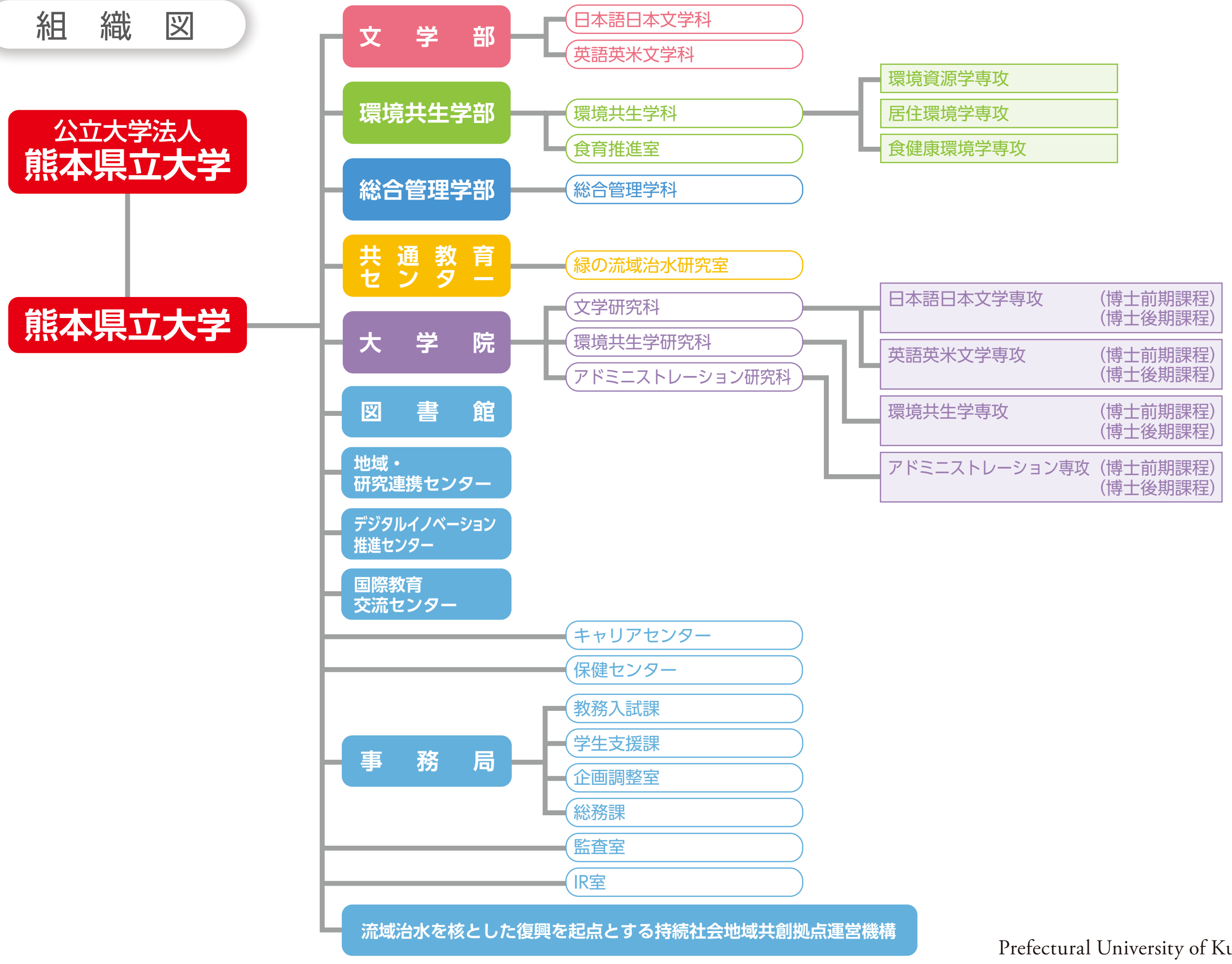
過去3年間に及ぶコロナ禍がほぼ過ぎ去った時を迎え、現在の大学が置かれた立ち位置を振り返ると、以前とは大きく様相を異にする状況が発生しています。それは大学のキャンパス内のことにとどまらず、大学を取り巻く社会のあり方が大きく変化したことにも起因しています。大学での活動のみならず、生活のあらゆる場面においてデジタル化の波が怒濤のように押し寄せてきています。学生諸君の卒業後に向き合う社会を想定すると、そこでそれぞれの能力を遺憾なく発揮していくためには、在学中に所属する学部を問わずデジタル化の基盤をなすデジタルデータを取り扱うために必要な知識や技術の習得が不可欠となっています。また、そのデジタル化の進行と並行して、インターネットを介して世界中の情報が飛び交う状況も発生しています。その情報を収集して利用し、自ら情報を発信していくために、英語が特定の国々の言語の枠を超えて、現代社会の共通言語としてその役割の重要性をさらに増しています。今や英語で書かれた情報を入手し、英語で情報を発信し、国籍を問わず英語を使って話し合うことは、日常生活の一部となりつつあります。本学の教育研究の目標は「地域に生きる」「世界に伸びる」ですが、どちらを進めて行くためにも、在学中に情報社会への対応力と英語運用能力を修得していくことが不可欠です。その基盤の上に、所属する学部の専門知識や技術を積み上げて行くことを切に願います。学生諸君の卒業後に輝かしい未来が訪れることを祈念し、この瞬間、瞬間の自分に向き合い、真摯に努力する姿にエールを送ります。

熊本県立大学

学長 堤 裕昭 博士（理学）

Tsutsumi Hiroaki

組　織　図



地域に生き、世界に伸びる

熊本県立大学は、創立から76年の歴史と伝統を礎に、
新しい時代の要請にこたえる教育を展開し、
あなたの持つ知的好奇心を満たし、時代を拓くたくましい想像力を育みます。
そして、地域社会、ひいては国際社会の発展に
貢献できる人材にあなたを育成します。

学部教育の特長

熊本県立大学は、豊かな教養を備え、21世紀の地域社会ひいては国際社会の発展に貢献できる創造性豊かな人材を育成します。

特に、学部教育においては、次の目標を掲げ、教育の充実に力を注いでいます。

1 幅広い知識・教養に基づき学問の意義を理解し、自己を認識して、将来を構想できる人材

2 多角的視点を備え、自ら課題を抽出し、論理的、分析的に思考して、総合判断ができる人材

3 地域社会及び国際社会に興味・関心を有し、異質性を認めることができる人材

4 積極性、自律性及び行動力を身につけ、社会状況の変化に柔軟に対応でき、社会において協調し協働できる人材

5 他者と理解しあい、共生していく上に必要なコミュニケーション能力がある人材

全学(学士課程)の学位授与方針(ディプロマ・ポリシー)より

特色ある教育

● 地域に生き、世界に伸びる

「もやいすと育成システム」イメージ

■「もやいすと」とは

本学では、「地域に生き、世界に伸びる」をスローガンに掲げ、地域に根ざしながら世界を見据える人材の育成に努めています。その人材養成の目的を表す概念として、「もやいすと」という用語を用いています。この「もやいすと」の「もやい（舫い）」とは、もともと船を相互に繋ぐことを意味し、人と自然と地域社会とを再構築する「もやい直し」という言葉に由来しています。

1年次		2年次		3年次		4年次	
前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期

もやいすと育成プログラム

もやいすとジュニア

● もやいすと（地域）ジュニア育成

各地域をフィールドとして、地域課題への気づきを促す

● もやいすと（防災）ジュニア育成

地域の課題である防災にフォーカスした学びを深める

もやいすとシニア

● もやいすとシニア育成

地域課題解決に向けたファシリテーション調査技法を学ぶ

もやいすとスーパー

● 地域連携型学生研究（旧「学生GP」）

● 地域志向教育研究等

共通教育・専門教育における地域志向科目 ※1・地方創生科目 ※2

カリキュラム外活動

もやいすとグローバル育成プログラム

● Moyaist Global Entry Training

もやいすとグローバル育成プログラムを受講するための準備クラス

受講条件 TOEIC® 550点以上

英語科目

● Moyaist Global Training I

目標: TOEIC® 600点

● Moyaist Global Training II

目標: TOEIC® 650点

● Moyaist Global Training III

目標: TOEIC® 700点

ディベートやディスカッションを中心とした授業で英語を学ぶ

Global Lounge・e-learning システムを活用した語学力向上

もやいすとシニアGlobal 認定要件：TOEIC® 650点等

国際科目

● Kumamoto Studies

熊本、日本の文化・文学、環境、社会などについて学びます

● もやいすとシニア（グローバル）育成

講義（異文化理解、ビジネスパーソン講話等）＋短期英語研修

● グローバル実践活動

海外インターンシップ、海外ボランティア等のグローバル活動

● 交換留学

自国文化・異文化理解（Global Lounge における英会話、Café Event 等への参加、学内外での国際交流等）

もやいすとスーパーGlobal 認定要件：TOEIC® 730点等

共通教育・専門教育におけるグローバル科目 ※3（Japan Studies 科目 ※4 を含む）

■「もやいすとグローバル育成プログラム」とは

地域の課題に柔軟に対応し、グローバルな視点を持って活動できる学生を育成するためのプログラムです。

※1 地域志向科目…熊本に関する内容（文化、自然、社会等）を含む科目、地域課題を内容として含む科目のいずれか一つ、もしくは複数に該当する科目

※2 地方創生科目…地域課題の解決に必要となる知識の獲得、スキルの育成に資する科目

※3 グローバル科目…外国語能力の向上や国際理解・異文化理解を深める科目

※4 Japan Studies科目…日本や熊本の文化、文学、環境、社会等に関する内容を英語で学ぶ科目

地域に生きる

もやいすと育成プログラム

“地域づくりのキーパーソン”を育成する教育プログラム

このプログラムでは、熊本の自然や文化、社会に対する理解に立ち、専門の枠を超えて自ら課題を認識･発見し、地域の人々と協働して課題の解決に取り組む人材 (もやいすと) の育成を目指します。

ジュニア、シニア、スーパーの 3 段階で実施しております。1 年生から卒業まで「地域づくりのキーパーソン」としての素養を段階的に養成していくプログラムです。

県内各所へのフィールドワークや災害に備えるためのワークショップなどを通じて地域への理解や防災に対する意識を高め、グループワークを通じて合意形成能力やファシリテーターとしてのスキルを向上していきます。

もやいすと育成での学びや地域活動を積極的に行う学生には「もやいすとスーパー」として評価し認定する独自の評価制度を設け、卒業後も地域課題解決に向けて実践的能力を発揮する人材を育成しています。

もやいすとジュニア育成

1 年生全員が受講する必修科目です。「地域」か「防災」、どちらかを選択します。「地域」･「防災」ともに、フィールドワークやワークショップを終えた後はグループワークを行い、学部を交えたチームのメンバーと共に課題を見つけ、その解決策をまとめて成果発表を行います。

地域

地域への気付きを促す導入科目です。熊本県内の対象地域へのフィールドワークや地域課題発見と、解決へ向けたワークショップなどを行います。

防災

地域課題である「防災」にフォーカスした導入科目です。被災時に役立つ実践的なワークショップを行いながら防災意識を高め、災害が起きた時にどういう対応をすべきか、また被災した地域をどのように復興していくのかを学びます。

グループワークの様子 (2021年度撮影)

阿蘇の輪地切り活動 (2019年度撮影)

救命装置AEDの講習 (2019年度撮影)

もやいすとシニア育成

「もやいすとジュニア育成」を受講した 2 年生を対象にした選択科目です。

地域リーダーに要求される基礎的なスキル、「リーダーシップと合意形成能力」を養成します。また、熊本県内各所へのフィールドワークを通して、聞き取り調査スキルや分析力などの調査技法のスキルを養い、ジュニアに対するファシリテーターとしての授業サポートを通じて「地域課題解決に向けたファシリテーションスキル」を養います。

八代市坂本町
道の駅さかもとのそばを
流れる球磨川を眺めながら
(2022年度撮影)

人吉市
川村駅の被災現場視察と
くま川鉄道永江社長の講話
(2022年度撮影)

人吉市　ひまわり亭
本田節さんの講話と
防災食作り
(2022年度撮影)

フィールドワーク後の
振り返り
(2022年度撮影)

もやいすとスーパーの声

2021年度認定

環境共生学部　環境共生学科
環境資源学専攻　4年
畠山 玲来 さん

私は、熊本地震を経験したことや、減災リテラシーという講義を受けたことをきっかけに、防災・減災について興味を持ち、防災士の資格を取得しました。地域内の防災訓練に参加したときには、住民の方々と意見を出し合い、課題点を多く見つけることができました。また、もやいすとジュニアも授業で学んだことも地域での活動に大いに役立っており、自分も楽しみながら地域に貢献することに繋がったと考えています。

2022年度認定

総合管理学部　総合管理学科
4年
野尻　駿 さん

私が入学した年は皆さんご存知、コロナが蔓延っておりましたが、行動せねばと様々な活動に参加しました。その一つがもやいすとで、シニアでは豪雨被害地域へ訪れ水害について考えたり、SA（Student Assistant：授業支援等を担う学生）にも参加しグループワークを手伝ったりと実際に目で見て肌で感じ、サポートする経験もできました。また、手当たり次第やっていたボランティアはその特性上、公に褒められるということはありませんが、今回認定にあたり、活動を認めていただいた事が素直にありがたいです。より一層、他者貢献、ひいては地元高森を盛り上げていきたいです!

もやいすとスーパー授与式
(2022年度撮影)

もやいすと育成プログラムの詳細は
大学ホームページをご参照ください。

新熊本学

「熊本」を学ぶ、「地域」に学ぶ

熊本で学ぶことの意義、それはここ熊本でしか学べないことを学ぶこと。本学では、このような「熊本」にこだわった授業を全学共通科目の中で展開しています。それが、「新熊本学」。「熊本」という地域に、様々な角度からアプローチしていきます。

〈開講科目〉
「新熊本学:ことば、表現、歴史」
「新熊本学:熊本の生活と環境」
「新熊本学:地域のビジネスリーダーに学ぶ」
「新熊本学:地域社会と協働」

「新熊本学」の講義風景　有限会社阿部牧場 代表取締役 阿部寛樹氏

フィールドワーク

現場に学び、実践力を得る

より具体的で深い問題意識や学修意欲を高めるため、現場での学修体験を重視しています。それがフィールドワークです。本学では、このフィールドワークの手法をカリキュラムの中に積極的に取り入れています。

例：文学部
「徳冨蘆花所縁の地探訪」
環境共生学部
「干潟の環境と生物群集」
総合管理学部
「湯布院温泉に観光促進を学ぶ」

「維和島農泊観光コンテンツ開発」の中の空き家活用

協力講座

社会の第一線で活躍する人から学ぶ

「協力講座」とは、大学と協定を締結した企業の第一線で活躍する人たちから学べるオンリーワンの授業です。各授業のテーマについて学ぶだけでなく、社会で求められている知識や技能とは何か、また、大学で学ぶ理論、知識が実際の社会の中でどのように役立てられるかなどを、企業の持つ実践的知識をもとに「理論」と「実践」を学びます。

〈協定企業と開講科目〉
●熊本日日新聞社……………………「マスメディア論」
●九州電力熊本支社……………「エネルギーと社会」
●NTT西日本熊本支店 …………………「情報と社会」

「情報と社会」NTT西日本熊本支店でのフィールドワーク

「エネルギーと社会」の講義

地域連携型学生研究制度(旧「学生GP」)

学生研究を企業や社会と連動させたプログラム

地域連携型学生研究制度とは、地域企業・地域社会から研究テーマを募集し、それを学生が地域連携型学生研究として取り組むものです。

学生は、地域が抱える問題に取り組むことで、社会人としての演習の場になり、実社会における知識活用のあり方、コミュニケーション力、問題分析・解決力などを会得していきます。

※2022年度より名称が「学生GP(地域連携型卒業研究)」から「地域連携型学生研究」に変わりました。

公開審査会

2023年度地域連携型学生研究制度一覧

	連携先企業・団体	研究テーマ	学部	担当教員
1	熊本市役所	地域拠点「長嶺地区」のおける地域の将来像の検討に向けたコミュニティづくりについて	環境共生学部	鄭　一止
2	玉名市役所	玉名市マスコット「タマにゃん」を活用した情報発信及び玉名市観光商品の開発研究	総合管理学部	津曲　隆
3	一般社団法人 玉名観光協会	観光資源の見える化と玉名市型マイクロモビリティツーリズムの開発研究	総合管理学部	津曲　隆
4	和水町役場	今後の維持管理運営のため収益性のある施設としての肥後民家村の活用について	総合管理学部	飯島　賢志
5	熊本日日新聞	起業、スタートアップ支援を通じた地域活性化のための仕組みと拠点づくりについて	総合管理学部	飯島　賢志
6	天草市役所	バスを活用した現地誘導型の企業訪問の取組みに係る効果検証	総合管理学部	井寺　美穂
7	天草市役所	デジタルネットワーク型のローカル・コミュニティの活用策－地元志向の形成に与える影響分析を中心に－	総合管理学部	井寺　美穂
8	熊本市役所	熊本市南区における新たなまちづくりの担い手の発掘及び育成手法の検討	環境共生学部	柴田　祐
9	宇土市役所	マイクロツーリズムとしての「宇土の小さな旅～uto small trip～」の開発	環境共生学部	柴田　祐
10	経営塾 ISUI breakthrough	地域における炭素排出量の視覚化と具体的対策の合同検証	環境共生学部	柴田　祐
11	一般財団法人熊本市 国際交流振興事業団	熊本市に於ける国際化・多文化共生社会推進に向けての新規事業調査及び構築	総合管理学部	宮園　博光
12	一般財団法人熊本県 スポーツ振興事業団	公共スポーツ施設の有効活用等を含めた利用者増加策についての研究	総合管理学部	宮園　博光
13	一般財団法人熊本県 スポーツ振興事業団	公共スポーツ施設の有効活用等を含めた利用者増加策についての研究	総合管理学部	小薗　和剛
14	熊本日日新聞	起業、スタートアップ支援を通じた地域活性化のための仕組みと拠点づくりについて	総合管理学部	小薗　和剛

市営住宅の改修風景

作成したPR紙

現地まち歩き

「緑の流域治水」に関する研究活動

令和2年7月豪雨の発生後、熊本県からの要請を受け、学内に「緑の流域治水研究室」を設置しました。(令和3年4月)

令和3年10月からは、ＪＳＴ(国立研究開発法人科学技術振興機構)の採択を受けた研究プロジェクト(「流域治水を核とした復興を起点とする持続社会」地域共創拠点)を開始。本学は、このプロジェクトの代表機関であり、地域に生きる大学として、被災地の復興と球磨川流域の持続的発展に寄与していきます。

球磨川流域の持続的発展を目指す研究開発課題

この研究プロジェクトは、「緑の流域治水を核とした、大災害後も安全・安心に住み続けられ、豊かな環境と若者が残り集う、持続可能な地域の実現」を地域ビジョンとして掲げ、以下の4つをターゲットとする5つの研究課題を設けて研究活動を行っています。

地域ビジョン　緑の流域治水を核とした大災害後も安全・安心に住み続けられ、豊かな環境と若者が残り集う持続可能な地域の実現

地域ビジョンからのターゲット

1. 水害に安全・安心な地域
2. 豊かな環境と恵みのある暮らし
3. 若者が残り集う地域
4. 多世代共創による「緑の流域治水」の達成

研究課題

- 研究開発課題1:治水技術研究　「緑の流域治水」技術の開発
- 研究開発課題2:環境・計画研究　ボトムアップ型統合計画と環境再生
- 研究開発課題3:ＤＸ研究　DXにつながるスマート流域治水、安全避難システムの実施
- 研究開発課題4:産業創生研究　「緑の流域治水」と連動したサステイナブルな産業創生
- 研究開発課題5:パートナーシップ研究　パートナーシップによる「緑の流域治水」の推進

「緑の流域治水」とは?

流域全体を対象に、ハード面だけでなく、ソフト面での対策も充実させる治水対策を「流域治水」といいます。流域内のすべての場所を対象とするため、地域との協働により実施することが求められます。「緑の流域治水」は、この対策に環境的な観点を盛り込み、持続的な地域づくりや環境保全にもつなげる治水対策です。

実験棟と実験水路

地域でつくる防災 IoT
(住民と一緒に河川カメラを設置)

南稜高校の雨庭
(生徒と共に設計・施工)

地域共創拠点
ホームページ

世界に伸びる

国際教育(学部生対象)

もやいすとグローバル育成プログラム

地域課題に柔軟に適応し、グローバルな視点を持って活動できる学生を育成するためのプログラムです。1年次から4年次までの体系的な学びとグローバルな視点を持つため海外留学等を促進し、世界でも活躍できる学生を育成します。本プログラムの参加学生には、英語で熊本や日本について学ぶ「Kumamoto Studies」、海外インターンシップやボランティア等を行う「グローバル実践活動」等のユニークな専用科目が用意されており、これらの科目を履修することで、自国文化・異文化に対する理解を深め、英語運用能力の向上を目指すことができます。

Intensive English

英語運用能力を高めることを目的に、英語漬け環境で短期集中的に英語を学びます。期間中は英語のみを使用するルールのもと、学内学修と留学生を加えて行う合宿形式の学修とを組み合わせて行っています。講義やディスカッションだけでなく、留学生と一緒に行うゲームやパフォーマンスなど、異文化理解を深めながら、楽しみながら学べる内容になっています。

TOEIC® IP（団体特別受験制度） 2学年全体受験の実施

本学では、各団体が日程や場所を自由に設定して試験を行うことができるTOEIC®（Test of English for International Communication）の団体特別受験制度（TOEIC® IP）について、後援会と共催で実施している任意受験を年に2回（→P19）、全学部2学年を対象とした全員受験を年に1回実施しております。
2023年度から実施する全体受験については、大学が受験費用を全額負担するため、学生は受験料の負担なく受験できます。

国際教育(大学院生対象)

高度グローバル人材育成（大学院教育）

2019年度において、JICAと熊本県が締結した「熊本県と独立行政法人国際協力機構との連携協定」に県の発展に貢献する人材の育成が盛り込まれたことなどを踏まえ、本学ではグローバル人材育成を積極的に推進し、学部教育だけでなく、大学院教育においても、海外体験（国際協力・貢献活動）と大学院の専門教育を実施し、熊本のグローバル化に貢献できる人材の育成に取り組んでいます。
2019年度に概ね2年間の国際協力・貢献活動がある方のための入試制度として、社会人特別選抜（国際協力枠）を創設しました。また、2020年度に大学院在学中に1年間の国際協力・貢献活動を経験する大学院教育を制度化し、2022年度に海外での活動に関しJICAとの覚書を締結し、2023年度にはこの覚書に基づき、1名の大学院生がインドネシアにおいて青年海外協力隊員として活動を予定しています。
現在5名の大学院生が在籍し、専門分野の研究に取り組んでいます。大学院終了後は、熊本県内の企業、行政機関等において、熊本のグローバル化をリードする人材として活躍してほしいと考えています。

1996年生活科学部（現環境共生学部）卒業
赤星　亜朱香さん

2013年7月～2015年10月　青年海外協力隊 東ティモール派遣 職種：栄養士
2016年7月～2018年 7月　シニア海外ボランティア ミクロネシア連邦派遣 職種：栄養士
2018年10月～　JICA 熊本県国際協力推進員
2021年1月～　JICA 企画調査員（ボランティア事業） ザンビア共和国派遣

熊本県立大学を卒業後、京都府立大学大学院に進学しました。修士課程修了後、母校で栄養士・管理栄養士の養成に従事していく中で、自分の将来について考えた時に「私にも栄養士としての経験が欲しい」と思い、開発途上国で活動する青年海外協力隊に栄養士として参加することを決めました。
日本とは異なる文化や習慣の中での活動は、一筋縄ではいかないものばかりでしたが、改めて日本や家族について考える機会にもなりました。途上国の人たちから学ぶことも多く、「幸せ」や「生きること」に対する考え方や価値観は大きく変わりました。また、先進国を目指す発展ではなく、各々の国に合った開発や発展、未来づくりがあるのではないかと考えるようになり、国際協力の奥深さや面白さに興味を持つようになりました。
今後は、自分の専門や経験を生かしながら、様々な国の国づくりに貢献していきたいと考えています。

国際交流

短期語学研修団の受入れ

祥明大學校、モンタナ州立大学ビリングス校、ブラウィジャヤ大学から語学学習と文化体験を目的とした研修団を受け入れています。これまでに多くの学生がホストファミリーとして協定校からの学生を受け入れ、家庭の中での国際交流を実践しています。

祥明大學校からの研修団

モンタナ州立大学からの研修団

インドネシア・ブラウィジャヤ大学の学生とのオンライン交流

学部生・大学院生等の受入れ

これまで、米国・韓国・中国・インドネシア・台湾・ベトナム・タイ・タンザニア・ブラジル・モンゴル・ガーナ・ミャンマー・スーダンからの留学生を学部生、大学院生、研究生、特別聴講生（交換留学生）として受け入れてきました。

	学部	大学院	研究生	特別聴講生	計
留学生数	2	16	0	6	24

（2023年５月１日現在）

学術交流協定校・機関

海洋大學校（韓国）、ワライラック大学（タイ）、広西大学（中国）、国立台北科技大学（台湾）、開南大学（台湾）、ソウル市立大学（韓国）、カセサート大学（タイ）、モンタナ州立大学ボーズマン校（米国）、ブラウィジャヤ大学（インドネシア）、中原大学（台湾）、チャタム大学（米国）、海南省疾病予防管理センター（中国）、モンタナ大学（米国）
※デラサール大学CIESOL（フィリピン）（ESLプログラム）

海外留学·研修

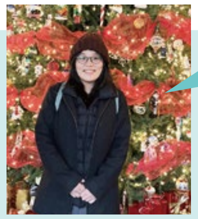
学生交流協定締結校

1997.9　韓国・祥明大學校（1989.10に姉妹提携）
1998.5　米国・モンタナ州立大学ビリングス校

祥明大學校には10か月間、モンタナ州立大学ビリングス校には９か月間、単位互換及び授業料相互不徴収の留学制度で交換留学生を派遣しています。

韓国・祥明大學校

米国・モンタナ州立大学ビリングス校



モンタナ州立大学ビリングス校への交換留学生

文学部英語英米文学科4年
佐藤　優妃さん
（九州学院高等学校出身）

私はアメリカのモンタナ州立大学ビリングス校に交換留学生として在籍しており、自分の関心に合った授業を取ったり、アメリカだけでなく他国から来た生徒と多くの時間を過ごしたりしています。課題などは大変ですが、授業内にその大変さを無駄にすることがない量のディスカッションがあるおかげで、インプットもアウトプットもバランスよくでき、勉学に関しては充実感を日々感じています。寮に住むことで、常に友人と生活を共にするため、自然と語学力も伸び、関心の幅も広がりました。大学からのサポートも多くあり、心身ともに安心した留学生活を送ることができています。

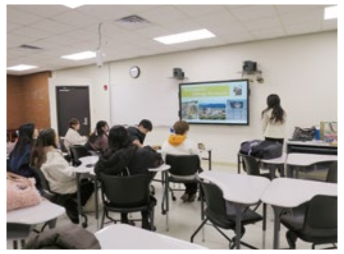
祥明大學校への交換留学生

文学部英語英米文学科4年
井上　可奈子さん
（熊本市立必由館高等学校出身）

私は韓国の祥明大學校に交換留学生として約10ヶ月間在籍しました。授業だけでなく現地で生活をすることで、生の韓国語にたくさん触れることができ、とても刺激的な経験になりました。最初は不安なことが多くありましたが、文化や言語の壁を超えてたくさんの韓国人学生が優しく話しかけてくれて、充実した日々を過ごすことができました。生活していくにつれ語学力が上がったのを感じ、とても嬉しかったです。また、熊本県立大学からの奨学金など、様々なサポートのおかげで有意義な時間を過ごすことができました。今回、留学に挑戦して自分自身がとても成長でき自信にも繋がったので、挑戦して本当に良かったと感じています。

短期語学研修

学生の海外留学に係る選択肢を広げ、留学を促進するため、2022年7月に、フィリピン・デラサール大学の付属機関と英語学習プログラムに係る覚書を締結しました。9月に約1ヶ月のオンライン留学プログラムを実施したところ、5名の学生が参加しました。
モンタナ州立大学ビリングス校には4週間の語学学習と文化体験を目的とした研修団を派遣しています。コロナ禍で中止していた研修団の派遣を2023年2月に3年振りに再開し、8名の学生が参加しました。



モンタナ州立大学での短期英語研修

デラサール大学

留学支援

- オフィスアワー（P66）を利用して、留学経験のある教員に留学等の相談をすることができます。
- 協定校への留学を希望する学生に対し、留学制度や奨学金の説明会を実施しています。留学経験のある学生に話を聞くこともできます。
- 留学を希望している学生に対し、海外の大学での授業や生活についてのアドバイス等を行う「留学対策講座」を開講しています。
- 学生交流に関する協定に基づき、派遣される交換留学生については「短期派遣留学生支援奨学金」を、文学部英語英米文学科の一定期間以上の留学・研修を行う学生に「小辻梅子奨学金」を支給しています（P77）。
- 海外への留学・研修を行う学生（後援会会員のみ）に、期間に応じた助成金を支給しています。

留学相談会

語学教育支援

Global Lounge

Global Loungeでは、楽しみながら英語を学ぶことができます。国際教育交流コーディネーターが常駐しており、英会話やディスカッションを行ったり、英語のチュータリングを受けたりすることができます。また、語学学習に役立つ様々な教材（iPad、DVD、書籍、雑誌、ボードゲーム等）の利用もできます。

●Café Events

Global Loungeでは国際教育交流コーディネーターがアレンジするGlobal Lounge Café Eventを年間通して行っています。留学生による出身国の紹介、留学生へ日本についての紹介、世界で活躍する著名人の講演など、国際的なビジョンが広がるようなイベントを開いています。留学生と交流する機会もあり、多くの学生が参加しています。

●英語のチュータリング

国際教育交流コーディネーターとマンツーマンで１セッション30分の英語のチュータリングを予約制で実施しています。チュータリングの内容は、英会話の練習を始め、論文や学会発表の原稿、英文履歴書など留学や就職活動に必要なもの、日記やメール等の英作文のアドバイス、英語によるプレゼンテーションの練習、語学学習アドバイス等です。対面またはオンラインで受講できます。

国際教育交流コーディネーター
Viorel Ristea

There is something special in all of us, regardless of age, gender or nationality, but somehow most of us are not aware of, or are having a hard time identifying our strongest points. The sooner we are aware of our strengths, the greater the chances of achieving success.
It is my goal to help you find the best in you and to support you in building your own path to success.

英語のe-learningシステム

本学では、学生のみなさんの英語能力の向上を図るため、英語学習ができるe-learningシステム（NetAcademy NEXT・EnglishCentral）を導入しています。英語のリスニング力強化や語彙力強化に役立てることができます。

TOEIC® IP（団体特別受験制度）希望者受験の実施

本学では、各団体が日程や場所を自由に設定して試験を行うことができるTOEIC®（Test of English for International Communication）の団体特別受験制度（TOEIC® IP）について、後援会と共催で実施している任意受験を年に2回、全学部2学年を対象とした全員受験を年に1回（→P16）実施しております。
任意受験については、学年・学部に関わらず申し込み可能となっております。また、対象の学生は受験費の補助をうけることができます。

国際教育交流センター

国際教育交流センター概要

国際教育交流センターは、国際教育、国際交流及び語学教育支援等に関する業務をワンストップで実施する組織として、グローバル人材の育成に取り組んでいます。

主な所管業務

●国際教育の企画・調整
・学　部　もやいすとグローバル育成プログラム等の実施支援
・大学院　高度グローバル人材育成のための国際協力・貢献活動を終えた者の受入れ支援及び国際教育・貢献活動を組み込んだ大学院教育の実施支援
●国際交流の推進
・海外協定校との交流　　・学生の留学及び受入れ留学生の支援 等
●語学教育の支援
・Global Loungeの運営　　・TOEIC® IP（団体試験）の実施支援 等

共通教育センター
Center for General Education

文学部
Faculty of Letters

- ●日本語日本文学科　Department of Japanese Language & Literature
- ●英語英米文学科　Department of English Language & Literature

環境共生学部
Faculty of Environmental & Symbiotic Sciences

- ●環境共生学科環境資源学専攻　Division of Environmental Resources, Department of Environmental & Symbiotic Sciences
- ●環境共生学科居住環境学専攻　Division of Human Habitat, Department of Environmental & Symbiotic Sciences
- ●環境共生学科食健康環境学専攻　Division of Food & Health Environmental Sciences, Department of Environmental & Symbiotic Sciences

総合管理学部
Faculty of Administrative Studies

- ●総合管理学科　Department of Administrative Studies

共通教育センター

「人文科学、自然科学、社会科学の集約型大学」である
熊本県立大学の特色を生かした共通教育で、
「地域に生き、世界に伸びる」人材の育成をめざします。

共通教育は、基盤科目と教養科目の2つのカテゴリーから成っています。基盤科目としては「外国語（英、独、仏、中、韓）」、「情報処理とデータサイエンス」、「キャリアデザイン」、「健康スポーツ科学」、「地域理解とリーダーシップ」の分野を用意し、大学そして社会で行動していくための基礎能力の育成を行います。現代社会は複雑・多様化しています。教養科目では「人文科学」、「自然科学」、「社会科学」が集約された本学の特長を生かし、それぞれの学問分野から多くの授業を開講しています。これらを共通教育を通して市民性の涵養を図るとともに、現代社会をとらえる見方や考え方の育成をめざします。

細分化が進む現代社会だからこそ、豊かな人間性と物事を的確に判断する能力が求められています。本学では複雑化した現代社会を見る豊富な科目で「地域に生き、世界に伸びる」人材を育成します。

共通科目群

基盤科目

外国語

本学の外国語教育では、国際共通語としての英語の実践的側面に力を入れ、国際共通語としての英語の運用能力の向上を目標としています。また、初修外国語として「ドイツ語」、「フランス語」、「中国語」、「韓国語」の科目を開講し、聴き、話し、読み、書く総合力を養成し、外国の書籍を読み、それらの持つ豊かな内容の理解を目指します。

●科目：英語／ドイツ語／フランス語／中国語／韓国語

情報処理とデータサイエンス

近年の情報ネットワークシステムの基本構成や使用法、その使用にあたっての情報モラルやセキュリティについて学び、情報機器の基本的な操作を学習します。また、様々な場面でデータに基づく意思決定ができる基礎的な能力を養うこと、すなわちデータ思考の基礎を涵養することを目指します。

●科目：情報処理入門／データサイエンス入門／データサイエンス演習

キャリアデザイン

大学で何をいかに学ぶか、その姿勢や方法を学ぶとともに、自己のキャリアを継続的にデザインし続けていく能力を育成します。

●科目：プレゼミナール／キャリア形成論／ キャリア体験演習（旧インターンシップ）

健康スポーツ科学

運動・スポーツ活動の健康に対する有用性について理解を深め、将来にわたって心身ともに健康な生活の設計と実践ができる能力を育成します。

●科目：健康の科学／生涯スポーツ実習

地域理解とリーダーシップ

地域の抱える課題に関心を持ち、地域の人々と協働して課題解決の方策を考える、地域づくりのキーパーソンを育成します。「もやいすと」育成システムもこの分野で展開します。また、授業によっては、地元企業の経営者や熊本県庁職員等多くの外部講師を招へいし、地域社会の今を紹介します。

●科目： もやいすとジュニア・シニア育成／新熊本学:ことば、表現、歴史／ 新熊本学:地域のビジネスリーダーに学ぶ など

共通科目群

教養科目

人間と文化

人間の感情や判断は、その人が育った時代や地域の文化の影響を強く受けています。思想、宗教、歴史、芸術、文学、言語などを学びつつ、人間の思考がいかに形成され、表現されてきたのかを考察し、その考察を通して人間の本質への洞察力を高めることを目指します。

●科目：科学の思想／
現代世界と歴史／
人間と芸術／
心理学入門 など

自然と環境

現代の基礎科学に関する知識を修得し、それが先端技術として生活にどのように利用され、今後どのように活用されていくのかを考えます。また、現代社会が抱える環境問題について、多角的に考察します。

●科目：環境と生物圏／エネルギーと社会／環境と生きる／住まいと地域環境／食と健康 など

社会と世界

法律、政治、経済、情報等様々な要因から規定されている社会が我々の生活にどのように関わっているのかを学び、社会が抱えている課題とその解決策を考察します。また、グローバル化が進展する現代世界における経済問題・国際関係についての理解を通し、我が国の国際的位置付けや役割等について考察し、国際人としての見識を養います。

●科目：生活と憲法／現代社会と企業／情報と社会／マスメディア論／世界の経済／国際協力論 など

キャリアデザイン科目

プレゼミナール
大学で学ぶ楽しさと難しさに触れる

大学で何をいかに学ぶかという学び方や大学生活の過ごし方を、演習を通して学ぶ「プレゼミナール」を1年次前期の必修科目として開講しています。

10名程度の少人数のゼミ形式で実施され、学生同士、あるいは教員と学生がお互いに考えていることや感じていることを述べあい、刺激しあい、切磋琢磨しあう場として、大学教育への全般的な案内、導入～図書館等の施設の利用法～レポート/論文の書き方、グループワーク、プレゼンテーションなどを学んでいきます。

キャリア形成論
将来を見据えたキャリアの考え方、作り方を学ぶ

多様化複雑化する社会の中で自己の望む人生や仕事をイメージし、自己のキャリアを継続的にデザインし続けていく能力の育成を学ぶ「キャリア形成論」を1年次前期の必修科目として開講しています。

学長/学部長講話、ライフデザイン概論、キャリアデザイン概論、上級生や卒業生による体験談、汎用的技能テストなどを通して、キャリアデザインの必要性や自己を客観的に分析する能力を身に付け、これからの学生生活へ生かしていく素地を養います。

キャリア体験演習（旧インターンシップ）
企業・自治体等の現場で実際の仕事を経験する

キャリアデザイン科目の一つとして、通常の講義では得られない実践的な教育プログラム「キャリア体験演習（全学共通、自由科目）」を用意しています。本授業は、大学と地域の企業や自治体が協働し、学生の希望とマッチングして実施するものです。事前ガイダンス～インターン実施～レポート作成を通して就業観を醸成していきます。

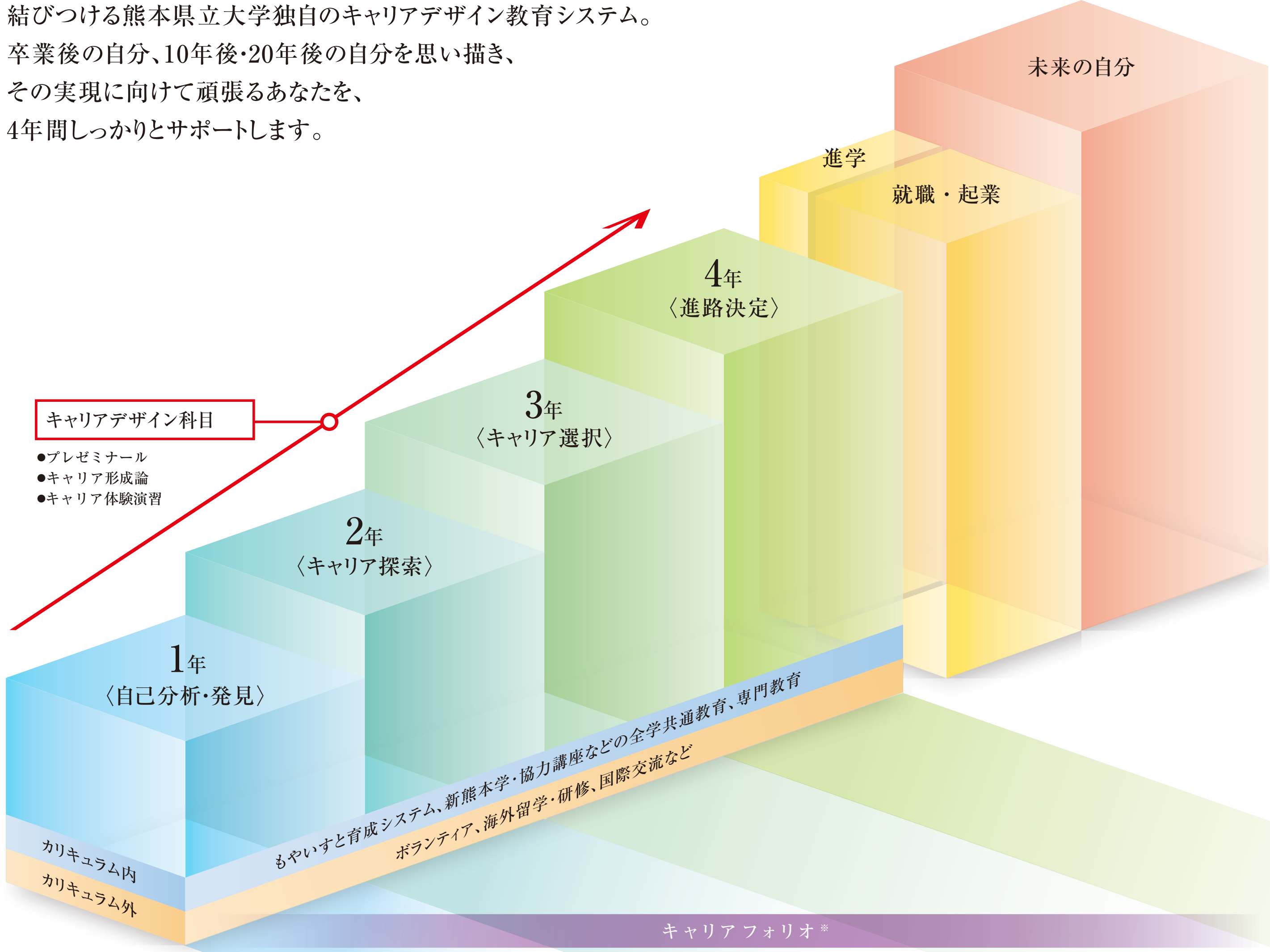
グループワークを実践する学生

旧インターンシップ報告会

※本授業以外に、企業等主催の公募型インターンシップ等についても、キャリアセンターで紹介しています。

キャリアデザイン教育システム

充実した共通教育・専門教育のカリキュラムと様々な就職支援・資格試験対策などのプログラムを中心としたキャリアサポートとを、キャリアフォリオ※を活用して有機的に結びつける熊本県立大学独自のキャリアデザイン教育システム。卒業後の自分、10年後・20年後の自分を思い描き、その実現に向けて頑張るあなたを、4年間しっかりとサポートします。



キャリアサポート

キャリア形成 就職支援

1年	2年	3年	4年
キャリア入門	キャリア体験演習 公務員ガイダンス	キャリア体験演習 就職セミナー 企業・公務員説明会	個別企業説明会 就職セミナー

進路・就職相談

資格等

	文学部	環境共生学部	総合管理学部
教員免許	【日文】中学（国語）、高校（国語） 【英文】中学（英語）、高校（英語）	中学（理科）、高校（理科） 中学（家庭）、高校（家庭） 高校（農業）、栄養教諭　※食のみ	中学（社会）、高校（公民） 高校（情報）、高校（商業）
受験資格 任用資格 取得可能資格 など	【日文】日本語教員養成課程（主専攻） 【英文】日本語教員養成課程（副専攻）	【居住】一級建築士、二級建築士 一級建築施工管理技士、二級建築施工管理技士 【食】栄養士、管理栄養士 食品衛生監視員および食品衛生管理者	社会福祉主事 社会調査士
受験対策実施	【英文】TOEIC®、TOEFL®	【資源】環境計量士	

支援機関

キャリアセンター　図書館　デジタルイノベーション推進センター　国際教育交流センター

※熊本県立大学では、学修履歴の記録を「キャリアフォリオ」と呼んでいます。

文 学 部

Faculty of Letters

「人間」の生き方と文化について深く考える

文学部は、言語、文学、歴史、思想等にわたる人文的教養の基礎に立ち、日本語、日本文学、日本語教育、あるいは英語、英米文学、英語教育を専門的に教育・研究します。

［アドミッション・ポリシー］～文学部はこのような人を求めています～

わたしたち人間が作り上げてきた様々な文化を探究し、これから作り上げるべき文化のあり方を考えていく、それが文学部の使命です。古今東西の様々な文献を読むことで、それぞれの時代の人々の考え方を理解し、ことばによるコミュニケーションを通して人や社会との着実な関係を作り上げることに取り組んでいきます。

日本語とはどのような言語なのだろうか、日本語を歴史的にあるいは客観的に学ぶとはどういうことなのだろうか、英語を正しく理解し表現する力を身に付けるにはどうすればよいのだろうか、日本の文学や英語圏の文学を深く理解したい、そして、より広い世界の文学、言語、歴史、思想を学んでみたい、このような問題意識や希望を持つ人に本学部は応えていきます。ことばと人間に関心を持ち、意欲をもって探究のできる人、そんな人を文学部は求めています。

日本語日本文学科

①ことばや文学作品が持っている、人間を動かす力のみなもとを探求しようとする人（「現代文」「古典」を履修していることが望ましい）
②日本語や日本文学が、時代とともにどのように移りかわってきたかを学ぼうとする人（「日本史」を履修していることが望ましい。また、日本文学史について一定の知識を持っていることが望ましい）
③日本語や日本文学についての知識や技術を、社会・地域の中で積極的に活かしていこうと志す人（現代社会の動向・要請について常に関心を持っていて欲しい）
④特に、中学校・高等学校の国語教員、もしくは外国人に日本語を教える日本語教師を目指す人

英語英米文学科

① 世界に広く目を向け、国際的に交流し活動していきたい人
② 言語、文学、文化に関心を持ち、英語学・英米文学・英語圏文化について理解を深め、研究したいと考えている人
③ 英語教員を志望する人

大学院（文学研究科）については→P56

◉2024年度入学定員及び募集人員

文 学 部		入学定員	募集人員							
			一般選抜		自己推薦型選抜	特別選抜				
						学校推薦型選抜				留学生・帰国子女社会人
			前期	後期		県内	全国	農業・林業・水産科	くまもと夢実現	
学科	日本語日本文学科	45名	30名	10名	ー	5名	ー	ー	全学で2名以内	若干名
	英語英米文学科	45名	28名	10名	ー	7名	ー	ー		若干名

文学部 4年間の学び

4年間を通じて、文学・言語を中心とした人文学の基礎的知識を身につけ、併せて全学共通科目及び学部共通科目により総合的な素養を身につけることで、幅広い知見と判断力を養い、広く多角的に物事をとらえ思考できるよう、両学科ともカリキュラムを編成しています。

文学部の「専門科目群」は、「人文基礎」、「主要科目」、「学部共通科目」、「演習」、「特殊研究」、「卒業論文」から構成されます。

1・2年次では、両学科の学生が「人文基礎」や「学部共通科目」群の科目で、「主要分野」や「人文学」を支える基盤的知識を身につけます。同時に、1年次から4年次にかけて、順次「主要科目」、「学部共通科目」、「演習」、「特殊研究」というように、知識、方法論、読解技能、並びに発表技術を積み上げ、学士課程の最終成果である「卒業論文」を執筆します。

区分	1年	2年	3年	4年
共通科目群	基盤科目 外国語／健康スポーツ科学／情報処理とデータサイエンス／キャリアデザイン／地域理解とリーダーシップ		教養科目 人間と文化／自然と環境／社会と世界	※詳細はP21
専門科目群 日本語日本文学科 …P26 英語英米文学科 …P30	人文基礎 歴史基礎論／言語基礎論 文学研究への招待／知識と方法			
	主要科目 ［日本語日本文学科］日本語学／日本文学／日本語教育／関連分野 ［英語英米文学科］現代英語運用／英語学／英米文学／英語教育／留学			
		学部共通科目 地域文化研究／人文学（歴史学／心理学／中国文化論／異文化コミュニケーション／比較文学）等		
		演 習		
			特殊研究	
				卒業論文

※演習は日本語日本文学科では2年次から、英語英米文学科では3年次から開講　※特殊研究は日本語日本文学科では3年次から、英語英米文学科では4年次から開講

［学部長からのメッセージ］

MESSAGE from the Dean

言語や文学には人間の心や身体性、文化、歴史が反映されています。文学部は言語と文学を通して人間の思考方法とそれを表現する方法を学ぶ学部です。その先にあるのは人間、あるいは人間と社会のあり方の本質を探求することです。

人間は捉えている同一の対象が違う見え方をしているにも関わらず同じように見ているような錯覚を持ちます。同じものを見ていても見ている人の背景（思想、文化、歴史、経験、立場など）が異なれば自ずと見え方は変わってきますが、なかなかそれに気付かないものです。

現代社会の様々な変化にまどわされることなく、特定の基準に囚われず多様な視点から本質を見ることを忘れない姿勢が重要です。文学部では日本語や英語を通して言語や文学ひいては文化の研究をすることで様々な視点から物事を捉える力を養成します。

このような視点から学生の一人一人がそれぞれの魅力に応じて個性を発揮し、皆が大学の中で「生きる場」を見つけ、能力を伸ばし、社会に出てからも自分の居場所を自身で開拓していけるような力を身に付けてほしいと思います。これから我々人間が作り上げていく文化のあり方を決めていくのは若き学生諸君です。

文学部長
村尾 治彦

文学部

日本語日本文学科

Department of Japanese Language & Literature

［学科の特色］

日本語日本文学科は、基本的に日本文学・日本語学・日本語教育学の3つの領域で構成され、日本の文学作品やことばの研究を通して、文化の継承性を問い、深く人間を見つめていく力を養成する学科です。日本の古代から近代に至る文学作品、古代語から現代語までを対象に、歴史的・文化的背景をも視野に入れて、読解・分析の能力を育成するために、文学・語学とも各時代・分野をカバーできるスタッフを擁し、系統立ったカリキュラムを組んでいます。

本学科では、上記3領域の学修を基礎とした上で、卒業論文に向け、特に熊本・九州その他の地域文化を研究対象に選んだり、歴史・思想など隣接する領域と関連づけた研究や異文化との比較研究もできるようになっています。

少人数での演習や特殊研究によって学生個々の問題意識に合わせた指導が展開されることに加え、各地の方言や古典籍・近代文学資料の調査、国内外での日本語教育活動等、学外での実践的な取組が活発なことも特色の一つです。

■ 詳しくは学科ホームページをご覧ください。
https://jll.pu-kumamoto.ac.jp/

［日本語日本文学科 4年間の学び］

1年次

将来のキャリア形成に関する意識を醸成し始め、各種の「概論」「基礎論」を通して、日本語学・日本文学研究のための基礎的な知識を身につけます。併せて各時代の「文学史」や「講読」により、文学・語学研究に用いる資料への関心を喚起します。また、歴史・言語・思想の面から、広く人文学にわたる基礎的な知識と思考法を身につけ、ことばと作品を扱うための基盤を養います。

2年次

各分野の知識を補いつつ、「演習」により、知識の応用と思考・判断、資料操作と発表の経験を積みます。この経験を通して、文章を正確に読解しまとめる力と、自らの考えを精緻かつ効果的に伝える表現力を養います。これらの力の育成に特化した「アカデミックスキル」の受講も有効です。なお、研究力をバランスよく身につけるため、「演習」は語学・文学の両分野からそれぞれ1科目を必修としています。

3年次

各自の関心に合わせた卒業論文の執筆を見すえて、「特殊研究」の分野を選択します。人文学分野を含む「演習」による訓練も継続しながら、テーマに応じた問題の切り口を探し、分析と論述の実践を重ねていきます。併せて、関心を内的なものに留めず、外に向けて論理的に発信しようとする態度を身につけます。

4年次

1〜3年次での学修成果の集大成として、卒業論文に取り組みます。また学生各自の必要に応じ、知識や思考、技能のための科目を補完的に履修することができます。卒業論文への取り組みを通し、日本語・日本文学に関する自発的な問心をもとに、それまで得た知識と分析力を駆使し、論理的に考えをまとめる力を育みます。併せて、社会生活に必要な思考力・判断力・表現力を体得します。

［開講科目（専門科目）］

区分			1年	2年	3年	4年
専門科目群		人文基礎	歴史基礎論 / 言語基礎論 文学研究への招待 / 知識と方法			
専門科目群	主要科目	日本語学	日本語学概論	日本文法 / 方言学基礎論 現代日本語の分析	日本語史 / 日本語学史	
専門科目群	主要科目	日本文学	文献学基礎論 / 文学研究法基礎			
専門科目群	主要科目	日本文学	古典文学史 / 近代文学史 / 古代文学講読 中世文学講読 / 近世文学講読 / 近代文学講読 (1年〜2年)			
専門科目群	主要科目	日本文学	地域文献講読 (1年後半〜2年前半)			
専門科目群	主要科目	日本文学		漢文学史		
専門科目群	主要科目	日本語教育	日本語教授法 (1年〜2年)			
専門科目群	主要科目	関連分野	地域踏査演習	アカデミックスキル		
専門科目群	主要科目	関連分野	書道（講義） / 書道（実技）	古典文化研究 / 言語文化研究 近代文化研究 / 近代地域文化研究 / 日本古典文化論 (2年〜3年)		
専門科目群		学部共通科目	情報処理発展 / 日本文化論 / 西洋文化史 / 地域文化研究 / 文化人類学 / 歴史学講義 / 日本文化史講義 / 中国文化論 思想史講義 / 比較文学講義 / 中国文学史 / 日中比較文学 / 日本語教育教材研究 / 日本語教育評価法 心理学講義 / 英文法 / 英米文学通史講読 / 英語学概論 / 英米詩概論 / 英語史 / 異文化コミュニケーション論 / Junior Seminar (1年〜4年)			
専門科目群		演習		日本語学 / 日本文学 / 日本語教育 / 複合 (2年〜4年)		
専門科目群		演習			人文学（歴史学、思想史、中国文化論 日本文化論、異文化コミュニケーション） (3年〜4年)	
専門科目群		特殊研究			日本語学 / 日本文学 / 日本語教育 (3年〜4年)	
専門科目群		特殊研究				人文学（歴史学、思想史 中国文化論、日本文化論、 異文化コミュニケーション）
専門科目群		卒業論文				卒業論文

取得資格　教職課程の履修により、中学校・高等学校教諭一種免許状（国語）を取得できます。

MESSAGE from a Senior

先輩からのメッセージ

文学部日本語日本文学科３年　**小野 芽生** さん　（愛媛県立松山東高等学校出身）

日本語日本文学科は、言語や文学についての専門的な学びを通じて言葉を追究し、歴史や文化など人の営みに対する捉え方を磨くことができるところです。

本学科では主に、１、２年次に基礎を幅広く学び、２～４年次にかけて徐々に専門性の高い演習が増えていきます。どの授業も魅力的で、先生方も私たちの学びを親身に支えてくださります。

私は日本語学を勉強したくて本学科に進学しましたが、入学後は方言や文法など元からの自分の興味に関わる分野を掘り下げるだけでなく、古典文学や歴史などそれまで深く触れてこなかった分野のおもしろさに気付き、興味の幅をぐっと広げることができました。

授業を受けたり同学科の友人と話したりする中で、言葉に対する理解が深まり、自分が少し豊かになったと感じます。言葉を追究することから生まれる豊かさは、お金を稼ぐことで得られる豊かさのように即物的なものではありません。自分の中にある物事を見つめる視点が研ぎ澄まされて、世界が少し色鮮やかに見えるようになるというような感覚的な豊かさです。

本学科での学びからは、そういった知識以上の財産を得ることができます。この日本語日本文学科でみなさんと共に学ぶことができるのを楽しみにしています。

複合演習

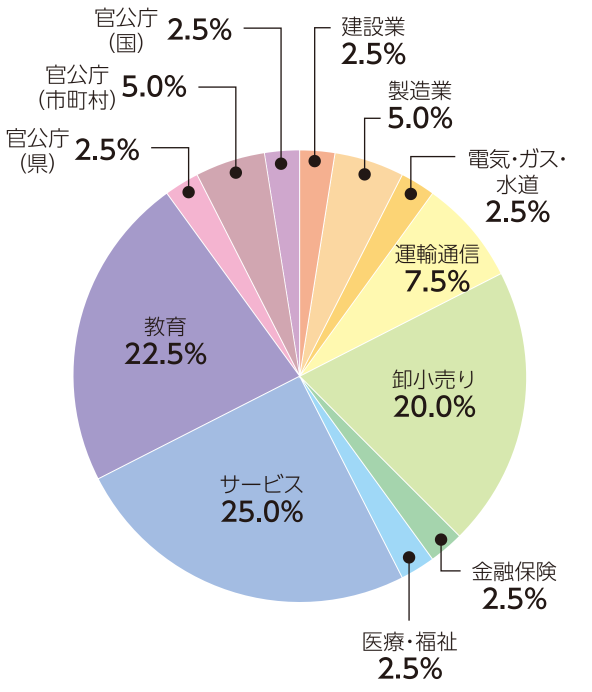
インドネシア ブラウィジャヤ大学での日本語教育実習

日本語学特殊研究

[卒業後の進路]

民間企業や事務系の公務員、国語科教員や日本語講師が考えられます。民間企業では学科で培った問題解決能力やコミュニケーション能力を生かし、教育や出版関係をはじめ幅広い職種での活躍が期待されます。もちろん大学院への進学も可能です。

業種別就職状況（2021年度）



主な進路一覧（2019～2021年度）

● 就　職

アイオ、アドバンティブ、岩崎産業、英進館、エイジェック、エコー電子工業、NPK、F&B シモカワ、MX モバイリング、大谷商会、大分銀行、小川珈琲、九州産業交通 HD、九州柳河精機、国立大学法人京都教育大学、共同エンジニアリング、グッド・クルー、グッドハート、熊本消毒ホールディングス、熊本日日新聞、国立大学法人熊本大学、熊本銀行、熊本市医師会、熊本県農業共済組合、熊本信用金庫、ケイミックスパブリックビジネス、KIS、コスモス薬品、再春館製薬所、サイエンス SARU、桜十字病院、桜にほんご学校、サニックス、JTB、十八親和銀行、学校法人尚絅学園、スズキ自販熊本、セブンシステム、CENTRIC、ダイレックス、鶴屋百貨店、DNS、テクノアート、天水総合カンパニー、医療法人冨尾会桜が丘病院、トランスコスモス、トライアンフ熊本BPOセンター、西日本映像、NIJITO、日本郵便、ビーエルディウェディングス、肥銀コンピュータサービス、肥後葬祭、広島銀行、フードウェイ、富士古河 E&C、フタバ、ベルクリック、豊和銀行、星野リゾートマネジメント、マーキュリー、宮崎銀行、村田園、村岡総本舗、ユーエスジェイ、ゆめマート熊本、ヨネザワ、リブワーク、ワールドストアパートナーズ、国家公務員、地方公務員、教員

● 進　学

熊本大学大学院教育学研究科学校教育実践高度化コース、熊本県立大学文学研究科日本語日本文学専攻、佛教大学大学院文学研究科文学専攻、國學院大學文学研究科大学院神道学専攻

MESSAGE from a Graduate

卒業生からのメッセージ

〔勤務先〕
熊本市東区役所
保健福祉部 保健こども課

2019年３月
文学部日本語日本文学科卒業

小出 万未 さん
（熊本県立済々黌高等学校出身）

私は小さい頃から文章を読んだり書いたりすることが好きで、人間と言葉の関わりについて深く学びたいという思いで本学科に進学しました。

在学中、尊敬できる友人と学問を追究したり、サークル活動に熱中したり、好きなことに打ち込む時間が、自然と自分を成長させてくれたように感じます。また、教授と学生との距離が近く、愛を持って温かく導いてくださり、恵まれた環境で充実した４年間を過ごすことができました。

現在は、熊本市役所で事務職として勤務しています。行政の仕事は多岐にわたりますが、共通して文章に触れる機会が多く、市民の皆様に対して、あらゆる情報を誰もが分かりやすい言葉で正確に伝える力が求められます。本学科で培った日本語の知識や表現力は、日々の業務に欠かせないものです。

「文学部」というと就職に不安を感じる方もいるかもしれません。確かに必ずしも専攻と直結する職に就けるとは限りませんが、身に付けた日本語力や思考力、探究心は、どんな職業にも通用する自分自身の軸となり、努力次第で将来の可能性は無限に広がると思います。

皆さんも、挑戦を恐れず、好きなことを全力で楽しんでください。きっと素晴らしい出会いと経験があなたを成長させてくれるはずです。

文学部

英語英米文学科

Department of English Language & Literature

［学科の特色］

英語英米文学科は、英語を通して人間と世界を理解することを目標としています。英語によるコミュニケーション能力を高め、言語・文学・文化を深く理解し、国際的視野をもって活躍できる人材を養成しています。現代英語運用科目においては、2021年度からのカリキュラム改正により、CLIL: Content and Language Integrated Learning（内容言語統合型学習）を取り入れた「読む・書く・聞く・話す」の4技能の連携を図りながら批判的思考能力や問題発見解決能力を涵養する科目を導入しています。このディスカッションを中心とした少人数セミナー制の科目とレベル別、スキル別に分けた科目を1年次から4年次までバランスよく配当し、総合的な英語運用力の基盤が形成可能な形態となっています。また、学修到達の測定のため、TOEFL ITP®テストを入学時から4年次まで毎年1度受験することで英語力の伸長を測り、英語学習へのインセンティブを高めています。CLILによって身に付けた能力を基盤に、4技能を駆使して学問的専門領域の内容を学修し、英語での卒業論文執筆へと結実させます。

卒論履修分野として「英語学」「英文学」「米文学」「英語教育」「人文学」の5分野が開かれています 。英語学では英語の構造や意味を論理的かつ体系的に分析したり、英語母語話者の認知の仕方に基づく表現の特徴を分析したりします。英文学・米文学においては、作家や作品、批評理論だけでなく、文化、歴史、社会思想についても考察します。英語教育では、英語を教えるための方法論や英語の効果的な学習法などを学ぶことができます。
また併せて日本語教育（副専攻）を履修することもできます。

■ 詳しくは学科ホームページをご覧ください。
https://ell.pu-kumamoto.ac.jp/

［英語英米文学科 4年間の学び］

1年次

2年次以降の英語学･英語教育･英米文学･英語圏やその他の言語文化について広く深い教養と専門的知識を身につけるための基盤となる「読む･書く･聞く･話す」の英語コミュニケーション能力の基礎を形成します。また、1,2年次にわたって、専門領域の基盤となる歴史、言語、思想、文学の基礎的知識･思考法を身につけ、主体的学修を促します。同時に、英米文学の講読授業や英文法の講義等により、英語の仕組みや英語圏の文学や文化、思想への関心を喚起します。

2年次

口頭による英語プレゼンテーション能力を強化しつつ、4技能のバランスの取れた英語コミュニケーション能力を伸長します。また、英語という言語や英語で書かれた文学作品を学術的に分析する知識と方法論を学び、異文化を深く理解すると同時に自国の文化を相対化できる能力を身につけます。また、全学共通科目、学部共通科目との連携の上に、コア領域を軸としつつも様々な言語、文化に広く展開し、多角的に関心を広げ、知識を得ていきます。

3年次

学術的な活動あるいは社会に出たときに広く使える実践的な言語運用能力を身につけます。また、「特殊研究（卒論）」の領域を考慮した「演習」科目によって、英語学･英語教育･英米文学･英語圏やその他の言語文化について広く深い教養と専門的知識、論理的な考察能力を身につけ、修得した英語･日本語等の言語運用能力に基づいて、自己の考えや主張を正確に表現して発信できる能力を修得します。

4年次

1～3年次までに学んだ各領域の知見を発展させ、自身の関心のあるテーマに結びつけ、深く探求する力を身につけます。問題発見、解決のための計画を立案･実行し、卒業論文として正確に記述できるようにします。さらに、英語･日本語等の言語運用能力を駆使して得られた知見をまとめ、発信します。

［開講科目（専門科目）］

区分			1年	2年	3年	4年
専門科目群	人文基礎		歴史基礎論 / 言語基礎論 文学研究への招待 / 知識と方法			
	主要科目	現代英語運用	Seminar for Cultural Literacy Seminar for Critical Thinking	Seminar for Core Subjects	Research Writing 言語表現と翻訳技法	
			Reading & Writing		Advanced Academic Skills	
		英語学	英語音声学 / 英文法	英語学概論	英語史	
				英語学特別講義		
		英米文学	英米文学通史講読 / 英米文学多読入門	英米文学通史講読 / 英米文学発展講読	英語圏文学講読	
				英文学特別講義 / 米文学特別講義 / 英米詩概論		
		英語教育		英語教育講義		
				英語教育特別講義		
		留学	Studying Abroad			
	学部共通科目		日本文化論 / 中国文学史 / 日中比較文学 / 地域文化研究 / 西洋文化史 / 歴史学講義 / 心理学講義 / 日本文化史講義 中国文化論 / 比較文学講義 / 異文化コミュニケーション論 / 文化人類学 / 現代日本語の分析 日本語教育教材研究 / 日本語教育評価法 / 日本語学概論 / 日本語史 / 日本文法 / 日本語教授法 / 情報処理発展 歴史学演習 / 思想史演習 / 日本文化論演習 / 中国文化論演習 / 心理学演習 / 日本語教育演習 / 異文化コミュニケーション演習			
	演習				Junior Seminar	
	特殊研究					Senior Seminar
	卒業論文					卒業論文

取得資格 教職課程の履修により、中学校・高等学校教諭一種免許状（英語）を取得できます。

MESSAGE from a Senior

先輩からのメッセージ

文学部英語英米文学科４年　**栗原 由妃乃** さん　（熊本県立天草高等学校出身）

　私は英語で視野を広げて柔軟な考えができるようになりたいと考えたため、英語英米文学科を選択しました。私が大好きなイギリス文学では、言葉から自分なりの解釈をする過程で思いがけない発見ができます。特に、正解がない「詩」の精読はとても楽しいです。英語教育演習では、自分で英語のスピーキングに関する実験・分析をしたことが印象に残っています。

　勉強以外の面では、私は主に２つに注力しています。１つは ELLA（英語英米文学会）委員長を務めています。学力向上、英語英米文学科の学生間の交流促進を主な目的とし、留学生との七夕会などの毎月の英語イベントや、学習会の企画運営をしています。取材活動では様々な人を紹介しています。他には、「おはなし届け隊」を立ち上げ、子供たちに英語絵本の読み聞かせを行っています。英語のスキルを高めるとともに英語の楽しさを伝えています。

　英語英米文学科は、人間そして世界に興味を持った志の高い人が多いです。思慮深い友達、経験豊富な先生方に出会えたため、入学して良かったです。

　大学で学ぶ意義は、「自分の発見」を形にすることだと私は考えます。結果よりも、何かに挑戦する過程で発見することの方が多いと思います。ぜひ自分の新たな発見を大切にしてほしいです。

異文化コミュニケーション演習

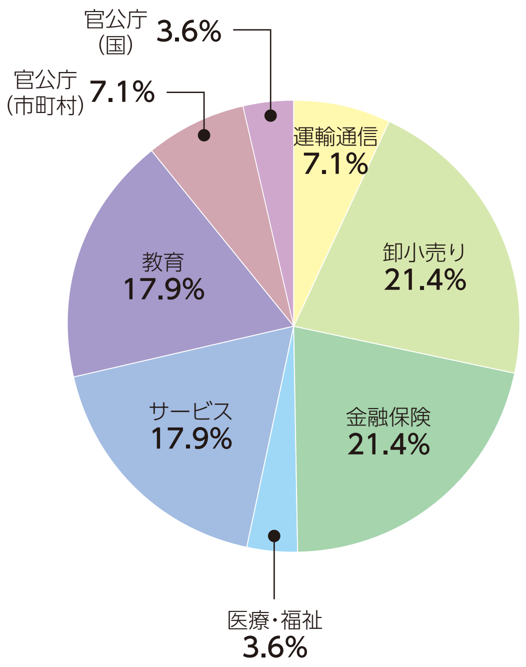
言語学演習

英語教育演習

［卒業後の進路］

英語運用能力を生かし、中学校・高等学校の教員や外資系企業、旅行代理店、航空会社、ホテルなどのサービス業のほか、様々な分野での活躍が期待されます。通訳や翻訳の仕事に進むことができます。もちろん大学院への進学も可能です。

業種別就職状況（2021年度）



主な進路一覧（2019～2021年度）

● **就　職**

アールエスエス、アーステクノロジー、アイトップス、アイケイケイ、青山商事、アドバンサー、アンドチル、イオン九州、一条工務店、宇城市、英進館、ANA 福岡空港、ANA テレマート、エバーライフ、学校法人大阪 YMCA、大分銀行、鹿児島地方法務局、キューネット、九州産業交通ホールディングス、共栄総合サービス、紀陽銀行、ヴィップシステム、熊本信用金庫、国立大学法人熊本大学、熊本労働局、熊本銀行、熊本ホテルキャッスル、公立大学法人熊本県立大学、熊本赤十字病院、KIS、KKT イノベート、コスギ不動産、コム・デ・ギャルソン、再春館製薬所、サエキジャパン、JAL スカイ九州、ジャパンネットワークグループ、住商ファーマインターナショナル、全国労働者共済生活協同組合連合会、第一生命保険、翼、鶴屋百貨店、東京エレクトロン九州、西鉄エアサービス、日本テレメッセージ、日本生命保険相互会社、肥後銀行、フィーチャーアース、富士フイルムビジネスイノベーションジャパン、フレイン、ベッセル、堀場エステック、ヤマエ久野、ラウンドワン、楽天グループ、リコージャパン、りそなグループ、リョーユーパン、ルートイングループ、ローソン、ワールドストアパートナーズ、地方公務員、教員

● **進　学**

熊本大学社会文化学教育部文化学専攻英語教育専門職コース、熊本県立大学大学院文学研究科英語英米文学専攻、神戸大学大学院国際文化学研究科、九州大学大学院人文科学府英文学専攻

MESSAGE from a Graduate

卒業生からのメッセージ

〔勤務先〕

熊本市立井芹中学校

2013年３月
文学部英語英米文学科卒業
2015年３月
文学研究科英語英米文学専攻博士前期課程修了

本岩 悠花 さん
（文徳高等学校出身）

　私は幼い頃から英語や海外の文化に興味があり、地元の大学で英語を学ぶことができる本学に進学を決めました。本学科の特長は、英文学や米文学といった文学はもちろんのこと、言語学や英語教育といった様々な視点から英語への学びを深められることです。本学科で身に着けた幅広い知識は、中学校の英語教師として働く今でも大いに役立っています。

　また、学生主体で運営していた「英語絵本の読み聞かせ会」での経験も、私にとってかけがえのない学びを得る機会となりました。ただ英語の絵本を読むだけでは、小学生の子どもたちは内容が理解できず飽きてしまいます。英語絵本を通じて子どもたちに英語や外国の文化を理解し、親しんでもらうにはどうしたら良いか、仲間と一緒に試行錯誤しました。この経験は、教師として授業を行うにあたって、生徒にとって少しでも分かりやすく楽しいと感じるような授業を作る原点となりました。

　大学生活は、高校までの生活とは違い自由な時間が多くなります。授業以外にも、サークル活動やボランティア活動、アルバイト、留学など、できることは無限大です。４年間という日々をどのように過ごすかは自分次第です。ぜひ、精一杯学び、遊び、体験したことを自分の力にしてください。

環境共生学部

Faculty of Environmental & Symbiotic Sciences

環境共生型社会の創造に貢献する人材を育てる

環境共生学部は、環境共生に係わる諸問題を総合的に捉え、人間活動を支える場としての豊かな自然を保全しつつ、持続的に利用し、地域住民の快適で健康な生活を確保する方策を追求し、地域の発展と人間福祉の向上をめざすことを理念とし、自然環境と人間活動との共生のあり方について教育･研究することを目的とします。

［アドミッション・ポリシー］　～環境共生学部はこのような人を求めています～

本学部は、私たちと自然が共生していく際の諸問題を総合的に捉え、その方策を追求し、地域の発展と人間福祉の向上を目指すことを理念として設置され、環境共生学科のもと、環境資源学専攻、居住環境学専攻、食健康環境学専攻の３専攻で教育研究を行っています。本学部は以下のような能力を持つ学生を求めています。

1. 環境共生学にかかわる様々な課題に関心を持つ学生
2. 科学的、論理的思考能力を有している学生
3. 高等学校における教科に関してバランスのとれた基礎学力を有している学生
4. 理科の科目について十分な学力を有している学生
5. 英語について幅広い素養を備えている学生

さらに、入学後は、国際的な視野と自然科学･健康科学に係る高度な知識をもとに、人間活動と自然環境との共生にかかわる地域あるいは地球規模の諸問題を総合的に対処できる能力を自ら積極的に学修することによって身につけようと考えている学生を求めます。

環境資源学専攻

①自然環境や生態系の保全について学ぶ意欲を持つ学生
②さまざまな環境問題に興味がある学生
③環境にかかわる専門家をめざす学生

居住環境学専攻

①自然を利用し、人と地球にやさしい環境をつくる技術を開発したい学生
②にぎわいに満ちた元気な“まち”、自然豊かで美しい“むら”をつくりたい学生
③快適な住まいや公共の建築物などの設計をめざしたい学生
④地震に強く美しい木造建築物･環境に配慮した建築物をつくりたい学生
⑤建築士として働きたい学生

食健康環境学専攻

①食･健康･環境等の分野に強い関心を有し、将来これらの分野で活躍を目指す意欲的な学生
②社会で活躍する土台となるコミュニケーション能力を持ち、自己のコミュニケーション能力の向上に熱心な学生
③様々な課題のよりよい解決に向け、自ら問題を発見しようとする探求心とその解決を図るための豊かな想像力を有する学生
④高等学校卒業レベルの十分な基礎学力を持つとともに、理科科目（化学および生物）に対して興味や関心を持つ学生
⑤最新の科学的知見を得る上で重要となる英語について幅広い素養を備えている学生

大学院（環境共生学研究科）については→P57

◉2024年度入学定員及び募集人員

環境共生学部 環境共生学科		入学定員	募集人員							
			一般選抜		自己推薦型選抜	特別選抜				
						学校推薦型選抜				留学生・帰国子女 社会人
			前期	後期		県内	全国	農業･林業･水産科	くまもと夢実現	
専攻	環境資源学専攻	110名	15名	12名	ー	3名 ※		若干名	全学で2名以内	若干名
	居住環境学専攻		20名	12名	4名	4名	ー	ー		若干名
	食健康環境学専攻		28名	8名	ー	4名	ー	ー		若干名

※うち２名以上は熊本県内高等学校枠

環境共生学部 4年間の学び

環境共生学部の教育課程編成・実施の方針(カリキュラム・ポリシー)より

自然と人間が共生していく際の諸問題を総合的に捉え、その方策を追求し、地域の発展と人間福祉の向上を目指すことを理念とし、環境共生学科のもと、環境資源学専攻、居住環境学専攻及び食健康環境学専攻の３専攻を設けています。

全学共通教育に加え専門科目として、学部共通教育及び各専攻の専門領域の教育を通して、環境共生型社会の創造に貢献する人材の育成を目指し、環境共生にかかわる諸問題と環境共生の理念を理解するため、フィールドワークを含む｢導入科目｣、自然科学の知識と理解力を養成する｢基礎科目｣並びに各専攻の専門的な能力を養成する｢展開科目｣を講義、演習、実習、実験などの順次性に配慮し、体系的に配置しています。

区分		1年	2年	3年	4年
共通科目群		基盤科目　外国語／健康スポーツ科学／情報処理とデータサイエンス／キャリアデザイン／地域理解とリーダーシップ		教養科目　人間と文化／自然と環境／社会と世界　※詳細はP21	
専門科目群 環境資源学専攻…P36 居住環境学専攻…P40 食健康環境学専攻…P44	学科共通科目	導入科目 「環境共生論」 「現代生活と環境問題」 「居住環境を創る」 「食と環境」 「フィールドワーク」			
		「情報処理実習」		「環境共生総合演習」	
	専門科目 環境資源学領域 居住環境学領域 食健康環境学領域	基礎科目			
			展開科目		
					卒業研究

［学部長からのメッセージ］

MESSAGE from the Dean

環境問題は、人類の活動に由来する地球環境の変化により発生した問題であり、環境問題は人類のあらゆる社会経済活動から発生しうるものであり、環境、経済及び社会の諸課題は密接に関係しています。「持続可能な開発のための2030アジェンダ」の中核となる「持続可能な開発目標」（SDGs：Sustainable Development Goals）では、経済・社会・環境の諸課題を統合的に解決することの重要性が示されています。

環境共生学部は、環境共生に係わる諸問題を総合的に捉え、人間活動を支える場としての豊かな自然を保全しつつ、持続的に利用し、地域住民の快適で健康な生活を確保する方策を追求し、地域の発展と人間福祉の向上をめざすことを理念とし、自然環境と人間活動との共生のあり方について教育・研究することを目的として、平成11年4月に設立されました。今年で創設25年目となりますが、本学部は早くよりこの「持続可能な開発」の考え方に基づき、教育・研究活動を行ってきたと自負しています。

本学部は2019年4月より3学科であった従来の枠組みを1学科３専攻に改組し、学科という垣根を無くして、これまで以上に専門的かつ学際的な領域の教育、研究及び地域・国際貢献活動を実施し、持続可能な社会の構築に貢献できる人材を育成したいと考えています。

環境共生学部長
石橋 康弘

環境共生学科

環境資源学専攻

Division of Environmental Resources,
Department of Environmental & Symbiotic Sciences

［専攻の特色］

環境科学を実践的に学ぶ

教室で行う講義に加えて、現場での各種フィールドワーク、沿岸域環境、森林環境、水産環境、植物生産環境に関する4つのアセスメント実習や環境分析化学実験、大気環境学実験、高分子化学実験などの科目において、環境共生にかかわる諸問題の原点である現場での実証的な作業やその実験、実習を体験し、環境問題の複雑さを学び、知識の応用能力を養います。

情報発信能力を養成する

多数の情報処理機器を学生が自由に利用できる体制が整備されており、情報処理に関する演習科目や各実験・実習・演習科目において得られた結果を処理・分析し、レポート作成、結果発表（プレゼンテーション）する能力を養成します。さらに、環境分野においては英語によるコミュニケーションが不可欠になってきているため、ネイティブスピーカーの教員の指導により英会話のみならず環境分野での英語による海外への情報発信能力を養成します。

［環境資源学専攻 4年間の学び］

環境資源学専攻の教育課程編成・実施の方針(カリキュラム・ポリシー)より

1 環境共生に関わる諸問題を科学的に解明し対処するための基礎的な自然科学の知識と理解力を養成し、併せて、環境の成り立ちや生態系の仕組みを理解し、人間活動が環境資源に及ぼす影響を調査、解析、評価する能力を養成するために「専攻専門科目」を置き、環境資源の保全と適正利用による、持続可能な生物資源の生産技術並びに社会発展のための方策について教育します。

2 「基礎科目」では、基礎的な自然科学の知識と理解力を幅広く養成するために、理科全般（物理学・化学・生物学・地学）、数学、統計学及び情報処理に関する科目を設置しています。

3 「展開科目」では、生態、生物資源、物質環境、環境計画の4分野に関する調査・分析能力を養成するために、各分野の講義科目及び実験・演習科目に加えて、環境評価をフィールドにおいて実践的に体験する4つの環境アセスメント実習（沿岸域環境アセスメント実習、森林環境アセスメント実習、水産環境アセスメント実習、植物生産環境アセスメント実習）を設置しています。

4 生態関係科目では、海洋及び森林の生態系の構造と機能、保全と利用のための方策を学ぶ科目を、生物資源関係科目では、海洋及び陸上で生産される生物資源の特性と機能、栽培・増殖法、生産環境、生産物の利用法を学ぶ科目を、物質環境関係科目では、環境における物質循環に関する化学的、物理的な知識と環境への影響評価手法を学ぶ科目を、環境計画関係科目では、環境資源の保全と恒久的利用、持続可能な社会発展に必要な計画論、法規、政策、制度について学ぶ科目を、それぞれ設置しています。

5 国境を越え、広域化、国際化する環境に関わる諸問題に対応する能力を養成するために、共通科目群基盤科目の英語科目に加えて、専門科目群専攻専門科目基礎科目に英語科目(Science English)を設置しています。

［開講科目（専門科目）］

<table>
<tr><th colspan="3">区分</th><th>1年</th><th>2年</th><th>3年</th><th>4年</th></tr>
<tr><td rowspan="7">専門科目群</td><td rowspan="2">学科共通科目</td><td>導入科目</td><td>環境共生論
現代生活と環境問題
居住環境を創る
食と環境 / フィールドワーク</td><td></td><td></td><td></td></tr>
<tr><td></td><td>情報処理実習</td><td></td><td>環境共生総合演習</td><td></td></tr>
<tr><td rowspan="5">専門科目（環境資源学領域）</td><td>基礎科目</td><td>生物学I・II / 生物学実験
基礎化学 / 有機化学
化学実験 / 物理学I・II / 数学I・II</td><td>統計学 / 統計学演習
物理学実験 / 環境情報処理実習</td><td>Science English I・II
地学I・II / 地学実験I・II
応用情報処理演習</td><td></td></tr>
<tr><td>展開科目 生態</td><td></td><td colspan="2">森林生態学 / 森林資源学 / 森林環境アセスメント実習
海洋生態学 / 沿岸環境保全論 / 沿岸域環境アセスメント実習
海藻学 / プランクトン学</td><td></td></tr>
<tr><td>展開科目 生物資源</td><td></td><td colspan="2">作物生産学 / 植物食資源学 / 植物生産環境アセスメント実習
水産環境学 / 水産環境アセスメント実習 / 海洋微生物学
魚類環境生理学 / 食資源開発学</td><td></td></tr>
<tr><td>展開科目 物質環境</td><td></td><td colspan="2">環境分析化学 / 水環境科学 / 環境分析化学実験 I・II
環境素材学 / 高分子化学 / 高分子化学実験
大気環境学 / 大気環境学実験 / エネルギー環境学
環境衛生科学 / 生物濃縮論 / 環境計量演習
食品分析学 / 食品安全性学</td><td></td></tr>
<tr><td>展開科目 環境計画</td><td></td><td colspan="2">環境経済学 / 環境関連法規 / 農山村域計画学
都市計画 / 地域景観計画学 / 都市居住政策学</td><td></td></tr>
<tr><td colspan="3">卒業研究</td><td></td><td></td><td></td><td>卒業論文</td></tr>
</table>

取得資格 教職課程の履修により、中学校教諭一種免許状（理科・家庭）・高等学校教諭一種免許状（理科・家庭・農業）が取得できます。また、環境計量士や公害防止管理者の受験に対応しています。

MESSAGE
from
a Senior

先輩からのメッセージ

環境共生学部環境共生学科環境資源学専攻４年　**北里 泰成** さん　（真和高等学校出身）

私が環境資源学専攻を選んだ理由は、地球環境を海や河川、森林、大気、そしてそれらの環境すべてに存在する水を幅広い観点から包括的に学習できると考えたからです。これまで大学生活を過ごしてきて、これらの学習が実際にできていると感じています。まだ自分が研究したいことを明確に決めていない人は、本専攻を選んではいかがでしょうか？本専攻では、３年生の前期まで先に挙げたような幅広いフィールドで環境問題を学習できるため、入学してから２年半の間は自分の研究したい分野をじっくりと考えることができます。

ここからは私の学生生活の話です。私は大気環境学研究室でエアロゾルの研究をしています。本研究室に入ったきっかけは、データ処理を中心にやってみたかったからです。皆さんが本専攻にいらっしゃったら、プログラミングを学習してデータ処理をしてみてくださいね。必修の講義とさらに応用情報処理を履修すれば、さらにデータ処理を学ぶことができますよ。私はサークル等には所属していません。サークルに所属している友人たちは楽しそうにしていますが、サークルに所属していない友人も多くいますし、入らない選択もありだと思います。

大学生活と高校生活を比べることは一概にはできませんが、大学生活で自分次第でより多くの経験を得られるのは間違いないと思います。受験の頑張りが大学生活にも生きるはずです。頑張ってください！

物理学実験

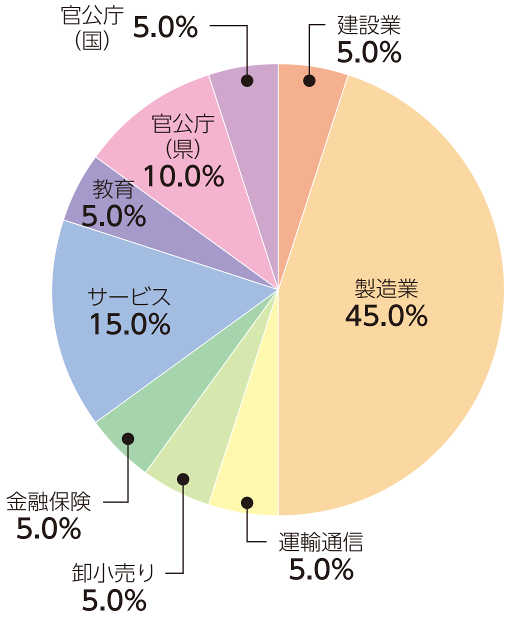
沿岸域環境アセスメント実習

森林環境アセスメント実習

［卒業後の進路］

環境アセスメントにかかわる専門家、地域の発展を環境の面から支えていく公務員、環境のより専門的な分野を掘り下げていく研究者（大学院への進学など）、環境についての次の世代を育てていく教育者への道が拓かれています。

業種別就職状況（2021年度）



主な進路一覧（2019～2021年度）

●就　職

IBJ、アウトソーシングテクノロジー、アドバンテック、加藤産業、九電工、熊本銀行、国立大学法人熊本大学、熊本ニチアス、熊本県果実農業協同組合連合会、熊本森永乳業、熊本市医師会、熊本国税局、熊本県警察、KMバイオロジクス、国税専門官、コスモス薬品、再春館製薬所、済生会熊本病院、シアーズホーム、ジーエルサイエンス、JCU、事業組合システムバンキング九州共同センター、資生堂、ジョーツー、生活協同組合くまもと、ソフトウエアビジョン、タケエイ、同仁堂、西日本高速道路エンジニアリング九州株式会社、ニチアス、野田市電子、博多まるきた水産、福岡県農林業総合試験場、南九州マルキ、メンバーズ、リコージャパン、国家公務員、地方公務員、教員

●進　学

熊本県立大学大学院環境共生学研究科

MESSAGE
from
a Graduate

卒業生からのメッセージ

〔勤務先〕
西日本鉄道株式会社

2019年３月
環境共生学部環境資源学科卒業
2021年３月
環境共生学研究科博士前期課程修了

谷川 彩実 さん
（熊本県立天草高等学校出身）

身近に豊かな自然がある環境で育った私は、昔から生き物や植物が好きで、小学校時代から理科が大好きでした。大学進学時にはせっかく４年間も学ぶなら大好きな理科が広く学べる場所に行こうと環境資源学科へ進学しました。

大学生活は大変有意義で、楽しく学びが多い時間でした。期待どおり座学・実験・フィールドワークと“生きた”学びができ、学友・先生方にも恵まれました。学内に留まらず、台湾やインドネシアへ行き研究することができ、多くの面で濃い経験ができました。この楽しさ・学びを形として残したいと思い教職の授業も受講し、高校理科の教員免許を取得することもできました。

大学生活では熊本県立大学の体育祭“プクリンピック”を運営する委員会に所属しました。他学部の学生たちと大きなイベントをイチから作り上げるために合宿をしたり準備に追われたりと、ここでしか得られない刺激的な日々を過ごすことができました。

大学は高校までの受け身な学習とは異なり、自分の好きな分野を好きなだけ深められます。こんなに楽しいことはありません!今までとは比べられないほどたくさんのことを経験し、様々な人との関わりが日々を彩ってくれるはずです。皆様の大学生活が充実した輝かしい日々となることを心より祈っております。

環境共生学科

居住環境学専攻

Division of Human Habitats,
Department of Environmental & Symbiotic Sciences

［専攻の特色］

居住環境学専攻では、「地域に密着した題材を通して、従来の建築学科の枠を超える教育・研究」を行っています。近年の社会の流れを根本から転換し、「人と自然、さまざまな人々が共に生き続ける社会」=「環境共生型社会」をめざす熱い心をもち、地域文化や気候風土に根差した"すまい"・建築・都市・農山村などの「環境共生型居住環境を保全・創造する知識、能力、技術を豊富に持った人材育成」をめざしています。

新しいライフスタイルの創出を国際的視点から考える能力の養成

地球温暖化など世界的規模で生じる問題とその解決法を、グローバルに学び、地域に還元する力の養成に努めています。

総合力、構想力の養成

講義などで得た知識を統合化する設計製図などの実習を有機的に関連させたカリキュラムを組んでいます。これらの訓練を通して、構想から形を創る能力や知識を総合化する能力を養成します。

少人数体制の下、実体験と現場を重視した教育

少人数制を活かして、「居住環境デザイン実習」、「CAD実習」、「居住空間構造・材料実験」などの科目で、現場体験する実践型の教育を行います。また、「フィールドワーク」、「木質材料活用論」など建築・地域などに関するさまざまな見聞を広める貴重な体験学習の科目を設けています。

問題の認識と解決方法を深めるための歴史を重視した教育

現代の複雑な問題群を本質的に解決するには、その背景や要因を歴史的に学ぶ必要があります。歴史を通して、先人の知恵を学び、現代の問題群を根本的に理解できる教育に努めています。

［居住環境学専攻 4年間の学び］ 居住環境学専攻の教育課程編成・実施の方針(カリキュラム・ポリシー)より

本専攻の「環境共生」の理念のもと、環境への負荷軽減、人間の健康・福祉などを重視し、住居から建築・都市・地域に至る居住環境の全体を見据え、実体験に基づいた科学的認識能力と、居住環境をまもり育てる専門的な技術をもった人材を育成します。そこで、以下のようなカリキュラムを編成しています。

1. 本専攻は居住空間計画、都市・地域計画、環境調整・設備、構造・材料の4分野から構成され、各分野において基礎から応用まで段階的に修得できるように科目を設置しています。基礎的な科目はすべて必修科目に指定し、初年度から基礎的な実習を取り入れて主体的な学修を促します。また、実験・実習・演習の科目を多く設け、講義で得た知識を実験実習で体感し、自ら主体的に取り組み、より深く認識できる構成としています。
2. 居住空間計画 及び 都市・地域計画分野では、地域の課題を浮き彫りにする内容とともに、国際的な視野で課題を考えることができる力を養うべく、多くの外国事例などをとりあげて幅広く講義する科目群を設置しています。
3. 環境調整・設備及び 構造・材料分野では、自然環境との共生と環境負荷の軽減を目指すとともに、人と地球にやさしい建材である木質材料を重視した関連科目群を設置しています。
4. 卒業時に、一級建築士、二級建築士の受験資格が得られ、更に様々な進路も選択できるようなカリキュラム構成としています。

［開講科目(専門科目)］

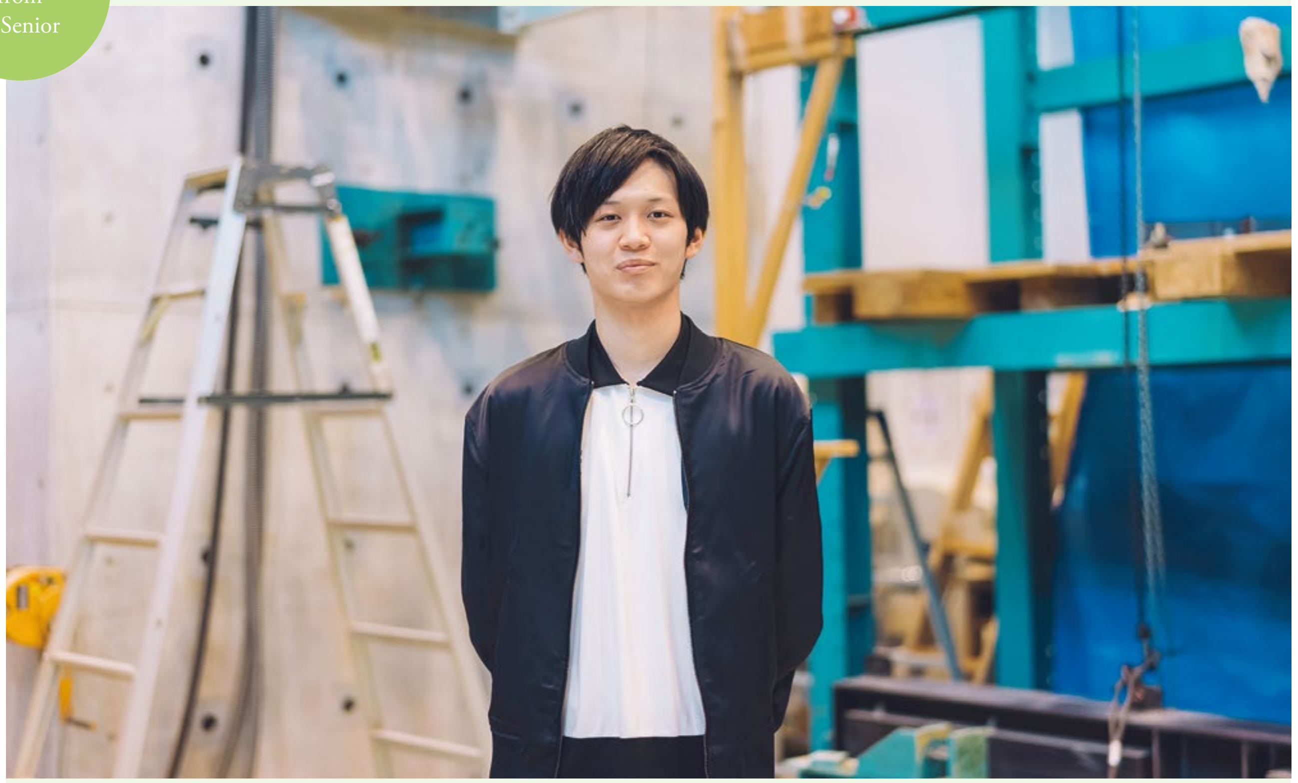
区分				1年	2年	3年	4年
専門科目群	学科共通科目	導入科目		環境共生論 現代生活と環境問題 居住環境を創る 食と環境 / フィールドワーク			
				情報処理実習		環境共生総合演習	
	専門科目(居住環境学領域)	基礎科目		数学Ⅰ・Ⅱ / 図学 / 物理学Ⅰ・Ⅱ 居住環境デザイン実習Ⅰ・Ⅱ	CAD実習Ⅰ	応用情報処理実習	
		展開科目	都市・地域計画		比較都市文化論 / 都市計画 / 都市居住政策学 農山村域計画学 / 地域景観計画学 / 地域計画論		
			居住空間計画	建築史 / 住空間計画学 / インテリアデザイン論 / インテリアデザイン実習 比較住文化論 / 建築計画学 / 木質デザイン論 / 福祉住環境原論			
			環境調整・設備		建築環境工学Ⅰ・Ⅱ / 環境設備学 環境設備システム学 / 環境設備システム学演習 環境調整工学 / 居住環境調整工学実験		
			構造・材料	建築構法 / 建築構造の基礎 / 木質構造学 / 静定構造力学 / 静定構造力学演習 居住空間材料学 / 不静定構造力学 / 不静定構造力学演習 鉄筋コンクリート構造学 / 居住空間構造・材料実験 / 鉄骨構造学			
			全体共通	居住環境デザイン実習Ⅲ～Ⅵ / 木質材料活用論 / CAD実習Ⅱ / 建築施工学 環境防災・安全工学 / 建築法規 / 森林生態学 / 海洋生態学 / 地学Ⅰ・Ⅱ / エネルギー環境学 大気環境学 / 環境関連法規 / 環境経済学 / 地方自治論 / 公共政策論			
	卒業研究						卒業論文

取得資格

一級建築士および二級建築士の受験資格が得られます。また、教職課程の履修により、中学校教諭一種免許状（理科・家庭）・高等学校教諭一種免許状（理科・家庭・農業）が取得できます。その他、卒業後取得可能な資格として、１級建築施工管理技士及び２級建築施工管理技士があります。（１級建築施工管理技士は、卒業後３年以上、２級建築施工管理技士は、卒業後１年以上の実務経験が必要です。）在学中に取得できるものは、インテリアプランナー、福祉住環境コーディネーター、インテリアコーディネーター、カラーコーディネーター検定、色彩検定、照明コンサルタントなどがあります。

MESSAGE from a Senior

先輩からのメッセージ



環境共生学部環境共生学科居住環境学専攻４年　**木佐木 琉矢** さん　（熊本県立鹿本高等学校出身）

私は小学生の頃からテレビや雑誌、旅行先で見る建物など、様々な建築物に興味を持つようになり、将来は建築に携わる仕事がしたいと考えていました。さらに建築物のデザインや構造だけでなく、都市計画などの周辺地域との関わりも学びたいと考え、この専攻を選びました。

居住環境学専攻では、建築設計、構造、建築設備、住環境、都市・農村計画など様々な分野について学ぶことができます。デザイン実習や構造・材料実験、フィールドワークが講義の一環として設けられているため、建築を実践的に学び、座学だけでは得られない知識や経験を積むことができます。コンクリート強度試験や木材の曲げ試験などの実験は貴重な体験です。またフィールドワークを通して木造建築物に触れ、木材の活用法や軸組などを知ることで、面白い発見があります。私は日頃からドライブや旅行先で訪れた場所の建物を見ることや、街並みを散策することを楽しんでいます。誰が設計したのか、どの建築構造が用いられているのかなど興味が湧きます。

私のように建物や街並みに興味がある方はもちろん、ものづくりが好きな方、インテリアが好きな方は、ぜひ居住環境学専攻で充実した大学生活を送りましょう！

居住環境デザイン実習

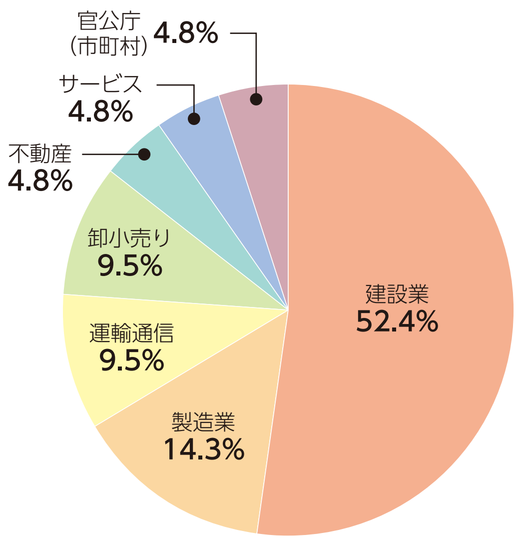
居住環境調整工学実験

ワークショップの様子

［卒業後の進路］

建築・構造・設備各関係の設計事務所、住宅・建築・不動産開発などの会社の企画・技術者、家具やインテリア製品メーカーの企画・デザイナー、建築材料・機器メーカーや流通部門でも専門スタッフなどのほか、国・都道府県をはじめ自治体の上級・専門職への道が拓かれています。大学院進学者も多数います。

業種別就職状況（2021年度）



主な進路一覧（2019～2021年度）

● 就　職

アイ・ティー・エックス、アイウッド、アウテリアタイガー、アクタス、アダル、アネシス、アネシスホールディングス、新井組、ウエスコ、梅林建設、エーワンコンサルタント、S.I.Factory 合同会社、エバーフィールド、オカモト、カチタス、カワゴエ、QTnet、熊本県農業共済組合、国立大学法人熊本大学、グリーンライフ産業、健康住宅、コイズミ照明、コイズミスタジオ、コスモス薬品、コスモホーム、三冷社、三友機器、シアーズホーム、松栄パナホーム、新産住宅、スペースエージェンシー、すまい工房、住友林業緑化、住友林業ホームテック、積水ハウス、ゼネラルアサヒ、総合資格、大和リース、タカスギ、タカラスタンダード、タケウチ、谷川建設、タマホーム、ツクイ、TIS 長野、DYM、鉄建建設、TOTO アクアエンジ、日鉄鋼板、ニッポン工業、日本ビルケア、ハウジングプラザ、パナソニックリビング九州、肥後銀行、不動産 SHOP ナカジツ、洞口ネイエ設計、ポラスグループ　ポラス、MACRI、水野建設、三菱電機住環境システムズ、村上建築設計室、明和不動産、山本建設、有価物回収協業組合石坂グループ、UT グループ、吉本総合芸能学院（NSC）、国家公務員、地方公務員

● 進　学

熊本大学大学院自然科学教育部土木建築学専攻、熊本県立大学大学院環境共生学研究科、鹿児島大学大学院理工学研究科建築学専攻、首都大学東京都市政策科学科、千葉大学大学院融合理工学府創成工学専攻建築学コース、奈良女子大学大学院人間文化総合科学研究科、広島大学大学院工学研究科

MESSAGE from a Graduate

〔勤務先〕
株式会社アネシス

2021年３月
環境共生学部居住環境学科卒業
飯星 裕貴 さん
（熊本県立熊本工業高等学校出身）

卒業生からのメッセージ

高校時代の設計コンペと海外派遣留学の影響から「持続可能な住宅」の研究・設計をしたいと思い、住宅と環境について学べる本学科に進学しました。

本学科では、建築史やインテリアに加えて、それを取り巻く地球環境や、住宅の環境・設備についても学ぶことができ、座学以外にもフィールドワークや、建築部材の構造実験を体験することもできます。特に居住環境デザイン実習では、設計課題が出され、お題に対して自らの手で図面を書いたり、CAD を使用したりして、独自の作品を作っていき、最後はみんなで講評会を行います。同じお題でも、形や考え方に違うものがあり、友達がどんな想いをその作品に込めたのかを聞くことができる、それが私にとってとても充実した楽しいひと時でした。作品のコンセプトや中身も大切ですが、今思うと、締切までのスケジュールと進捗を見定めることも、この授業を受けるうえで大事なことだったと感じています。

学生生活では、同じ学科の友達やサークル･委員会の友達と、旅行やキャンプに出かけたり、スポーツ大会を開催したりしました。学科内の友達と中庭プロジェクトで、東屋やピザ窯を作ったり、その他にも、個人的にドッジボールサークルを設立･運営してみたり、タイや屋久島に一人旅をしてみたりと、様々なことに挑戦しました。

進学される方は、何事にも挑戦し続けることを忘れないでいただきたいと思ってます。できないから諦めるのではなく、どうやったらできるのかを考えて行動することや、挑戦から何を得たいのか（得られたのか）を記録することが大学生活を送るうえで大切だと感じました。「私は、この１年、○○について頑張れた！」と思えるように、年ごとに３つほど目標を立てることをお勧めします！勉強頑張ってください！お待ちしております。

環境共生学科

食健康環境学専攻

Division of Food & Health Environmental Sciences,
Department of Environmental & Symbiotic Sciences

［専攻の特色］

“食”を通じて“健康”を、“環境”を通じて“食”を考える

食健康環境学専攻では、食品の機能、人体の構造と機能、栄養素の体内での代謝、食生活改善による生活習慣病の予防、疾病時の栄養管理、バイオテクノロジーと食品開発、食品の安全性と健康、身体活動と健康管理、食糧生産など、食料・健康・環境にかかわる諸問題を科学的に解明し対処するための知識と実践力を養います。

また、フィールドワークや多数の実験・実習科目を通して、基礎知識を確実に身につけ、さらに応用力や創造性を高めることをめざします。

高度な教育・研究の推進によって多分野で活躍できる人材を育成

本専攻では「人と社会と自然との共生」の視点から、自然環境へやさしく、地域の環境特性を反映した「食と健康」について高度な教育・研究を行い、食と健康、食料を取り巻く環境問題、生命科学、バイオテクノロジーなど、“食”を総合的かつ多面的に捉えることができる『食のスペシャリスト』を養成しています。このほか管理栄養士養成施設として、管理栄養士を養成するだけでなく、食と健康に関する高度な知識と実践の方法を学びながら、問題解決能力と研究能力を高め、応用力のある管理栄養士の輩出をめざしています。

［食健康環境学専攻 4年間の学び］

食健康環境学専攻の教育課程編成・実施の方針(カリキュラム・ポリシー)より一部抜粋

1 自然科学に関する基礎的知識を基にして、専門分野における知識と技術の修得が可能となる科目を、段階的に、総合的に学修できるように配置しています。特に、大学教育で得られた知識をもとに自ら考え、発展させる能力や、レポート作成、プレゼンテーション能力などを養うことを目指し、実験・実習・演習科目を重点的に配置しています。

2 食・健康・環境に関わる様々な問題を国際的な視野をもち、地域の立場から、自ら発見し解決する思考力・判断能力を修得するための科目を配置しています。

3 自然環境や地域の環境特性を反映した地域住民の健康づくり、疾病の予防・治療、食品開発などに寄与できる技術や態度を修得できるように、食品の機能、人体の構造と機能、栄養素の体内での変化、食生活と生活習慣病予防、疾病と栄養、バイオテクノロジーと食品開発、食品の安全性と健康、身体活動と健康管理、食糧生産などに関連する科目を配置しています。

4 基礎科目では、食品、栄養、運動および健康を学ぶための基礎となる化学と生物学に関連する科目ならびに物理学、統計学を含む科目を設置しています。展開科目の食環境関連科目では、食をめぐる環境に関し、食品の物理・化学的性質と調理・加工・流通にともなう変化ならびに食品の安全性を理解した上で、環境と共生できる食資源の開発・利用を学ぶ科目を配置しています。また、展開科目の健康環境関連科目では健康をめぐる環境に関し、食品機能・栄養化学、解剖・運動生理など、人体の構造・機能を理解した上で、食や運動を通じた健康管理・増進について学ぶ科目を配置しています。

［開講科目（専門科目）］

区分				1年	2年	3年	4年
専門科目群	学科共通科目	導入科目		環境共生論 現代生活と環境問題 居住環境を創る 食と環境 / フィールドワーク			
専門科目群	学科共通科目			情報処理実習		環境共生総合演習	
専門科目群	専門科目（食健康環境学領域）	基礎科目		生物学 / 生物学実験 / 基礎化学 化学実験 / 生命有機化学 有機化学 / 生化学 / 物理学	物理学実験 / 統計学 / 統計学演習	生化学実験 / 応用情報処理実習	
専門科目群	専門科目（食健康環境学領域）	展開科目	食環境	調理学 / 調理学実習/ 食品学総論 / 食品化学 / 環境衛生学 / 作物生産学 / 食文化論 食資源開発学 / 食品学各論 / 植物食資源学 / 食品製造学 食品微生物学 / 食品分析学 / 食品分析学実験 / 食品加工学 / 食品加工学実験 / 食品バイオテクノロジー 食品バイオテクノロジー実験 / 食品衛生学 / 食品衛生学実験 / 食品保存学 / 食品安全性学			
専門科目群	専門科目（食健康環境学領域）	展開科目	健康環境	解剖生理学 / 栄養教育論 / 環境生理学 / 環境生理学実習/ 栄養学総論 / 解剖生理学実験 / 栄養学実験 発育発達運動学 / 栄養生化学 / 栄養学各論 / 栄養教育論実習 / 栄養指導論 / 生体防御学 給食経営管理学 / 臨床医学概論 / 健康管理学 / 栄養運動生理学 / 栄養運動生理学実習 ライフステージ栄養学演習 / 栄養機能性学 / 給食管理実習 給食経営管理臨地実習 / 公衆栄養学 / 疾病論 / 栄養情報管理学 / 臨床栄養アセスメント 生活習慣病予防学 / 臨床栄養学実習 / 公衆衛生学 / 臨床治療食実習/ 臨床栄養学臨地実習 地域栄養アセスメント実習 / 公衆栄養学臨地実習/ 臨床外科栄養学 / 実践栄養学総合演習 臨床栄養治療学 / 臨床代謝栄養学			
専門科目群	卒業研究						卒業論文

取得資格

所定の科目を履修することで栄養士免許が取得でき、管理栄養士国家試験の受験資格が得られます。また、教職課程の履修により、中学校教諭一種免許状（理科・家庭）・高等学校教諭一種免許状（理科・家庭・農業）、栄養教諭一種免許状が取得できます。食品衛生監視員及び食品衛生管理者（任用資格）の取得も可能です。

MESSAGE
from
a Senior

先輩からのメッセージ

環境共生学部環境共生学科食健康環境学専攻４年　**有田 奈央** さん　（宮崎県立宮崎南高等学校出身）

私は中学・高校で陸上部に所属していました。部活動を通して、栄養や食事を工夫して摂ることが競技力の向上に繋がることを実感し、食や栄養に興味を持ったことがきっかけでこの専攻を選びました。

本専攻では、食事や栄養に関することだけではなく、医療・運動・バイオテクノロジー・環境・福祉・食育など多面的な分野から食に関する知識を学んでいます。栄養運動生理学実習では、健康や体力の向上、病気の予防に必要なからだの仕組みについて学びを深めることができます。普段は使うことのできない運動器具を用いて、様々な運動実験を行い、からだの仕組みについて実践的に学ぶことができるとても面白い授業です。本専攻は１学年の人数が約40人と少ないため、先生方や同期、先輩・後輩との距離が近く、専攻内での繋がりの強さが魅力的です。また、毎年３年次に文化祭で手作りお菓子を販売しています。私たちの代ではスコーンを手作りし、学年一体となって学内や地域の方への販売を成功させることができました。

勉強以外では、レポートや課題、試験勉強で忙しい中で、放課後などの時間をうまく利用してサークルやアルバイトにも行きます。休日や長期休暇中に友達と食事に行ったり旅行に出かけることも楽しみの一つです。

本専攻で習得する技術や知識を活かした管理栄養士などの職業は、人々の食や健康を支える重要な役割を担っています。皆さんも本専攻で食に関する学びを深め、様々な分野で活躍できる食のスペシャリストを一緒に目指しませんか。

生物学実験B

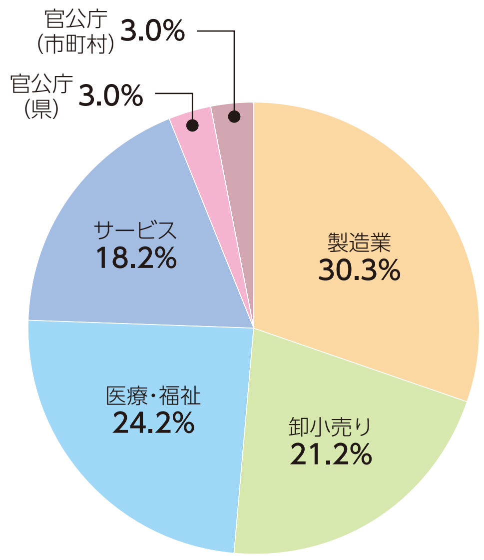
食品バイオテクノロジー

栄養運動生理学実習

[卒業後の進路]

環境共生学部の理念のもと、「食」と「健康」、そして「環境」について学んだ卒業生は、ある特定の分野に限らず、さまざまな方面で活躍しています。進路は、食品・医療・健康関連企業、病院・保健所・福祉施設・小中学校などでの管理栄養士業務や研究開発業務、行政機関（保健・福祉・食品・環境分野）、教職（理科・家庭・農業・栄養）などへの道が拓かれています。

業種別就職状況（2021年度）



主な進路一覧（2019～2021年度）

● 就　職

アステム、アヲハタ、飯塚病院、一番食品、一富士フードサービス、ウィルオブ･ワーク、ABCクッキングスタジオ、エームサービスジャパン、大森淡水、大嶌屋、唐十、菊池郡市医師会立病院、久原本家グループ、熊本中央病院、くまもと健康支援研究所、熊本県総合保健センター、熊本県酪農業協同組合連合会、熊本製粉、熊本大学病院、熊本赤十字病院、グラットン、新東京病院、KMバイオロジクス、光晴会病院、済生会熊本病院、認定こども園エンゼル保育園、サブライム、シーマインド、システムワレオ、シマヤ、島根大学医学部付属病院、寿楽園、新生堂薬局、新別府病院、スマイリング･パーク、住友生命保険相互会社、田主丸中央病院、タイヘイ、ダイショー、タカキベーカリー、認定こども園たつだ保育園、鶴屋百貨店、てまひま堂、ドラッグストアモリ、中村学園事業部、永富調剤薬局、西日本フード、西原商会、日本調剤、日本食品検査、日本赤十字社熊本健康管理センター、パーソナルキャリア、ハウディ、久光製薬、富士産業、フジパン、藤崎台童園藤崎台保育園、フランソア、マルキン食品、丸美屋、南九州ニチダン、美濃吉、モード･プランニング･ジャパン、ヤマエ久野、ヤヨイサンフーズ、淀川食品、米盛病院、LAVAインターナショナル、LEOC、ロッキー、地方公務員、教員

● 進　学

熊本県立大学大学院環境共生学研究科、熊本大学大学院社会文化科学教育部　法務紛争解決学専攻法公共政策実践コース、金沢大学大学院医薬保険学総合研究科医科学専攻、お茶の水女子大学大学院人間文化創成科学研究部、広島大学統合生命科学研究科統合生命科学専攻食品生命科学プログラム

MESSAGE
from
a Graduate

卒業生からのメッセージ

〔勤務先〕
東京都福祉保健局
東京都立墨東病院

2017年３月
環境共生学部食健康科学科
本郷 優紀 さん
（大分県立杵築高等学校出身）

私は食事と健康の関わりについて興味があったことから、管理栄養士の受験資格を得られる本学科に進学しました。

本学科では、給食経営や臨床栄養だけではなく運動生理学や微生物学など環境を含めた幅広い分野を学ぶことができ、実習や実験などの実技演習も豊富にあるため、現場に近い経験を培うことができます。また、本学科は栄養士、管理栄養士の受験資格のほかに、栄養教諭や食品衛生監視員・管理者などの資格を取得できる点も魅力です。卒業後は病院や学校、給食施設など様々な分野へ進むことができるため、将来の選択肢を広げることができます。

私は現在、急性期病院で勤務をしています。栄養学は日々進歩していくため、新しく正しい知識を追っていく必要があります。その際に学生時代のレポートや卒業論文作成時に培った情報収集力が役立っていると感じます。

私は大学生活を通じてかけがえのない友人と出会うことができました。大学は知識や経験を得る場でもありますが、それ以上に年齢や目標の異なる多くの人に出会うことができる貴重な場です。サークルや学外活動にも積極的に参加をして頼れる仲間を作ってほしいと思います。

総合管理学部

Faculty of Administrative Studies

行政から企業まで、活躍の場を選ばない「総合管理力」を究める

総合管理学部は、多様化、複雑化してきた社会の諸問題を、総合的に捉え、解決していくため、社会学、行政学、社会福祉学、経営学、情報学などを統合・体系化した総合管理（アドミニストレーション）学を専門的に教育・研究することを目的とします。

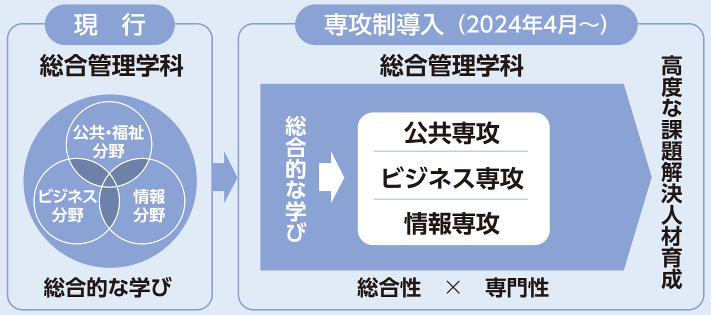
［アドミッション・ポリシー］ ～総合管理学部はこのような人を求めています～

総合管理学部は、社会的諸課題を正しく捉え、それを実践的に解決していくことを学ぶ社会科学系の学部です。社会的諸課題を解決していく実践的な人材養成に向けて、学部の入学者受け入れ方針を次のように定めます。

❶社会の諸課題に興味を持ち、それを解決していこうとする意欲と態度を備えている人
❷課題解決のために、他者と協調的に活動していける人
❸課題を正しく把握するために、多様な視点で柔軟に考えていける人
❹多様な知識とスキルから成る総合管理を学ぶために、高校までの幅広い基礎学力を持っている人

2024年4月から、現行の1学科（総合管理学科）を発展させ、学科のもとに3専攻（公共専攻、ビジネス専攻、情報専攻）を設けます。

多様化・複雑化の時代を見据え、総合管理学等の総合的な学びを基礎に、更に専攻分野の専門的な教育内容を充実し、より高度な課題解決を実現できる人材育成を目指します。



大学院（アドミニストレーション研究科）については→P57

◉2024年度入学定員及び募集人員

総合管理学部		入学定員	募集人員							
			一般選抜		自己推薦型選抜	特別選抜				
						学校推薦型選抜				留学生・帰国子女 社会人
			前期	後期		県内	全国	農業・林業・水産科	くまもと夢実現	
学科	総合管理学科	280名	A方式 30名 B方式 60名	A方式 40名 B方式 50名	50名	50名	―	―	全学で 2名以内	若干名

A方式：大学入学共通テスト５教科利用
B方式：大学入学共通テスト３教科利用

［学部の特色］

1 これからの時代に必要不可欠な「総合管理」、1年次から理論と実践の両輪を学ぶ

「総合管理」とは何なのか？ まずはその基礎をしっかりと学び、理解することが大切です。その土台の上に課題解決に必要な幅広い知識を修得し、実践的な演習を繰り返すことで、「総合管理力」を発揮する人材を育成することが可能となると考えます。理論と実践、その両輪を本学では1年次から一貫して学ぶことができます。

- 1年次に「総合管理学」を設置、その体系を理解し学ぶ
- 課題解決に必要なさまざまな知識修得のための必修・選択科目群を設置

2 1年次から卒業まで一貫して、PBLなど少人数でのアクティブラーニングで実践力強化

教員からの一方的な講義で「知識」を得ることだけでなく、学生たちが主体的に参加、トライ&エラーを繰り返しながら、仲間と一緒に深く考えながら課題を解決する力を養っていくアクティブラーニング形式の演習で実践力を磨きます。PBL（Project-Based Learning:プロジェクト型学習）など、少人数での議論やグループワークでの学修に、全学生が1年次から取り組みます。

- 全学生が1年次から演習形式のアクティブラーニング
- 2年次後期から4年卒業まで各専攻のゼミに所属し、少人数で深く学ぶ

3 多様な知と実践力で公共・福祉、ビジネス、情報など360度さまざまな分野での「総合管理力」を身につけられる

マネジメントやリーダーシップを学べる大学は他にもたくさんあるでしょう。しかしそれだけでは、ますます複雑化する世の中の課題解決には不十分です。多様な知と実践力を伴った「総合管理力」を有した人材が切実に求められるのです。

- さまざまな分野・領域で「総合管理力」を応用、展開
- いろいろなことを学び、「総合管理力」で未来へ飛躍

［学部長からのメッセージ］

MESSAGE from the Dean

総合管理学部は、教養的知識と総合管理に関する専門知識を身につけ、社会的諸課題を創造的に解決し、地域社会ひいては国際社会に貢献する人材を養成することを目的としています。社会的な課題のほとんどは、一人では解決することはできません。その解決には複数の人、複数の組織の連携が必要であり、それを実現するためには「みんなを上手く動かし協力させていくこと」ができるリーダー人材が求められます。そのために必要な理論やマネジメントの手法の体系が「総合管理学」です。

総合管理学部では、1年次から段階的に総合管理について学べるようにカリキュラムを設計しており、理論だけでなく実践力もバランスよく身につけることが可能です。皆さんは全員1年次からアクティブラーニング形式の演習に参加し、実践的な場面を想定した課題に取り組むことで課題解決のための知識や技法を学びます。2年次からは公共、ビジネス、情報の3つの専攻に分かれて専門分野をより深く学ぶことで複雑な社会的課題に対応できる能力を養います。また、情報化・国際化する社会に対応するために情報処理や外国語を必修とし、全員にデータサイエンスのスキルを身につけさせたりTOEIC®を受験させるなど、情報通信技術や外国語の修得にも力を注いでいます。

総合管理学部では、遠隔と対面形式を組み合わせたハイブリッド型の授業を行っています。あるときはICT機器を活用しながら講義を受講し、あるときは対面で教員や学生同士でふれあいつつ課題に取り組むといった形で、ウィズコロナの時代の新しいキャンパスライフをおくることができるでしょう。

総合管理の知識を身につけ、リーダー人材として成長したいと望む皆さん、ぜひキャンパスでお会いしたいと願っています。

総合管理学部長　澤田 道夫

総合管理学部 4年間の学び

- 現代社会に相応しい市民性を涵養するための共通科目群と、総合管理の理論と方法の修得のための専門科目群で教育課程を編成しています。
- 専門科目群は、総合管理科目、基幹科目、展開科目、演習科目･卒業論文を体系的に配置して編成しています。

取得資格　教職課程の履修により、中学校教諭一種免許状（社会）・高等学校教諭一種免許状（公民、商業、情報）を取得できます。

※カリキュラムは予定であり、変更になる可能性があります。

1年 ／ 2年 ／ 3年 ／ 4年

共通科目群

■基幹科目　外国語／健康スポーツ科学／情報処理とデータサイエンス
キャリアデザイン／地域理解とリーダーシップ

■教養科目　人間と文化／自然と環境／社会と世界

専門科目群

総合管理を学ぶ

■ 基幹科目
総合管理を実践するスキルおよび多様な分野へと展開していく土台となる科目

共通／必修
公共と社会/経済学/情報イノベーション学

共通／選択必修
政治学概論
法学概論
経済学
簿記概論
情報学
基礎情報処理演習

多様な知識・異なる視点を修得する

■ 展開科目：所属する専攻を中心に、学生の興味や関心に応じて選択できる科目

公共専攻

憲法Ⅰ･Ⅱ / 民法Ⅰ･Ⅱ / 労働法 / 商法Ⅰ /
行政学Ⅰ / 公共政策論 / 財政学 / 地方自治論 /
国際関係論 / 社会福祉学

【法　　律】 行政法Ⅰ･Ⅱ / 民法Ⅲ / 商法Ⅱ
【政治・行政】 公共政策論Ⅱ / 行政組織論 / 公共政策論Ⅱ / 政策実践論 / 参加協働論 / 国際システム論 / 地域研究 / 比較政治論
【健康・福祉】 保険医療福祉論 / 家庭福祉論 / 社会保障法 / 生命倫理と法 / 福祉政策論

情報専攻

プログラミングⅠ･Ⅱ / 地域と情報 / 情報と職業 /
データベース / 情報セキュリティ基礎

【人 間 情 報】 メディア情報処理 / 人工知能 / 対話情報処理 / データ可視化
【システム情報】 情報システム / 通信ネットワーク / アルゴリズムとデータ構造 / プログラミングⅢ/ 応用情報処理実践
【社 会 情 報】 情報ネットワーク社会 / サイバーフィジカルシステム /IoT とクラウドコンピューティング

ビジネス専攻

ミクロ経済学 / マクロ経済学 / 計量経済学 /
金融論Ⅰ / マーケティング / 人的資源論 / 経済戦略論Ⅰ /
ビジネスマネジメント / 簿記Ⅰ･Ⅱ / 原価計算論

【組織・戦略】 経営戦略論Ⅱ / 経営組織論 / 消費者行動論 / 社会的企業論 / ベンチャービジネス論 / アントレプレナーシップ
【会計・財務】 経営分析論 / 管理会計論 / 財務会計論 / 証券投資論 / 企業金融論
【経済・金融】 流通経済論 / 産業組織論 / ビジネスデータ分析 / 金融論Ⅱ / 公共経済学 / 環境経済学

（自由科目）コミュニケーション論/社会倫理/社会統計学Ⅰ・Ⅱ/社会調査法Ⅰ・Ⅱ/社会調査法実践Ⅰ・Ⅱ

総合管理を知る

■ 総合管理科目：総合管理の基礎を理解する

総合管理学Ⅰ

総合管理学Ⅱ
総合管理学Ⅲ

プレゼミナール
（共通科目群）

総合管理を実践する

■ 演習科目：さまざまな知識やメソッドを活用し、自らの問題意識でテーマを設定し、課題解決に向けて取り組む

専攻基礎演習 → 専門演習Ⅰ → 専門演習Ⅱ－1 → 専門演習Ⅱ－2 → 専門演習Ⅲ－1 → 専門演習Ⅲ－2

卒業論文

全員が自らが専攻する専門のゼミに所属し、総合管理の考え方をもとに、
それぞれのフィールドで学びを広め、深めていく

MESSAGE
from
a Senior

先輩からのメッセージ

総合管理学部総合管理学科(公共・福祉)4年　**山口 将人** さん（熊本県立阿蘇中央高等学校出身）

総合管理学や、３分野から構成される専門分野での学びを通して、多面的なリーダー人材の育成に力を入れている点に非常に魅力を感じ、この学部を志望しました。今は、行政法を研究されている先生の下、法学をメインとした学習をしています。県内自治体の抱える諸課題について、実際に現地に赴き、課題解決に向けて取り組む実践的な学習も並行して行っています。印象に残っている科目は、基礎総合管理学実践&演習、通称ガチカリです。PBL（Project Based Learning：問題解決型学習）を教育手法としており、新型コロナウイルスの影響で遠隔授業が主軸な時期に、先生方･企業様のサポートの下、対面形式に拘って授業を開催してくださり、とても印象に残っています。学生生活では、学生団体や白亜祭、サークルなどの運営に携わることができ、非常に充実した生活を送れました。大学進学は、これまでの“世界”がいかに小さいものなのかということを痛感するきっかけにもなりました。様々な考えを持った学生、先輩、先生方、地域の方々との出会いを通して、多様性を実感し、自身の視野を広げることにつながりました。本学部の魅力はその点にあると思います。多角的な学びを通して幅広い選択肢の中から自分に合ったカリキュラムを選択できる、そんな大きな可能性のある学部です。受験勉強、大変だと思いますが、それ以上に大学には価値のある魅力がたくさん詰まっています。最後まであきらめず、走り抜けてください。大学でお会いできるのを楽しみにしています。

MESSAGE
from
a Senior

先輩からのメッセージ

総合管理学部総合管理学科(ビジネス)４年
山本 陸斗 さん
(熊本県立熊本北高等学校出身)

私は入学前、将来の夢や目標が漠然としたものしかなく、進路に悩んでいた時期がありました。総合管理学部では、公共・福祉、情報、ビジネスを中心とした様々な学問を学ぶことができるため、将来どのような場所においても生かせる知識と経験を得ることができます。私は大学での学習を通じてビジネスの分野に興味を持ち、現在では簿記やファイナンスなどを積極的に学んでいます。特に簿記では、企業の会計や資金の流れを理解することで、将来の幅広い実務にも生かすことができると感じており、皆さんにもおすすめしたい科目です。

２年生の後期からは、それぞれの特徴をもったゼミを自ら選択し、活動を行っていきます。私は、ビジネス分野の一つで、経済学的にデータ分析を行うゼミに所属しました。３年次にはゼミ内の各グループで研究テーマを決め、データや資料の収集、分析を学生自身で行い、最後は東京で開催された他大学との合同発表会にも参加しました。発表会では緊張しながらも、自身の研究を相手にうまく伝えられるように工夫しながらやり遂げることができました。こうした一連の活動を仲間とともに行うことで、協調性や課題解決能力を高めることができたと実感しています。また本学での学習以外にも、TOEIC® などの語学の勉強や、アルバイトと趣味にも全力で取り組み、充実した学生生活を送っています。

総合管理学部では、様々な学問に出会い、自分の新しい興味・関心を発見することができます。皆さんもぜひ本学部での学習を通して、自分の新たな可能性を見つけてください。

MESSAGE
from
a Senior

先輩からのメッセージ

総合管理学部総合管理学科(情報)３年
秋岡 菜々子 さん
(熊本県立熊本北高等学校出身)

高校時代、情報系の分野に興味があったものの、本当にこの進路を選択していいのかという不安があり、将来のことを決めかねていました。将来について考えていた時に、総合管理学部では、幅広い分野を学べるうえに、私の興味のあった情報系の分野を専攻することができると知り、本学部を志望しました。

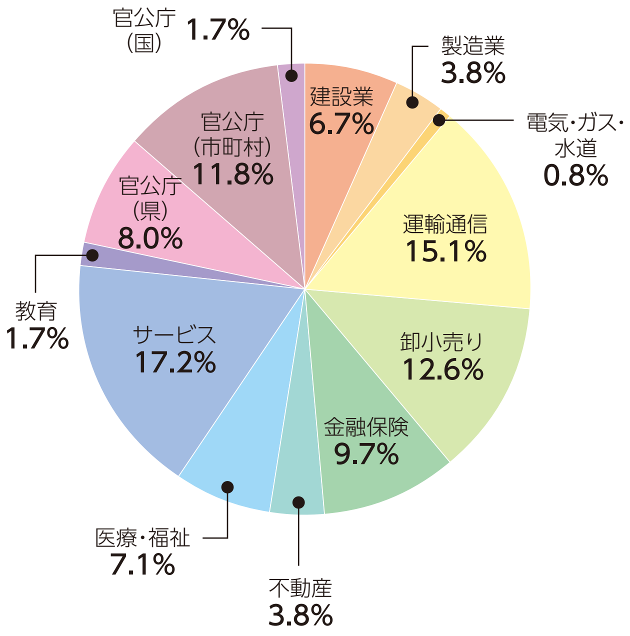
総合管理学部は、学生が主体となる講義も多く、2年次前期に受講した「基礎総合管理実践･演習」という講義では、企業が抱える課題について真剣に考え、自分の意見を伝えることができるようになりました。また、2年次後期から始まる専門演習では、当初の希望通り、情報分野の飯村研究室に所属することができました。研究室では、アプリケーション開発や映像制作などを通じて、地域課題の解決に取り組んでいます。研究活動を行うにあたり、プロジェクトをチームで進めていくため、マネジメントスキルの向上や、外部の方との関係構築によるビジネススキルの習得にもつながっていると実感しています。

キャンパスライフは自由な時間が多いため、勉強や研究以外にも、アルバイトや趣味など、今しかできない充実した生活を送っています。総合管理学部では、社会で必要な知識やスキル、そして経験を実践的に習得できると思います。大学や学部の選択には悩むことも多いかと思いますが、総合管理学部でさらなる力を身につけ、可能性を広げてみませんか。

[卒業後の進路]

国家公務員、地方公務員はもとより、民間では銀行、生保、損保、病院、旅行会社、航空会社、テレビ局、不動産、学校、メーカー、サービス、流通と就職先は多岐にわたっています。

業種別就職状況（2021年度）



主な進路一覧（2019～2021年度）

● 就　職

RKKメディアプランニング、RKKコンピュータサービス、愛歯、ISIDインターテクノロジー、愛知日産自動車、アイソルート、あいおいニッセイ同和損保保険、IQキッズ、アウトソーシング、青山商事、旭製作所、アスパーク、アステム、アズパートナーズ、阿蘇農業協同組合、麻生情報システム、あつまるホールディングス、アドルーム、穴吹興産、アパホテル、天草信用金庫、アヤボ、あゆみ不動産、安心計画、アントルメ果樹、ELJソーラーコーポレーション、イーサポート、イービーエム、イオン九州、出雲総業、イタックス、一条工務店、イノス、イリオスネット、いろどり歯科こども歯科クリニック、岩崎産業、岩田屋三越、インフォセンス、ウィークス、ウィナス、英進館、エイジェック、エイエヌエス、えがお、エクシス、SHI、S.I.Factory合同会社、SRL、エスジームービング、NOK熊本事業場、NTTコミュニケーションズ、NTTデータ、NIK、EVAND、愛媛新聞、F・Oインターナショナル、エフ・ディ・シィフレンズ、F&Bシモカワ、エボリブ、エム・シーネットワークスジャパン銀座カラー、大塚商会、大分シーイーシー、オオバ、大分ケーブルテレコム、大嶌屋、オラフズ、オリゾンシステムズ、オリックス生命保険、学映システム、鹿児島県土地改良事業団連合会、鹿児島ダイハツ販売、鹿児島トヨペット、鹿児島信用金庫、国立大学法人鹿児島大学、金井大道具、上益城農業協同組合、ガモウ、カリーノファシリティーズ、菊池地域農業協同組合、キシヤ、ギミック、木村建設、木村、キヤノンシステムアンドサポート、キャン、九州デジタルソリューションズ、九州厚生局、九州ケーズデンキ、九電ビジネスソリューション、九州テクニカルメインテナンス、九州労働金庫、九電工、九州産交運輸、九州農政局、九州オーエム、九州産業交通ホールディングス、九州ベースボールアカデミージャイアンツメソッド、九州美容専門学校、キューネット、共栄システムズ、グッドハート、グッディ、クボタ環境サービス、熊本トヨペット、熊本県果実農業協同組合連合会、熊本市消防局、熊本赤十字病院、熊本県農業共済組合、熊本中央金庫、国立大学法人熊本大学、熊本銀行、熊本計算センター、熊本県経済農業協同組合連合会、くまもと経済、熊本学習支援センター、熊本地域医療センター、熊本地所、熊本信用金庫、熊本第一信用金庫、熊日広告社、熊本県商工会連合会、熊本製粉、熊本市農業協同組合、熊本県信用保証協会、熊本中央信用金庫、熊本酸素、熊本ホテルキャッスル、熊本セントラル病院、クマモト敬和、球磨地域農業協同組合、熊本県信用組合、熊本県農業協同組合、熊本ダイハツ販売、熊本ヤクルト、熊本県酪農業協同組合連合会、一般社団法人熊本市医師会、熊本大同青果、熊日サービス開発、公益社団法人熊本県医師会、熊本大同ホールディングス、熊日都市圏販売、熊本泌尿器科病院、一般財団法人　熊本市勤労者福祉センター、公立大学法人熊本県立大学学術情報メディアセンター、呉市役所、クレアスライフ、クレスコ、グロウシップ、桑畑建設、KIS、KMバイオロジクス、警視庁、ケイアイスター不動産、KKTイノベート、ゲオホールディングス、興農園、独立行政法人高齢障害求職者雇用支援機構、神山モータース、合志技研工業、コーセー化粧品販売九州支社福岡支店、独立行政法人国立病院機構九州グループ、国立病院機構福岡東医療センター、国税局、コスモス薬品、コスギ不動産、こどもみらいラボSAI、コネクシオ、コミニュケーションワークス、医療法人社団十二会ゴリラクリニック、これから、コンベンションリンケージ、サーキュレーション、サードウェーブ、再春館製薬所、再春館システムズ、済生会熊本病院、サイゲームス佐賀デバックセンター、済生会福岡総合病院、さかぐち、サカイ引越センター、税理士法人さくら優和パートナーズ、薩摩川内市役所、佐藤企業、シアーズホーム、GMOインタネット、シエルシステム、JR九州リテール、JECC、JA熊本中央会、GAテクノロジーズ、医療法人聖粒会慈恵病院、シスケン、社会保険診療報酬支払基金、ジャパネットホールディングス、ジャパンネットワークグループ、ジュピターテレコム、松栄パナホーム熊本、昭和建設、新産住宅、ジンマー・バイオメット合名会社、スーパー・コート、すがコーポレーション、スタジオアリス、すまい工房、生活協同組合くまもと、西部電気工業、生科研、関屋リゾート、セクラ、セルモ、ゼロテンパーク、ZEROPHY、仙台白百合学園中学高等学校、全国共済農業協同組合連合会熊本県支部、善徳丸建材、総合企画、学校法人君が淵学園崇城大学、総合プラント、総合天水カンパニー、医療法人相生会、ソニー損害保険、ソフトウエアビジョン、大劇、大熊本証券、ダイナム、大和リビングマネジメント、大和冷機工業、タカミヤ、高本損害鑑定事務所、医療法人社団高邦会高木病院、タケナカ、DADA建築企画研究所、タップカンパニー、玉名農業協同組合、地方公共団体情報システム機構、塚本満税理士事務所、津具屋製菓、蔦屋書店熊本三年坂、ツルハグループ&ファーマシー西日本、鶴屋百貨店、ディアーズ・ブレイン、T-LIFE、T-trust、ティーツークリエイティブ、DYM、ポート、DNS、テクノクリエイティブ、デフィデ、天水総合カンパニー、電盛社、東京エレクトロン九州、東京会場日動システムズ、東宝ホーム、東京海上日動火災保険、東洋証券、同仁堂、ドゥハウス、富田薬品、トモズ、トヨタシステムズ、トランスコスモス、トライアンフ熊本BPOセンター、ドラッグストアモリ、トリプルエイト、9GATES、ナノヒューマンプロモーション、成音、南星機械、西鉄エアサービス、西原商会、西日本電信電話、にしけい、西田鉄工、ニチレキ、日鉄ソリューションズ、日本カストディ銀行、日本ユニシス、日本ガス、日本生命保険相互会社、日本郵便、熊本県赤十字血液センター、日本年金機構、長野赤十字病院、日本郵政、日本アイビーエム中国ソリューション、任天堂販売、NEO、ネクシィーズグループ、パーソルワークスデザイン、ハイコムグループ、ハウスイノベーション、博報堂アイ・スタジオ、パナソニックコンシュマーマーケティング、BTV、ビートテック、肥銀カード、肥銀コンピュータサービス、肥後銀行、肥後ポリエチレン、日立ソリューションズ西日本、ビバホーム、ヒューマンウェイブ、ヒューマンアイズ、美容室PIKAICHI、平田機工、平本和和孝土地屋家調査士、FIXER、フォーサイトシステム、富士フイルムビジネスイノベーションジャパン、フジチク、富士薬品、富士ソフト、富士通ソーシアルサイエンスラボラトリ、富士ゼロックス熊本、フジ化成、フジプラ合同会社、不二ライトメタル、BOOK　MARUIE、Bria、プレミアムライフ、プレネットシステムズ、フロウエル、プロフェッションサービス機構、ベスト電器、ベネッセコーポレーション、ヘルスケアシステムズ、ヘルスラボ合同会社、医療法人芳和会くわみず病院、放送技術社、ホシザキ北九、マーキュリー、マイナビ、マイナビワークス、マイティーエース、マキタ、丸菱、マルキョウ、三井住友信託銀行、三菱食品、三井住友海上火災保険、南九州マルキ、公益社団法人宮崎県森林林業協会、宮崎放送、明治安田生命保険相互会社、明和不動産、メガネの大宝堂、メディカル・データ・ビジョン、メディアサイト、MOLDINO、安川オートメーション・ドライブ、山鹿市役所、山崎文栄堂、ゆうプランニング、ゆうしん、ユナイテッドトヨタ熊本、ユナイテッドアローズ、よかタウン、ヨネザワ、ライフジャパン、ライザップグループ、ライフネス、ラウンドワン、楽天カード、リコージャパン、りそな銀行、利他フーズ、リップル、リブワーク、リンナイ、ルートインジャパン、ルネサンス、ローカル、ロッキー、ワークポート、ワールドインテック、ワイイーデジタル、YSKホールディングス、ワイズヨシハラ、早稲田スクール、渡邊パイプ、国家公務員、地方公務員、教員

● 進　学

熊本労災看護専門学校、東北大学大学院経済学研究科会計専門職専攻、情報セキュリティ大学院大学、日本福祉大学通信教育学部医療・福祉マネジメント学科、東京大学大学院法学政治学研究科、国立大学法人北陸先端技術大学院大学、熊本県立大学大学院アドミニストレーション研究科、熊本大学大学院教育学研究科教職実践開発専攻

MESSAGE from a Graduate

〔勤務先〕

仙台白百合学園 中学・高等学校

2020年3月
総合管理学部総合管理学科

山本 明里 さん
（山村学園高等学校出身）

卒業生からのメッセージ

私は東京都出身なのですが、祖母の住む熊本の地が大好きだったこと、様々な地域でのフィールドワークを経験したいと考えていたことから、4年間の学びの場として熊本を選びました。その中で、広い視野からの「理論」と「実践」を兼ね備えたカリキュラムに興味を惹かれたことで、熊本県立大学に進学することを決めました。

学生生活では、一般的な講義での学びのほかに、主に3つのことに打ち込んでいました。1つ目はボランティア活動です。入学1週間後に起きた熊本地震を経て、仮設団地でコミュニティ形成支援を行ってきました。どうすればより良い活動となるのか、仲間とともに思考や議論を繰り返したことが、今の私を形づくることにも繋がりました。2つ目はゼミでの活動です。上拂ゼミでは、法学の基礎や行政法を学んだ上で、フィールドワークや政策立案コンテスト等にも積極的に参加させていただき、実践的な学びを得ることができました。3つ目は教職課程での学びです。総合管理学部で教員免許を取得する学生は少ないですが、その分、先生方が丁寧に一人一人をご指導下さります。そして少数だからこそ、仲間と励まし合いながら学び続けることができました。

今でも履修した全ての授業のレジュメを保管しているほど、あらゆる科目が今の教員としての授業づくりに活かされているのですが、学生が「考える」ことが重視されていた、佐藤先生の憲法、高埜先生の国際関係論、本田先生のマクロ経済学等は、特に学んだ実感を深く得られた印象があります。

現在は、防災関係の活動で縁ができた仙台白百合学園中学・高等学校で、社会科教諭として働いています。大学における「理論」と「実践」の両輪の学びの中で、知識を身につけながら思考を繰り返してきたことが、授業づくりをはじめとした今の教職に活かせていると実感しています。

総合管理学部には自分の手で挑戦できる環境が整っています。多様なバックグラウンドや目標を持つ仲間と切磋琢磨しながら、自己実現へ向け、実りある4年間を過ごしてください。

MESSAGE from a Graduate

〔勤務先〕

任天堂販売株式会社

2020年3月
総合管理学部総合管理学科

飯田 真由 さん
（熊本県立熊本北高等学校出身）

卒業生からのメッセージ

将来が漠然としていた私は、幅広い分野を学べる学部であれば自分の視野を広げられると思い、総合管理学部に進学しました。入学後、様々な講義を受講する中で、経済系の授業に興味を持ち、2年次からはビジネス分野の科目を中心に学びました。

講義以外では、ゼミ活動と学園祭実行委員会の活動に尽力しました。経済系のゼミでしたが、分野に囚われることなく興味のあるテーマの研究ができました。苦労することもありましたが、多角的に物事を考える力が身に付いたと思います。学園祭実行委員会ではステージ企画の運営に携わり、学園祭を通じて人を笑顔にすることにやりがいを感じました。

これらの強みや思いを軸に就職活動を行い、卒業後は、任天堂を中心とした、メーカー様の娯楽商品の販売と物流を担う会社で働いています。私の主な業務は、商品拡販のための店頭イベントの運営や、小売店様への販促支援です。大変なことも多いですが、常に「お客様を笑顔にできるか」を意識しながら仕事をするため、やりがいもあり、学生時代の経験が活きていると感じます。

当時の私のように、将来が漠然としている方も多いと思いますが、総合管理学部は視野を広げるにはぴったりの場所だと思います。自分を信じて頑張ってください。

MESSAGE from a Graduate

〔勤務先〕

株式会社 熊本計算センター

2015年3月
総合管理学部総合管理学科卒業

田上 雅也 さん
（第一学院高等学校出身）

卒業生からのメッセージ

私は、文系でありながら情報系の分野を学べることに魅力を感じて、総合管理学部に進学しました。

学生生活ではゼミ活動を頑張りました。ゼミの発表会前は、ゼミのメンバー同士でプレゼンを見せ合い、より良い発表となるように試行錯誤しました。大変ではありましたが、同じ目標に向かって努力できる仲間がいてくれたおかげで、乗り越えることができました。また、ゼミ活動でスマートフォン向けアプリを開発したことが印象に残っています。自分のアイディアから開発したアプリが地元新聞に取り上げられたり、コンテストに優勝したりした経験は、貴重な体験でした。

簿記の科目は受講してよかったと感じています。現在は情報系の会社に勤めていますが、会社員である以上、経理関係の知識を必要とする場面があります。その際に、簿記で学ぶ用語が理解できているだけで、話についていくことができました。幅広い分野を学ぶことができる総合管理学部の強みを実感しました。

現在は地方自治体様向けの福祉システムの開発を行っています。総合管理学部で学んだ情報系の知識と福祉の知識を活用し、業務に取り組んでいます。

総合管理学部は、学びたい分野が決まっている人にとっても、そうでない人にとってもおすすめできる学部です。自分が今まで知らなかった分野を知ることで、新しい道を見つけることができたり、幅広い知識から最適な解決策を考える力を磨いたりすることができると思います。

大学院

Graduate School

各学部・学科の専門教育を基礎に発展させた、
文学研究科、環境共生学研究科、
アドミニストレーション研究科の
3 研究科をそろえています。

文学研究科

Graduate School of Language & Literature

●日本語日本文学専攻（博士前期課程）（博士後期課程）
Division of Japanese Language & Literature

●英語英米文学専攻（博士前期課程）（博士後期課程）
Division of English Language & Literature

文学研究科は、多様な価値観がせめぎ合う現代社会の中で、言語・文学研究の成果を人間生活の中に生かしていく方途を模索し、的確に実践していくことを理念としています。専門性を深化させ、英知を磨き、真がんを分別する洞察力を養い、以て人間文化の進展に寄与することを目指す研究の場です。

英語学特殊講義

［人材の養成の目的］

文学研究科博士前期課程では、研究領域の専門的知識を修得した高度専門職業人及び研究者を養成することを目的とします。

文学研究科博士後期課程では、地域における言語文化研究・言語教育研究の拠点としての役割を見据え、各領域の発展的知識や教育実践活動の成果を応用しながら、問題の設定から解決までを独力で行える高度専門職業人及び研究者を養成することを目的とします。

専　攻	課　程	入学定員
日本語日本文学専攻	博士前期課程	5名
	博士後期課程	2名
英語英米文学専攻	博士前期課程	5名
	博士後期課程	2024年度より募集停止

取得資格（博士前期課程）

- 日本語日本文学専攻　中学校・高等学校教諭専修免許状（国語）
- 英語英米文学専攻　中学校・高等学校教諭専修免許状（英語）

環境共生学研究科

Graduate School of Environmental & Symbiotic Sciences

●環境共生学専攻（博士前期課程）（博士後期課程）
Division of Environmental & Symbiotic Sciences

環境共生学研究科は、人間と人間を取り巻く生物的な要因・大気・水・森林・土壌・人工物などの非生物的な要因からなる環境とが共生するためのあり方、人間活動を支える場としての豊かな自然を保全し利用する方法、地域住民の快適で健康な生活を確保する方策などを科学的に追求することを目指す研究の場です。

食品機能分析学

［人材の養成の目的］

環境共生学研究科博士前期課程では、環境共生学の基本的理念を基にした環境分野の専門的知識と技術を修得した高度専門職業人および環境共生学を実践できる研究者を養成することを目的とします。

環境共生学研究科博士後期課程では、自然と人間活動との共生を具体的に実現していく資源循環型社会の構築に向けて、より総合的で高い専門的知識や技術と実践的能力を併せもつ高度専門職業人 および 環境共生学を実践できる内外の研究者を養成することを目的とします。

専　攻	課　程	入学定員
環境共生学専攻	博士前期課程	20名
	博士後期課程	3名

取得資格（博士前期課程）

- 中学校・高等学校教諭専修免許状（理科）
- 中学校・高等学校教諭専修免許状（家庭）

アドミニストレーション研究科

Graduate School of Administrative Studies

●アドミニストレーション専攻（博士前期課程）（博士後期課程）
Division of Administrative Studies

アドミニストレーション研究科は、諸学問の成果を学際的に協働させることで、社会的諸課題を解決するための理論を発展させていくことを目指す研究の場です。

情報デザイン論特殊講義

［人材の養成の目的］

アドミニストレーション研究科博士前期課程では、複雑・多様化した社会的諸課題を学際的な協働によって実践的に解決していく高度専門職業人及び研究者を養成することを目的とします。

アドミニストレーション研究科博士後期課程では、複雑・多様化した社会的諸課題を学際的知識と高度な手法を用いて創造的に解決でき、アドミニストレーションの理論の発展を担う高度専門職業人及び研究者を養成することを目的とします。

専　攻	課　程	入学定員
アドミニストレーション専攻	博士前期課程	12名
	博士後期課程	2名

取得資格（博士前期課程）

- 中学校教諭専修免許状（社会）
- 高等学校教諭専修免許状（公民）

教員紹介 ※五十音順

文学部　日本語日本文学科

- 准教授　秋葉 多佳子 *Akiba Takako*　日本語教育学
- 准教授　小川 晋史 *Ogawa Shinji*　社会言語学・方言学
- 准教授　羽鳥 隆英 *Hatori Takafusa*　日本芸能文化論
- 教授　山田 俊 *Yamada Takashi*　中国語・中国文化
- 准教授　岩田 芳子 *Iwata Yoshiko*　日本古代文学
- 准教授　五島 慶一 *Goto Keiichi*　日本文学
- 教授　半藤 英明 *Hando Hideaki*　日本語学
- 准教授　米谷 隆史 *Yoneya Takashi*　日本語学
- 学科長・教授　大島 明秀 *Oshima Akihide*　歴史学
- 副学長・教授　鈴木 元 *Suzuki Hajime*　日本文学
- 准教授　真島 望 *Mashima Nozomu*　日本近世文学

文学部　英語英米文学科

- 教授　石井 佳世 *Ishii Kayo*　教育心理学
- 准教授　田中 和也 *Tanaka Kazuya*　英语文学
- 学部長・教授　村尾 治彦 *Murao Haruhiko*　認知言語学
- 教授　レイヴィン リチャード *Richard Lavin*　コンピュータ支援英語教育
- 助教　萱嶋 崇 *Kayashima Takashi*　英語学・言語学・対照言語学
- 准教授　難波 美和子 *Namba Miwako*　比較文学
- 学科長・教授　吉井 誠 *Yoshii Makoto*　第二言語習得
- 准教授　武上 富美 *Takegami Fumi*　英語教育
- 准教授　原 紘子 *Hara Hiroko*　英語・異文化コミュニケーション
- 講師　吉田 希依 *Yoshida Kei*　英語文学

環境共生学部　環境共生学科　環境資源学専攻

- 教授　阿草 哲郎 *Agusa Tetsuro*　水環境科学
- 教授　一宮 睦雄 *Ichinomiya Mutsuo*　海洋資源学
- 准教授　斎藤 達也 *Saito Tatsuya*　森林資源学
- 教授　モロー ジェフリー スチュワート *Jeffrey Stewart Morrow*　英語教育
- 学部長・教授　石橋 康弘 *Ishibashi Yasuhiro*　資源循環化学
- 教授　小林 淳 *Kobayashi Jun*　環境分析化学
- 専攻長・教授　張 代洲 *Zhang Daizhou*　大気環境学
- 教授　石村 秀登 *Ishimura Hideto*　教育学
- 准教授　小森田 智大 *Komorita Tomohiro*　海洋生態学
- 教授　松添 直隆 *Matsuzoe Naotaka*　植物生産学

環境共生学部　環境共生学科　居住環境学専攻

- 教授　北原 昭男 *Kitahara Akio*　木質構造学
- 教授　柴田 祐 *Shibata Yu*　地域計画学
- 教授　田中 昭雄 *Tanaka Akio*　建築設備工学・建築環境工学
- 教授　辻原 万規彦 *Tsujihara Makihiko*　地域環境調整工学
- 准教授　佐藤 哲 *Sato Satoshi*　建築計画学
- 専攻長・教授　髙橋 浩伸 *Takahashi Hironobu*　建築設計・住空間計画学
- 准教授　鄭 一止 *Cheong Ilji*　都市計画学
- 教授　李 麗 *Li Li*　居住空間合成構造学

環境共生学部　環境共生学科　食健康環境学専攻

- 教授　青木 朋子 *Aoki Tomoko*　身体運動制御学
- 教授　下田 誠也 *Shimoda Seiya*　臨床病態代謝学
- 教授　友寄 博子 *Tomoyori Hiroko*　食品栄養機能学
- 専攻長・教授　松本 直幸 *Matsumoto Naoyuki*　環境生理学
- 准教授　阿南 弥寿美 *Anan Yasumi*　食品安全性学
- 教授　白土 英樹 *Shiratsuchi Hideki*　食品分析学
- 助教　中下 千尋 *Nakashita Chihiro*　食健康環境学
- 准教授　吉田 卓矢 *Yoshida Takuya*　臨床栄養学
- 准教授　岸 知子 *Kishi Tomoko*　公衆栄養学
- 助教　田尻 絵里 *Tajiri Eri*　食健康環境学
- 准教授　中嶋 名菜 *Nakashima Nana*　給食経営管理学
- 准教授　坂本 達昭 *Sakamoto Tatsuaki*　実践栄養教育学
- 准教授　田尻 美千子 *Tajiri Michiko*　家庭科教育・調理科学・食育
- 教授　松﨑 弘美 *Matsusaki Hiromi*　食品バイオ工学

総合管理学部　総合管理学科　公共･福祉部門

- 教授　石黒 巳紀子 *Ishiguro Mikiko*　地方行政論
- 准教授　佐藤 雄一郎 *Sato Yuichiro*　憲法学
- 准教授　田畑 嘉洋 *Tabata Yoshihiro*　民法学
- 准教授　三田 知実 *Mita Tomomi*　社会学
- 准教授　井寺 美穂 *Idera Miho*　パブリック・アドミニストレーション
- 学部長・教授　澤田 道夫 *Sawada Michio*　アドミニストレーション論
- 教授　中尾 富士子 *Nakao Fujiko*　看護学
- 准教授　安武 綾 *Yasutake Aya*　福祉政策論
- 部門長・教授　上拂 耕生 *Uehara Kousei*　行政法
- 准教授　関 智弘 *Seki Tomohiro*　公共経営
- 准教授　西森 利樹 *Nishimori Toshiki*　社会保障法
- 教授　江﨑 一朗 *Esaki Ichiro*　社会倫理
- 教授　高埜 健 *Takano Takeshi*　国際関係論
- 准教授　松本 千晴 *Matsumoto Chiharu*　看護学

総合管理学部　総合管理学科　ビジネス部門

- 准教授　飯島 賢志 *Iijima Kenji*　社会統計学
- 教授　黄 在南 *Hwang Jae Nam*　経営組織論
- 教授　丸山 泰 *Maruyama Yasushi*　マーケティング
- 助教　劉 鵠 *Ryu Hato*　産業組織論
- 教授　井田 貴志 *Ida Takanori*　経済の基礎理論
- 准教授　藤井 資子 *Fujii Yoriko*　経営戦略論
- 部門長・教授　望月 信幸 *Mochizuki Nobuyuki*　管理会計論
- 教授　河西 卓弥 *Kawanishi Takuya*　ファイナンス
- 准教授　本田 圭市郎 *Honda Keiichiro*　計量経済学
- 准教授　山西 佑季 *Yamanishi Yuki*　財務会計論

総合管理学部　総合管理学科　情報部門

- 教授　飯村 伊智郎 *Iimura Ichiro*　知能情報学
- 助教　エロネン ユーソ カレビ クリスティアン *Eronen Juuso Kalevi Kristian*　情報工学
- 教授　津曲 隆 *Tsumagari Takashi*　情報科学
- 准教授　石橋 賢 *Ishibashi Ken*　情報メディア論
- 准教授　金井 貴 *Kanai Takashi*　情報セキュリティ論
- 教授　宮園 博光 *Miyazono Hiromitsu*　情報認知科学
- 准教授　岩見 麻子 *Iwami Asako*　地域情報学
- 准教授　小薗 和剛 *Kozono Kazutake*　プロジェクト・マネジメント
- 教授・部門長　森山 賀文 *Moriyama Yoshifumi*　情報学

総合管理学部　総合管理学科　基礎総合管理部門

※（　　）は兼務

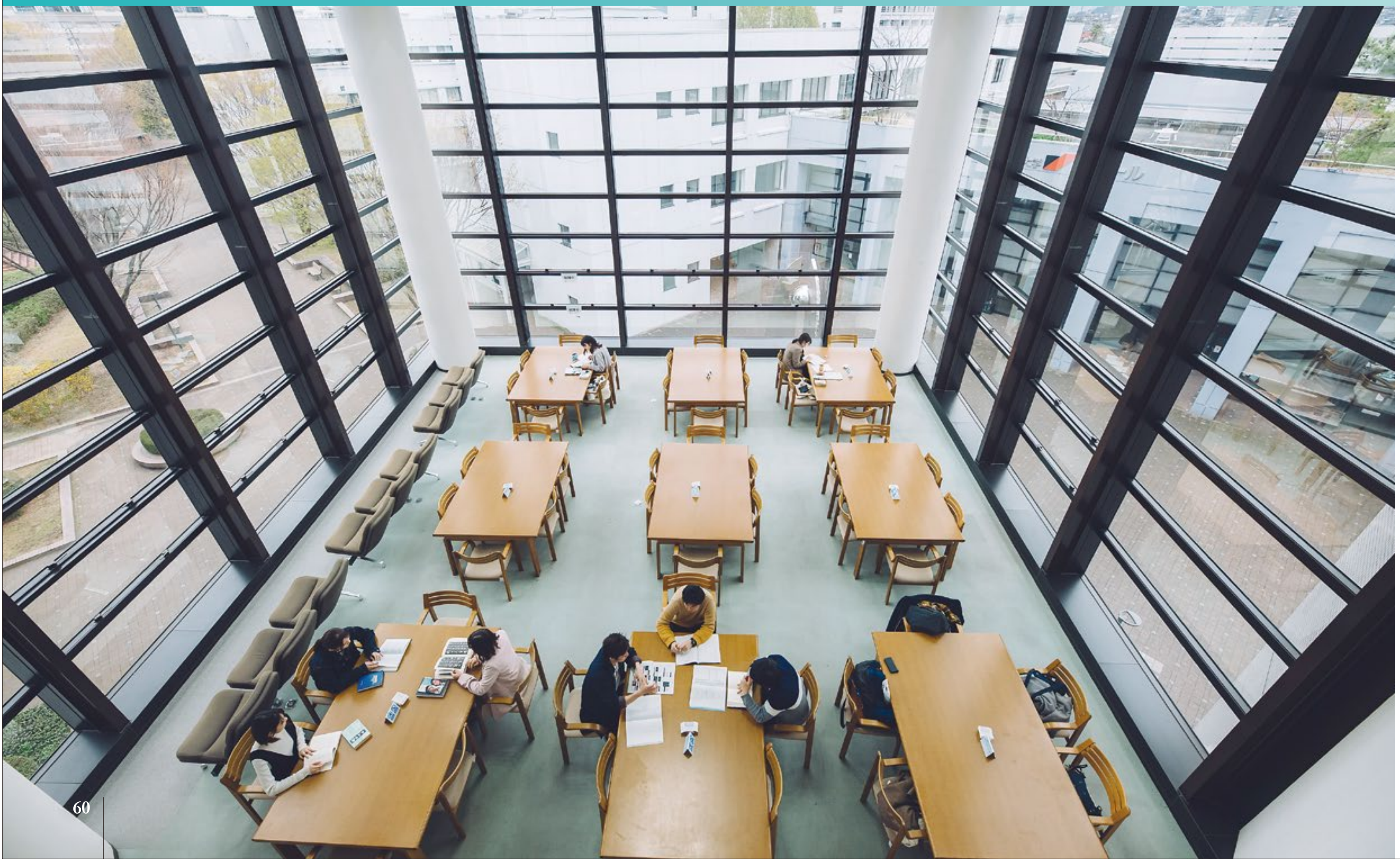
（江﨑 一朗）　（澤田 道夫）　（丸山 泰）　（小薗 和剛）　（津曲 隆）　（宮園 博光）

共通教育センター

- 教授　青木 朋子 *Aoki Tomoko*　身体運動制御学
- 准教授　小薗 和剛 *Kozono Kazutake*　プロジェクト・マネジメント
- 教授　西本 陽一 *Nishimoto Yoichi*　地域研究ならびに地域社会学(もやいすと)
- 教授　モロー ジェフリー スチュワート *Jeffrey Stewart Morrow*　英語教育
- 教授　阿草 哲郎 *Agusa Tetsuro*　水環境科学
- 准教授　武上 富美 *Takegami Fumi*　英語教育
- 准教授　原 紘子 *Hara Hiroko*　英語・異文化コミュニケーション
- センター長・教授　山田 俊 *Yamada Takashi*　中国語・中国文化
- 教授　石井 佳世 *Ishii Kayo*　教育心理学
- 准教授　田中 祐治 *Tanaka Yuji*　応用言語学
- 准教授　松田 節郎 *Matsuda Setsuro*　データサイエンス
- 准教授　李 世恩 *Ri Seun*　英語教育
- 教授　石村 秀登 *Ishimura Hideto*　教育学
- 教授　津曲 隆 *Tsumagari Takashi*　情報科学
- 教授　松本 直幸 *Matsumoto Naoyuki*　環境生理学
- 助教　劉 鵠 *Ryu Hato*　産業組織論
- 教授　大島 明秀 *Oshima Akihide*　歴史学
- 准教授　難波 美和子 *Namba Miwako*　比較文学
- 教授　宮園 博光 *Miyazono Hiromitsu*　情報認知科学

キャリアサポート・学修支援

- キャリアセンター
- キャリアサポート
- デジタルイノベーション推進センター
- 図書館
- 学修支援



キャリアセンター

卒業後の自分を思い描き、その実現に向けて頑張るあなたをサポート

熊本県立大学には、就職活動などの支援を行う「キャリアセンター」があります。キャリアセンターでは、センター長やキャリアコーディネーターが中心となり、学生が自分にあった進路·就職先を選択するための様々な支援を行っています。

進路相談

進路は自分自身の問題なので主体的に考え、行動することが重要です。しかし、自己分析→業界·企業研究→会社説明会→採用試験→内定といった一連の就職活動では、様々な疑問、不安や悩みを感じることが少なくありません。これは就職だけではなく、進学、留学、資格取得などをする場合にも同様のことが言えます。

キャリアセンターでは、進路に関する様々な情報提供を行うとともに、就職相談員やCCA（キャンパス·キャリア·エンジェル）による進路相談を開催するなど、進路選択のサポートを積極的に行っております。

就職相談員

経験豊かな専任の就職アドバイザーがきめ細やかな就職指導、就職相談を行います。企業情報の収集の仕方、自己PRや志望動機を中心とした履歴書の書き方、受験する企業に焦点を合わせた面接や入退室のマナーに至るまで、親身になって支援を行います。

CCA（キャンパス・キャリア・エンジェル）

卒業後の進路が決定している4年生（「キャンパス・キャリア・エンジェル」）が、自身の学生生活や就職活動を踏まえて、就職活動や進路選択などに関する相談に応じます。

就活関連情報

キャリアセンターでは、求人情報や企業情報、就活関連の書籍および情報誌、面接対策DVDなど、就活に役立つ様々な情報を閲覧できます。中でも「受験報告書」は、先輩たちの就活の進め方や選考の内容、後輩へのアドバイスなど、活きた就活体験が詰まっているため、自身の就活の際にとても役に立ちます。就活関連書籍の一部は貸出対応も行っています。

3年生になると、県大生専用の就活サイト「県大就活ナビ」を利用できます。求人情報や企業情報の閲覧、求人へのエントリーはもちろん、インターンシップや学内企業説明会などの就活に関係するイベント情報を確認したり参加申込をしたりすることができるほか、先輩方の「受験報告書」も学内学外を問わず気軽に閲覧できます。

学生サポート

これまでとは違った環境で過ごす学生生活。
自らをコーディネートしていくあなたをサポートします。

学生相談

学業、進路、心と体、生活などに関する相談を受け付けています。内容によって、保健師、臨床心理士、教職員が対応します。また、電話や電子メールでの相談も受け付けています。

下宿·アパート

自宅が遠方の学生にとってアパート・下宿先を探すのは大変です。本学では、本学周辺のアパート・下宿に関する情報を提供しています。 仲介手数料がないのもメリットです。

なお、アパート・下宿情報は本学ホームページでも閲覧することができます。

アルバイト

学生支援課では、経済的支援の一環として、学生アルバイトとしてふさわしい仕事のみを厳選し紹介しています。アルバイトは、学業に支障のない範囲で行いましょう。

キャリアサポート

就職や進学に向けたきめ細やかなサポート

年間を通して多くの学生に利用されているキャリアセンターでは
「セミナー」や「ガイダンス」などを開催し学生の4年間を強力にサポートします。

1年　2年　3年　4年

キャリア選択

- 自己理解、将来目標の設定
- 自己分析、進路決定
- 業界・企業研究
- 就職活動
- 内定
- 進学準備

キャリアサポート

進路相談
就職や進学などの進路のこと、資格取得のことなど、お気軽にお尋ねください。

キャリア体験演習（旧インターンシップ授業） ※全額共通キャリアデザイン科目に位置づけられる実践的なキャリア教育プログラム（自由科目：1単位　ただし、卒業要件単位には含みません）
夏休みや春休みの期間を利用して、民間企業や自治体での仕事を実際に体験します。進路決定の第一歩として貴重な経験を得ることができます。

マナー講座
毎年7月ごろに実施します。インターンシップや就職活動で企業・団体へ訪問する際に必要なマナーを身に着けます。

キャリア相談
就職相談員が履歴書・エントリーシートの添削をはじめ、模擬面接、グループディスカッション対策、その他進路決定についてのアドバイスなどを行い、就職活動のスタートから内定後までサポートします。

就職相談

マナー講座

CCA
進路が決定した4年生が、皆さんの就活をサポートします。

就職セミナー
就職活動の準備として、就活の流れや考え方をはじめ、自己分析や業界・企業研究の方法、試験・面接対策などを学びます。

企業説明会
企業・団体の採用担当者を招き、企業・業界の現状や展望、採用活動の概要についての説明を受けられます。1社のみで行う個別説明会と、数社が一堂に会して行う合同説明会があります。

キャリアアップ対策

公務員説明会

就活直前オリエンテーション
3年次の後期に就職活動のスケジュールや準備の進め方、キャリアセンターの使い方など、具体的な対策をお伝えします。

公務員試験対策講座
公務員試験において高い合格実績を誇るスクールを招き、学内にて公務員講座を開講しています。

学内合同企業セミナー

学部・学科主催の就職関連イベント
学部・学科ごとに講師やOB・OGを招いた講演やセミナー、懇談会などを随時開催しています。

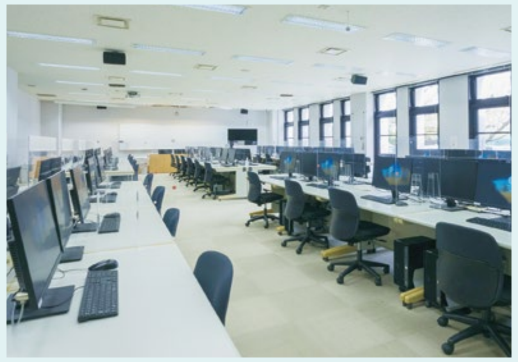
就職・進学

学修へのデジタル活用環境

情報処理実習室

・４つの教室に214台のＰＣを設置しています。
・図書館にも50台設置しています。
・空き時間にも利用できるよう実習室の開放を実施しています。
・ハイスペックなＰＣを設置し、様々なソフトが利用できます。

実習室・図書館　Microsoft Office Professional Plus 2019
実習室　Adobe(Photoshop, Illustrator等)　Visual Studio 等



無線ネットワーク

私物のPCやスマートフォンでも学内各所でインターネットへWi-Fi接続できます。

Office 365 ライセンス

在学中は私物のPC等にWord、Excel等を無償でインストールして使用できます。

データ保存

OneDriveや学内サーバを利用できます。OneDriveは自宅からでもアクセス可能です。

IT サポート窓口

対面・メール・電話で学修のためのIT関連の質問や相談ができます。

ノートパソコン貸出

1週間や1か月単位で貸出。
学生なら誰でも利用できます。

デジタルイノベーション推進センター

デジタルによる教育研究環境の刷新を推進します。

あらゆる情報の分析・活用を通して情報の価値を最大限に高めるとともに、デジタルの力により、革新的で魅力ある環境を構築します。

高度な情報リテラシーを習得するための教育支援と環境を提供します。

大学生活に欠かすことのできないITの活用を支援するため、サポート窓口を運営しています。
パソコン・ネットワーク利用に関する相談受付や、パソコン・周辺機器の貸出、在学期間における全学生へのOfficeアプリケーションの無償提供、情報処理実習室(パソコン室)の管理・提供を行なっています。

情報セキュリティ

ＣＳＩＲＴ(シーサート Computer Security Incident ResponseTeam)の実働を担っており、セキュリティ情報の収集や有事の際の対応を行います。

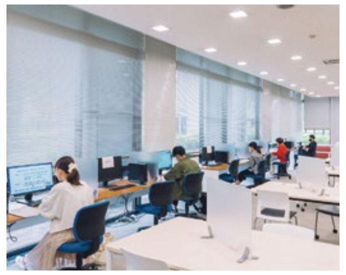
図書館

教養から専門まで充実した蔵書と快適な学修環境を提供します。

キャンパスにふりそそぐ柔らかな光をふんだんに取り入れた快適で明るい学習・情報空間です。パソコンコーナー、ラーニングコモンズ、キャレル(個別学習机)など、多様なニーズに応じた学修スペースを用意しています。

雑誌コーナー

三面ガラス張りの明るいくつろげる空間です。国内外の様々な専門誌がそろっています。



パソコンコーナー

50台設置しており、学生は自由に利用できます。図書を手元に置いてのレポート作成等のニーズに応えます。

■図書館概要

●図書収容能力	41万冊
●閲覧席	約360席
●蔵書数	
図書（うち電子書籍　約1千冊）	約38万冊
●雑誌・紀要数	約6,000種
●購読雑誌数	約220種

※令和5年（2023年）3月末現在

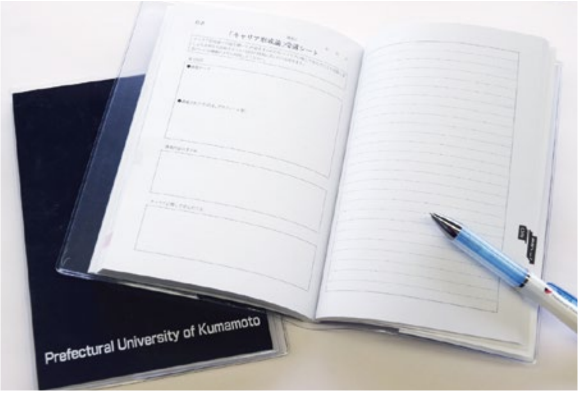
学修支援

キャリアフォリオ

卒業後の自分を描く

卒業後の自分を描き、その実現のために大学でどのような知識、経験を積むべきかなど主体的に自らのキャリアを構築していくための方法を「プレゼミナール」や「キャリア形成論」の中で学びます。

また、学生一人ひとりが、大学での学修内容や様々な活動を記録する「キャリアフォリオ（ポートフォリオ）※」を作り、自分の将来のキャリアをデザインする際のツールとして活用します。さらに、就職活動等の際の自己PRのツールとしても活用できます。



キャリアフォリオ
※熊本県立大学では、学修履歴の記録を「キャリアフォリオ」と呼んでいます。

GPA制度

ポイント制による成績評価

成績は、授業科目ごとに、秀、優、良、可、不可の5段階で評価されますが、これに加えて、成績評価システム「GPA（Grade Point Average）制度」を導入しています。GPA制度は、授業科目ごとの成績評価（試験の得点:100点満点）に対し、一定の計算式に基づきポイントを付与し、1単位当たりの平均を算出し、5点満点で評価するものです。

GPAのポイントが特に高い学生は、成績優秀者として表彰されます。逆にポイントが低い成績不振者に対しては、担当教員が個人指導を行います。

GPA制度成績優秀者表彰式

オフィスアワー

Face to Faceできめ細やかな指導

学習や将来の進路など学生の様々な相談に対応するため、教員があらかじめ指定する時間に、学生が研究室を訪問し、相談ができるオフィスアワー制度を導入しています。

もちろんオフィスアワー以外の時間でも、教員が在室しているときは、自由に研究室を訪問できます。また、電子メールで相談することもできます。

オフィスアワー

学生生活

- キャンパスライフ
- サークル活動
- キャンパスマップ
- キャンパス周辺情報
- 学費・奨学金
  経済支援

キャンパスライフ

Campus Calendar

4月 April
- 新入生・在学生オリエンテーション
- 入学式
- 前学期授業開始

5月 May
- 開学記念日（5月2日）
- PUKリンピック（体育祭）（5月上旬）

6月 June
- 海外協定校・研修団受入（韓国）（6月下旬～7月上旬）

7月 July

8月 August
- 前学期定期試験
- 夏季休業（8月中旬～9月下旬）
- サマー・ECO・デー（8月中旬）
- 夏季インターンシップ（8月中旬～9月下旬）
- Intensive English（8月下旬～9月上旬）

9月 September
- 後学期授業開始（9月下旬）

10月 October
- インターンシップ発表会

11月 November
- 白亜祭（学園祭）（11月中旬）

12月 December
- 冬季休業（12月下旬～1月上旬）

1月 January

2月 February
- 後学期定期試験
- 春季インターンシップ（2月下旬～3月下旬）
- 海外協定校・研修団派遣（アメリカ）（2月中旬～3月中旬）

3月 March
- 卒業式
- 春季休業（3月下旬～4月上旬）

入学式（4月）

PUKリンピック（5月）

祥明大學校研修団（6月～7月）

白亜祭（11月）

Intensive English「英語合宿」（8月～9月）

卒業式（3月）

学生生活

自宅派

大学に入学した当初は、講義の長さ、課題の量、レポートを書くことの難しさなど、高校生活と違うことが沢山あり、戸惑うことが多くありました。また、講義選択や課題などを自分自身で計画を立て、自己責任で行っていく必要があるので大変でした。

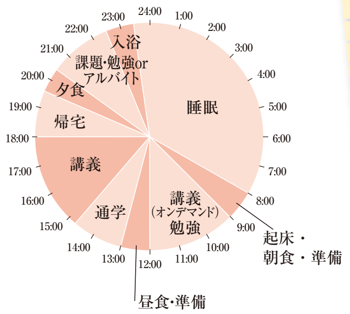
初めは苦労した大学生活でしたがすぐに慣れ、今の私は勉学に励みながら、自由時間にはアルバイトや趣味を楽しむことができており、毎日充実した日々を過ごしています。大学生活は自由な時間が沢山あるので、是非新しいことにチャレンジしたり、様々な経験をしたりして、充実した日々を過ごしてください！

総合管理学部総合管理学科３年 **赤澤 実祐**さん
（熊本学園大学付属高等学校出身）

■１年次前期の時間割

	月	火	水	木	金
1時限	基礎総合管理学 Ⅱ	健康の科学	社会倫理	中国語入門	
2時限	政治学概論		日本史	英語 Ⅲ	
3時限		現代社会と法律	人間と宗教		
4時限	英語 Ⅰ	法学概論			基礎総合管理学 Ⅰ
5時限	情報処理入門	プレゼミナール			キャリア形成論
6時限				世界史	

■ある一日のスケジュール



■一ヶ月の収支

【収入】

アルバイト	50,000円
収入合計	50,000円

【支出】

交際費・趣味	20,000円
貯金	30,000円
支出合計	50,000円

一人暮らし派

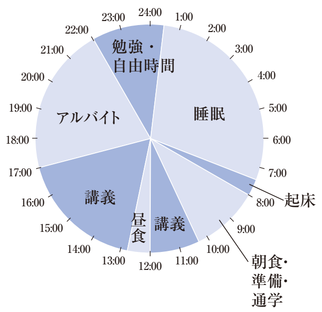
私は韓国出身で、留学生として在学していますが、日本人の学生の皆さんと変わらない学生生活を送っています。大学周辺で一人暮らしをしていて、毎日大学へ通い授業を受けています。また、アルバイト等をしながら生活費を稼いだり、社会経験を積んでいます。最初は外国での暮らしに様々な不安を抱いていましたが、周りの友人や大学の先生、職員の皆様の配慮で楽しい学生生活を送ることができています。本学では留学生と交流する機会も多いので、留学生の一人である自分もまた、日本人学生の皆さんとたくさん交流しています。これも本学での学生生活の楽しみの一つだと思います。

文学部日本語日本文学科４年 **パク イチョル**さん
（大韓民国・東牌（トンペ）高等学校出身）

■３年次後期の時間割

	月	火	水	木	金
1時限					
2時限	日本語史 Ⅱ	近代文学史		日本語学演習 Ⅷ	
3時限	人間と芸術	現代社会と企業	現代世界と歴史	古典文学史 Ⅱ	
4時限			日本語学史	日本語学特殊研究Ⅵ	
5時限			文学研究法基礎	日本語教授法 Ⅳ	
6時限					

■ある一日のスケジュール



■一ヶ月の収支

【収入】

アルバイト	70,000円
奨学金	100,000円
収入合計	170,000円

【支出】

食費	30,000円
家賃	42,000円
水道光熱費	17,000円
交際費・趣味	30,000円
原付維持費（ガソリン）	4,000円
貯金	47,000円
支出合計	170,000円

サークル活動　ともに研き、ともに笑う、仲間たちがここにいる。

学問に励みながら、多くの仲間と出会えるのも大学生活の大きな魅力です。
サークル活動を通じて、心身ともに研き合うことのできる友をつくる。学問だけでなく、生きることを学ぶ場でもあります。

体育系サークル（24団体）

- Army Combat Engineers（サバイバルゲーム）
- 一大事（よさこい）
- 弓道部
- 硬式テニス部
- サッカー部
- シーズンすぽっつ（スポーツ全般）
- シバーズ（ソフトボール）
- 女子バスケットボール部
- 女子バレーボール部
- 水泳部
- ソフトテニス部
- ダイビング部
- 卓球部
- 探検部
- 男子バレーボール部
- 男子バスケットボール部
- do DAC（ストリートダンス）
- 軟式野球部
- バドミントン部
- PUKバド（バドミントン）
- フットサル
- ラグビー部
- 陸上部
- ワンダーフォーゲル部

軟式野球部

do DAC

弓道部

水泳部

ダイビング部

体育委員長

総合管理学部総合管理学科３年
井上 美咲 さん
（熊本県立済々黌高等学校出身）

体育委員会では主に、体育会系サークルや部活動を代表して、学校側へ学生の要望を伝える架け橋のような役割を担っています。皆さんのお気づきやご要望等、お気軽にお申し付けください。皆さんの学生生活がより豊かなものになるように尽力致します。また、ここ数年新型コロナウイルスの影響で十分な活動は出来ていませんが、通常時は体育委員会主催の1年生のみを対象とした2泊3日のサマーキャンプ等を始めとして、委員会内や学校全体の親睦を深めるイベント活動も企画しています。皆様の多くのご参加をお待ちしております。

文化系サークル（22団体）

- 歌唄（アカペラ）
- 映像研究部
- MR研究会
- 合唱部
- 建築デザイン部
- 茶道・着物礼法部
- 写真部
- 手話サークル
- 植物資源利用研究会
- 書道部
- 吹奏楽部
- 箏曲部
- テーブルゲームサークル
- 天文部
- 美術部
- フォークソング研究部
- ぷくはび
- 文芸部
- Master Information Skills
- Maple Leaves（ボランティア）
- merci（創作いけばな）
- 歴史研究会

映像研究部

merci

合唱部

Maple Leaves

植物資源利用研究会

文化委員長

文学部日本語日本文学科３年
篠原 柚里香 さん
（大分県立臼杵高等学校出身）

文化委員会は、熊本県立大学の文化サークルや同好会のサポート、学生自治会からの諸連絡を各サークルへ伝達する役割を担っています。また、新入生歓迎オリエンテーションや白亜祭などの企画・運営にも携わっています。大学生活は俗に人生の夏休みと呼ばれるほど時間にゆとりが持てる期間だと思います。それをより豊かで充実させてくれるものの一つがサークル活動ではないでしょうか。皆さんに興味が湧くサークルが見つかることを祈っています。

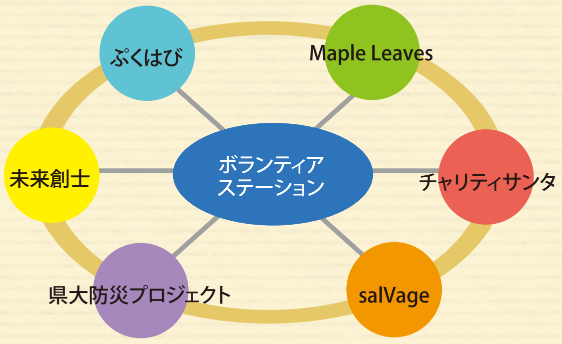
※サークル団体数は2023年3月現在

ボランティア活動

ボランティア活動は、公共福祉の観点から共助精神の涵養に資するものとして極めて意義深いものであり、また授業では学べない多くの体験ができるため、自己形成の上で極めて重要です。

ボランティアステーション

本学ではボランティア活動を支援する「ボランティアステーション」を設置しています。ステーションには、各種イベント運営などに参加する「Maple Leaves」、規格外野菜の活用を考える「SalVage～規格外野菜を救い隊～」、熊本地震の体験を生かして防災啓発する「県大防災プロジェクト」、人吉球磨の地域づくりに取り組む「未来創士」、子どもたちにクリスマスプレゼントを届ける「チャリティーサンタ」、海外での活動にも参加する「ぷくはび」などが加入しており、情報交換しながら合同イベントも開催しています。



ボランティアステーションイメージ図

ボランティアステーションの
HPはこちら

「SalVage～規格外野菜を救い隊～」の活動

総合管理学部総合管理学科３年
河野 花鈴 さん（広島なぎさ高等学校出身）

SalVage（サルベジ）は、規格外野菜の認知拡大や普及、熊本の地域理解及び地域創生を目的に活動しています。昨年は、農家の方への取材や、小学生向けの規格外野菜イベントの開催などを行いました。また、他大学と連携して農作業を行い、農業への理解を深めました。さらに、規格外のお花を活用した作品をマルシェで販売しました。規格外の作物に興味がある方や農家の方と関わる活動がしてみたい方、大学で新しいことに挑戦してみたい方などお待ちしています。

「チャリティーサンタ」の活動

総合管理学部総合管理学科２年
石田 彩乃 さん（大分県立大分雄城台高等学校出身）

チャリティーサンタ熊本支部では、依頼されたご家庭へクリスマスイブ (12/24) にサンタとして訪問し、プレゼントを届ける活動を行っています。また保育園等から依頼を受けて、パーティ訪問も行っています。これらの活動を「イブ活動」と呼び、学生の運営メンバーでイブ活動に向けて訪問の準備を進めながら、当日ボランティアとご家庭の募集を行います。運営メンバーとなった学生は4月から活動をスタートし、支部内交流会、企画立案、告知イベント実施等年間を通しての活動を行っています。

食育活動

食に関する体験研修や講義、イベントなどを環境共生学部内にある食育推進室が学生グループとともに学びながら、定期的に開催しています。あなたも参加してみませんか?

たべラボキャラクター
もぐ丸

たべラボ活動

熊本県内のさまざまな地域の食の魅力探し、イベント企画、学食でのメニュー開発プロデュースなどを行っており、自らの食生活・生活習慣のスキルアップと学内外への食育を実施する学部横断的な学生グループです。

食の魅力発見

野菜や出汁、お菓子作りなど様々なワークショップを実施しています。

食文化に触れる

日本の食・世界の食を、食べることで文化的な側面からも楽しみます。

暮らしに生かす

自分で作ったみそを味わったり、SDGsの観点からも考えます。

食育の日

大学生が地域の食材について学び、その食材を使った学食メニューを考案し提供しています。
毎月19日前後に開催しており、学生や教職員に好評です。

地域研修

地域の食材について学びます。

検討・試作

学んだ食材でお弁当を試作します。

学食提供

当日メニュー

食育・健康フェスティバル

毎年1回、本学の食育の取組や成果を学内外へ向けて発信することを目的に開催しています。
(令和4年度は、対面の講演会として実施しました。)

食に関する講演会

ラボカフェ

特産品マルシェ

保健センター

保健センターは、学生が充実した学生生活を送ることができるよう、心身の健康管理を行うとともに、修学上あるいは生活上の様々な悩みごとに関する相談業務を行っています。学内で具合が悪くなったり、怪我をした場合は、休養や簡単な応急手当を受けることができます。

定期健康診断

全学年を対象として定期健康診断を行っています。健康診断は学校保健法により、年1回必ず受診することになっておりますので、生活習慣の改善に役立ててください。必要に応じて、健康管理の支援をします。

学生相談

充実した学生生活を送れるよう、学生相談を行っています。なにか困ったことがあれば、一人で悩まず気軽にご相談ください。保健師と臨床心理士が様々な相談に応じています。必要に応じ教員や事務局と連携してサポートします。

地域・研究連携センター

地域・研究連携センターは、本学の教育研究資源を地域に繋ぐコーディネート機能や、授業公開講座など大学ならではの学びの場を地域に提供する役割を担うとともに、大学の研究力の向上に努め、「地域に生きる」熊本県立大学の地域貢献を推進します。

地域連携部門

地域からの様々な相談に対応し、本学の教育研究資源とのマッチングを図ります。
また、包括協定の締結や産学官連携など地域連携の取組を推進します。

研究支援部門

国の科学研究費助成事業を活用した研究や、企業、団体、自治体等の外部資金を活用した受託研究・共同研究の円滑な推進を支援します。

地域学習部門

授業公開講座、各種公開講座の開催や、職業人の学び直しとして、CPDプログラム(Continuing Professional Development継続的専門職能開発)を推進します。

随時情報配信中!

県大の研究室や地域貢献活動を紹介するサイトです。是非ご覧ください。

LINEでお友だちになると**公開講座**などの案内が届きます。

キャンパスマップ

Campus Map

学内を網羅するデジタル環境

学内無線LANのアクセスポイントは、教室や演習室、研究室など約420箇所に設置しており、うち300箇所は最新のWi-fi6(IEEE 802. 11ax)対応になっていますので、安定して快適に使用できます。また、各教室にはWeb配信・収録設備を設置しており、対面・遠隔併用のハイブリッド授業の実施が可能です。

モニュメント「宙(sora)」

児玉士洋氏作。
物質社会(柱)と精神社会(球)のバランスのとれた様を表し、若者の無限の可能性が宙へと伸びるようにという願いがこめられています。

モニュメント「オーバルカラム」

松尾光伸氏作。
土筆をイメージしたフォルムが若者の成長を、32面の楕円球がアルファベットと記号を表現しています。

モニュメント「大地」

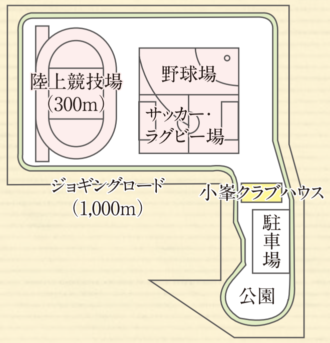
児玉士洋氏作。
自然と文明の融合による緊張と安定を表現。大地や水などの自然のパワーとエネルギーがテーマとなっています。

ブロンズ像「視」

石原昌一氏作。
1980年に、創立30周年と新キャンパス建設を祝って同窓会紫苑会から贈られたブロンズ像です。

小峯グラウンド

(所在地　熊本市東区小峯3丁目2613-1)



キャンパスから約2kmの近距離にある野球場、サッカー兼ラグビー場、300mトラックを兼ね備えたグラウンドです。また、グラウンドを周回した1,000mのジョギングロードがあり、一般にも開放しています。

❶本部棟

事務局各課・室(1階に教務入試課、学生支援課、IR室、2階に総務課、企画調整室)などがあります。

❷中ホール

300人収容のホールです。国際会議に対応するため、同時通訳ブースを設置しています。

❸キャリアセンター

キャリアセンター、トレーニングルームなどがあります。

■キャリアセンター
就職情報などの提供ときめ細やかな相談・指導など、学生一人ひとりの夢の実現に向けた(総合的な)キャリアサポートを行っています。→P59

■トレーニングルーム
学生・教職員の健康増進のためウエイトや各種マシンでトレーニングができます。

❹サブアリーナ　❺CPDホール

サブアリーナは1階に体育館、2階に弓道場があります。CPDホールは、収容人数が105人(うち固定席60席)規模の講義室で、150インチスクリーンを備えています。

❻アリーナ

1階には、柔剣道場などがあります。2階にはバレーボールコート2面分のスペースを有するアリーナがあります。

❼大学会館

学生食堂、書籍・売店、共通教育センター(→P21)があります。

■学生食堂
カフェテリアスタイルで、ガラス張りの吹き抜けとなっている明るい学食です。人気メニューは、日替りのランチやカレーです。

■書籍・売店
書籍や文具、事務用品の販売はもちろん、引越、旅行の予約・貸衣装、自動車学校の申込など便利な取次サービスも行っています。

❽講義棟1号館

小規模の講義室が12室あり、1階に学生ロビーと食育推進室、ボランティアステーションがあります。

❾小ホール・保健センター

中規模ながらフォーラムなども開催できる140人収容のホールです。また、応急手当や休養、学生相談ができる保健センターがあります。

❿文学部棟

文学部の教員研究室、ゼミ室、資料室などがあります。

⓫環境共生学部西棟

環境共生学部(主に居住環境学専攻・食健康環境学専攻)の教員研究室、各種実験実習室などがあります。

⓬⓭環境共生学部北棟・南棟

北棟と南棟からなり、環境共生学部(主に環境資源学専攻)の教員研究室、各種実験室などがあります。太陽光発電と雨水利用システムを備えるなど環境に配慮した施設です。

⓮構造実験棟

環境共生学部の構造実験室、材料実験室があります。

⓯グローカル棟

1階には地域・研究連携センターと緑の流域治水研究室があり、2階には国際教育交流センターがあります。

⓰図書館

ガラス張りの塔が印象的な図書館は、収容能力41万冊、蔵書数約38万冊を誇ります。1階にはオンラインでの会議・授業・面接等で活用できるパーソナルブース3台が設置されています。本学の学生や教職員をはじめ広く一般にも公開し、地域の図書館として利用されています。→P65

⓱講義棟2号館

4つの中講義室と5つの小講義室があるほか、情報処理実習室1室があります。

⓲大ホール

350人収容のホールです。200インチスクリーンによりPCなどを利用した講義が可能です。

⓳総合管理学部棟

総合管理学部の教員研究室、ゼミ室、資料室などがあります。また、1階には情報ネットワークの中枢であるデジタルイノベーション推進センターのほか、情報処理実習室2室があります。

⓴第1クラブ室

㉑第2クラブ室

Ⓐキャンパスプラザ

本部棟と講義棟1号館、大学会館の間に広がるオープンスペース。赤レンガと草木のコントラストの美しさが自慢です。モニュメント「大地」やブロンズ像「視」もあります。

Ⓑアカデミックプラザ

図書館と大ホールの間にひろがる、憩いと語らいのオープンスペース。図書館のガラス張りの塔とモニュメント「宙(sora)」が印象的な空間です。

Ⓒテニスコート

夜間照明を備えたテニスコートが6面あります。

Ⓓキャンパスギャラリー

Ⓔプール

アリーナに併設されている屋外プール(25m・7コース)です。

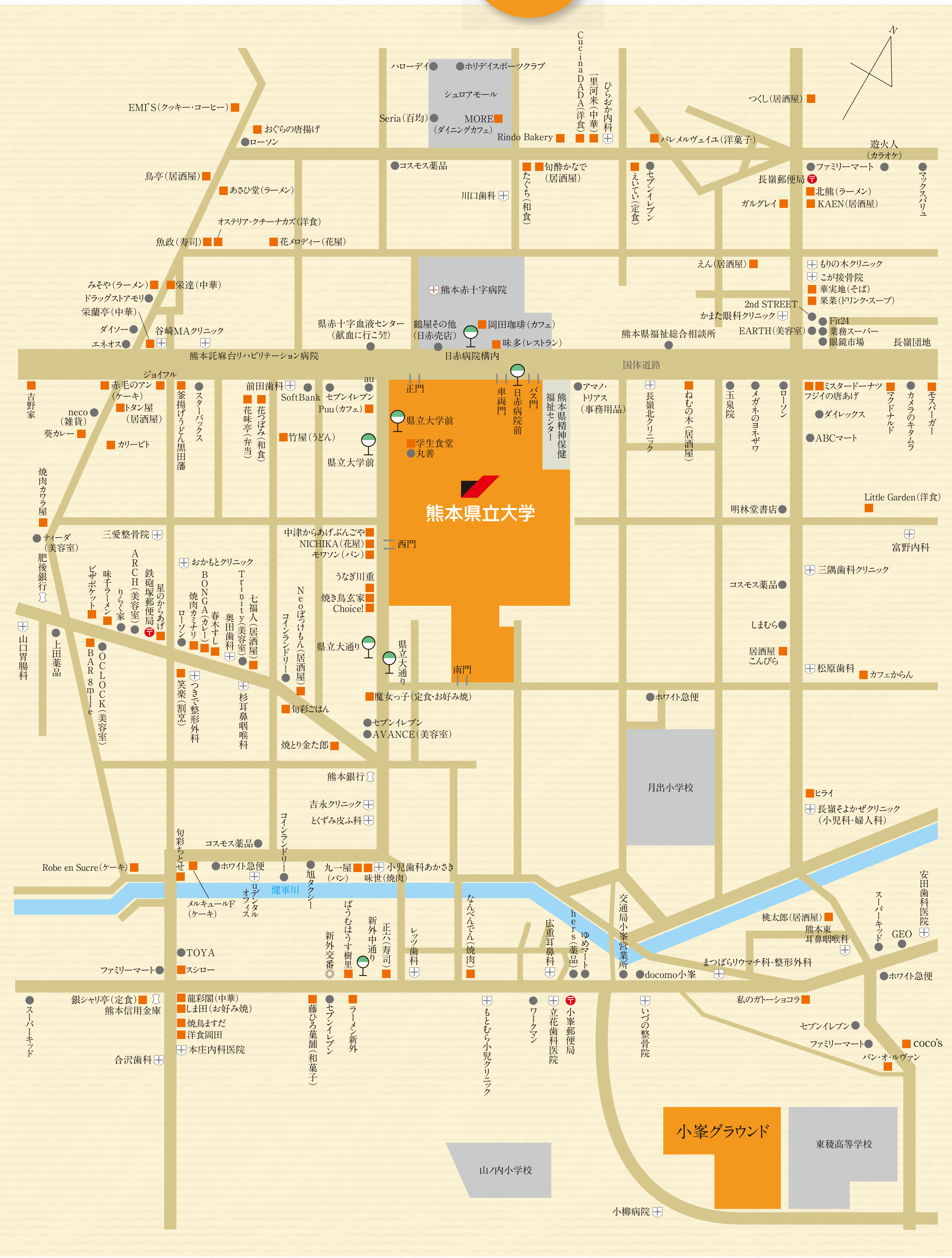
Ⓕ月出フィールド

緑の流域治水研究室実験棟や雨水を地中に浸透させる「雨庭」、実験用水路等が併設されています。

キャンパス周辺情報

熊本市
東区月出
エリア

熊本県立大学がある月出界隈は、
衣・食・住のバランスのとれた
アメニティタウンです！



学費・奨学金・経済支援

大学で学ぶには、何かとお金がかかるもの。熊本県立大学では、独自の奨学金制度「熊本県立大学奨学金」を創設するなど支援制度の充実に取り組んでいます。併せて授業料徴収猶予・減免制度など、経済支援制度も設けています。

◎学　費

種　別	入学金 （入学手続時に納入）	授業料 2期に分けて口座引き落とし
県　内	207,000円	年額 535,800円 （各期267,900円×2期）
県　外	414,000円	

※上記の金額は、2022年度のものです。
※入学金、授業料のほか、後援会費として67,000円（4年間分を入学時に一括納入）が必要です。他に学部により実習費、学会費や保険料（5,000円程度）が必要です。

◎授業料徴収猶予・月額払・減免制度

経済的理由、不慮の事故、疾病、その他やむを得ない特別な事情により、期限までに授業料の納付が困難な場合、徴収猶予（納付期限の延長）又は月額による納付（年額の12分の1を毎月納付）の許可を受けることができます。

また、一定の成績基準や家計基準を満たしている場合、申請により授業料が免除される場合があります。

さらに、学費負担者が年度途中に死亡、又は災害、事故、長期療養などにより生活に困窮し、授業料の納付が困難になった場合の減免制度もあります。

◎入学金納付時期猶予制度

日本学生支援機構の入学時特別増額貸与奨学金を受給する学生や、修学支援法の予約採用者については、入学金の納付時期が猶予されます。

◎大学院入学金免除制度

本学の学部を卒業し、本学大学院への進学を希望する者のうち、一定の条件を満たす者については入学金が免除されます。

◎熊本県立大学奨学金

本学では有為な人材を育成するため、熊本県立大学未来基金への寄附金等を活用しながら、本学独自の奨学金制度を設け、学生の修学を支援しています。

名　称	対　象	金　額	期　間
同窓会紫苑会奨学金	学業成績・人物ともに優秀であり、かつ経済的理由から修学が困難と認められる者（学部全学年より毎年10人程度）	年額20万円	1年
短期派遣留学生支援奨学金	学生交流に関する協定に基づき、1年以内の期間派遣される者（毎年度3人以内、ただし米国への1ヶ月未満の派遣はこの限りではない）	月額6万円から10万円 ※派遣先大学の所在地による	派遣先で修学する期間
小辻梅子奨学金	文学部英語英米文学科又は文学研究科英語英米文学専攻に在籍する者で一定期間以上の海外留学・研修を行うもの	1回5万円から10万円 ※同一学生の奨学金は、文学部在籍時と文学研究科在籍時のそれぞれについて、10万円をその上限額とする。	30日以上

※熊本県立大学奨学金の併給は認められませんが、日本学生支援機構奨学金等との併給は可能です。

◎日本学生支援機構奨学金

（独）日本学生支援機構が実施している奨学金制度です。

名　称		種　類	対　象	金　額		期　間
貸与奨学金	第一種奨学金	貸与（無利子）	学部※1（H30年度以降入学者）	自宅通学	月額20,000円、30,000円または45,000円※2	4年
				自宅外通学	月額20,000円、30,000円、40,000円または51,000円※2	
			大学院	博士前期	月額50,000円または88,000円	2年
				博士後期	月額80,000円または122,000円	3年
	第二種奨学金	貸与（有利子）	学部		月額2万円～12万円（1万円刻み）	4年
			大学院	博士前期	月額5万円、8万円、10万円、13万円または15万円	2年
				博士後期		3年
給付奨学金		給付※3	学部	自宅通学	月額29,200円（市町村民税所得割非課税世帯の場合）※4	4年
				自宅外通学	月額66,700円（市町村民税所得割非課税世帯の場合）※4	

※1．学部の第一種奨学金は、修学支援法に基づく給付奨学金受給中、貸与額が減額（または増額）される場合があります。
※2．申込時の家計収入が一定額以上の場合は、最高月額は選択不可。
※3．給付奨学金受給者は、申請により、給付奨学金の支援区分に応じ授業料等が減免されます（修学支援法に基づく授業料減免）。
※4．市町村民税所得割課税世帯の場合は、課税額に応じて2/3・1/3の給付奨学金を受けられる場合があります。

◎その他の奨学金

熊本県育英資金、熊本市奨学金など各都道府県・民間団体の奨学金制度がありますので学生支援課へお気軽にご相談ください。

入試情報

熊本県立大学の入試情報は、ホームページに集約されています。
出願期間、合格発表はもちろん、過去4年間の志願者数、競争率などの気になる情報が満載です。
入試について調べたい場合は是非ホームページをご覧ください。

熊本県立大学
入試情報ホームページ　https://www.pu-kumamoto.ac.jp/examination/

入試の日程（インターネットによる出願手続を実施しています。）

	一般選抜（個別学力検査）	自己推薦型選抜		特別選抜	
		環境共生学部 環境共生学科 居住環境学専攻	総合管理学部 総合管理学科	学校推薦型選抜 社会人選抜 帰国生徒選抜	私費外国人留学生選抜
出願期間	2024年1月22日（月）〜2024年1月31日（水）	2023年9月 7日（木）〜2023年9月15日（金）		〈学校推薦型選抜〉2023年11月 6日（月）〜2023年11月10日（金） 〈社会人選抜・帰国生徒選抜〉2023年11月 1日（水）〜2023年11月 8日（水）	2024年1月 4日（木）〜2024年1月11日（木）
選抜期日	前期日程 2024年2月25日（日） 後期日程 2024年3月12日（火）	2023年10月14日（土） 10月15日（日）（注）	第一次選考 2023年10月14日（土） 第二次選考 2023年10月15日（日）（注）	2023年12月 3日（日）	2024年2月 3日（土）
合格発表	前期日程 2024年3月 5日（火） 後期日程 2024年3月20日（水）	2023年11月 1日（水）		2023年12月11日（月）	2024年2月19日（月）
入学手続	前期日程 2024年3月 8日（金）〜2024年3月15日（金） 後期日程 2024年3月22日（金）〜2024年3月27日（水）	合格通知書到着日〜2023年11月10日（金）		合格通知書到着日〜2023年12月20日（水）	2024年3月11日（月）〜2024年3月15日（金）
募集要項の公表予定時期（ホームページ）	11月上旬（予定）	7月上旬（予定）		8月上旬（予定）	8月上旬（予定）

注…不測の事態の発生により上記期日に試験実施が困難になった場合に備え、2023年10月21日（土）、22日（日）を選抜予備日とします。

入学定員及び募集人員

学部	学科 専攻		入学定員	募集人員							
				一般選抜		自己推薦型選抜	特別選抜				
							学校推薦型選抜				社会人選抜・帰国生徒選抜・私費外国人留学生選抜
				前期日程	後期日程		県内	全国	農業・林業・水産・工業科	"くまもと夢実現"	
文学部	日本語日本文学科		45	30	10	–	5	–	–	県内2名以内	若干名
	英語英米文学科		45	28	10	–	7	–	–		若干名
環境共生学部	環境共生学科	環境資源学専攻	110	15	12	–	3（うち2名以上は熊本県内高等学校枠※1）		若干名※2		若干名
		居住環境学専攻		20	12	4	4	–	–		若干名
		食健康環境学専攻		28	8	–	4	–	–		若干名
総合管理学部	総合管理学科		280	A方式30 B方式60	A方式40 B方式50	50	50	–	–		若干名
合計			480	211	142	54	73				若干名

※1…熊本県内高等学校卒業見込みの者
※2…高等学校及び中等教育学校の農業、林業、水産又は工業に関する学科を卒業見込みで一定の要件を満たす者

一般選抜結果（2021〜2023年度）

学部	学科 専攻		日程 方式	2023年度 募集人員	2023年度 志願者数	2023年度 受験者数(A)	2023年度 合格者数(B)	2023年度 実質競争率(A/B)	2022年度 実質競争率	2021年度 実質競争率	2023年度 満点	2023年度 合格者最高点	2023年度 合格者最低点	2023年度 合格者平均点
文学部	日本語日本文学科		前期	30	81	77	34	2.3	3.3	2.6	900	707.8	553.2	597.8
			後期	10	73	28	13	2.2	3.0	2.9	800	572.2	483.4	527.1
			学科計	40	154	105	47	2.2	3.2	2.7				
	英語英米文学科		前期	28	54	52	35	1.5	2.3	1.4	900	616.0	502.4	554.0
			後期	10	82	26	15	1.7	2.8	1.8	900	662.0	479.4	533.5
			学科計	38	136	78	50	1.6	2.4	1.5				
	学部計			78	290	183	97	1.9	2.8	2.1				
環境共生学部	環境共生学科	環境資源学専攻	前期	15	38	36	17	2.1	2.7	2.5	1300	797.0	698.2	742.0
			後期	12	135	48	18	2.7	4.1	2.2	1200	780.4	636.9	692.7
			専攻計	27	173	84	35	2.4	3.3	2.4				
		居住環境学専攻	前期	20	45	43	21	2.0	3.9	2.3	1300	844.9	714.0	759.4
			後期	12	112	33	14	2.4	5.1	2.2	1300	945.4	787.5	844.0
			専攻計	32	157	76	35	2.2	4.4	2.3				
		食健康環境学専攻	前期	28	46	44	29	1.5	2.3	2.0	1300	860.4	613.6	726.7
			後期	8	92	24	11	2.2	2.8	2.4	1300	830.6	718.5	760.4
			専攻計	36	138	68	40	1.7	2.4	2.1				
	学部計			95	468	228	110	2.1	3.3	2.2				
総合管理学部	総合管理学科		前期A	30	95	94	37	2.5	3.9	4.1	600	449.1	358.7	384.5
			前期B	60	155	151	75	2.0	2.4	2.7	600	477.2	368.7	402.2
			後期A	40	187	89	52	1.7	2.8	2.9	600	452.2	331.0	375.0
			後期B	50	222	94	61	1.5	1.7	3.1	600	469.5	329.6	375.5
	学部計			180	659	428	225	1.9	2.5	3.1				
合計			前期	211	514	497	248	2.0	2.8	2.5				
			後期	142	903	342	184	1.9	2.7	2.7				
			計	353	1417	839	432	1.9	2.8	2.6				

※大学入学共通テストと個別学力検査の合計点です。調査書得点は含みません。
※追加合格者については数値に含めていません。

自己推薦型選抜結果（2023年度）

学部	学科 専攻	募集人員	志願者数	受験者数	第1次選考 合格者数	第1次選考 競争率	第2次選考 合格者数	第2次選考 競争率
環境共生学部	環境共生学科居住環境学専攻	4	27	26	4	6.5	–	–
総合管理学部	総合管理学科	50	190	190	90	2.1	51	3.7

特別選抜（学校推薦型選抜）結果（2023年度）

学部	学科 専攻		志願者数	受験者数	合格者数
文学部	日本語日本文学科		17	17	6
	英語英米文学科		8	8	7
環境共生学部	環境共生学科	環境資源学専攻	10	10	4
		居住環境学専攻	13	13	4
		食健康環境学専攻	18	18	4
総合管理学部	総合管理学科		91	91	50
合計			157	157	75

※農業・林業・水産科学校推薦型選抜、"くまもと夢実現"学校推薦型選抜を含む。

よくある質問

Q1. 熊本県内高校出身者の割合はどのくらいですか。

2023年度入学者全体でみると、熊本県内高校出身者が占める割合は79.9％です。

九州･沖縄地区出身高校の入学生数
※2023年度入学生

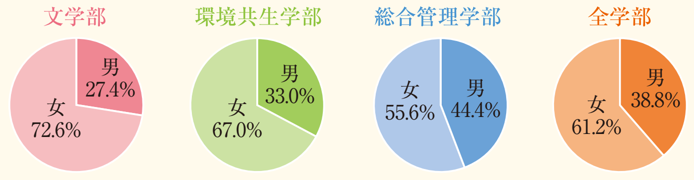
■入学者出身高校の所在地別データ（2023年度）

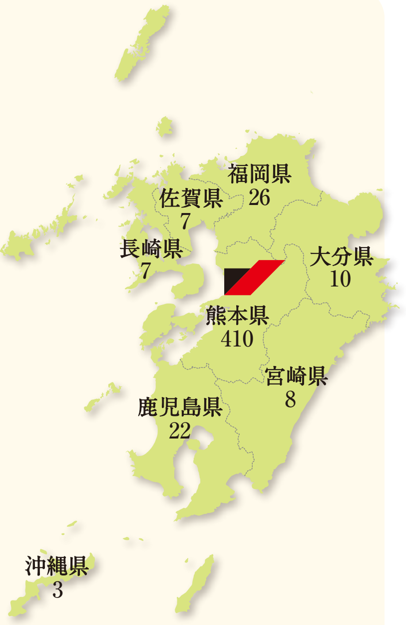
（人）

		九州圏外	九州圏内	内訳 福岡県	佐賀県	長崎県	熊本県	大分県	宮崎県	鹿児島県	沖縄県	その他	合計
全学部	男	11	188	9	0	1	163	3	3	8	1	0	199
	女	9	305	17	7	6	247	7	5	14	2	0	314
	合計	20	493	26	7	7	410	10	8	22	3	0	513

※その他は、外国の学校卒、高卒認定等

■入学者の男女の割合（2023年度）





Q2. 資料請求をしたいのですが、どのような方法がありますか。

大学案内（本冊子）及び入学者選抜概要は次の3つの方法で入手できます。

❶テレメールで請求
パソコン・スマホ・携帯電話を利用して請求できます。
https://telemail.jp
スマホ･携帯電話でQRコードをよみとってアクセスした場合は、資料請求番号の入力は不要です。

❶の請求方法についての問い合わせ先
テレメールカスタマーセンター
電話 050-8601-0102
（受付時間：9時30分～18時）

❷本学に郵便で請求
角形2号（A4サイズの冊子が入るもの）の返信用封筒に、送料分の切手（特別選抜は310円、他は215円）を貼付の上、受取人の郵便番号・住所・氏名を明記し、裏表紙記載の住所までお送りください。なお、往信用封筒の表に「大学案内請求」又は「入学者選抜概要請求」と朱書きしてください。

❸本学教務入試課で入手
本部棟ロビーで配布（設置）しております。土日祝日でも来学の上、自由にお持ち帰りください。
なお、各入学者選抜の募集要項の公表時期は次のとおりです。冊子での配布は行いませんので、本学のホームページからダウンロードしてください。
●自己推薦型選抜　7月上旬（予定）　●学校推薦型選抜　8月上旬（予定）　●一般選抜　11月上旬（予定）

Q3. 過去の入試問題は閲覧できますか。

本学教務入試課までお越しいただければ、閲覧いただくことは可能ですので、教務入試課入試班に電話（096-321-6610）でお問い合わせください。

熊本県立大学をもっと知りたい方へ

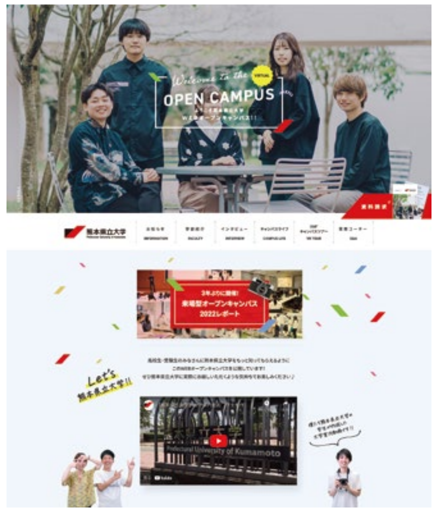
本学では、高校生の皆さんや保護者の方々及び先生方に、本学をさらにご理解いただけるような様々な入試広報を展開しております。
申し込み条件･手順等、詳細につきましては、本学ホームページをご覧ください。

オープンキャンパス	2023年7月16日（日）・17日（月･祝）（予定）
進学相談会	4月～10月
高校訪問	5月～ 9月
出張講義	5月～ 8月
学内見学（団体）	5月～10月 ※個人見学は随時

※各入試広報は、中止・延期・内容変更などの可能性があります。
最新の情報は、本学ホームページにてご確認ください。

WEBオープンキャンパス

絶賛公開中！



いつでもどこからでも参加できるオープンキャンパスとして、「熊本県立大学WEBオープンキャンパス」ホームページを公開中です。高校生の皆さんに向けた大学教員による模擬授業や学生インタビューのほか、熊本県立大学のキャンパスを360°体感できる360°キャンパスツアーやサークル紹介など、熊本県立大学をさらに知っていただけるような様々なコンテンツをご用意しています。
※2023年5月現在の掲載情報です。

大学教員による模擬授業

学生インタビュー

アクセスはこちらから
熊本県立大学WEBオープンキャンパス
URL　https://puk-oc.jp

アクセスマップ

マイカー・タクシーによるアクセス

- 熊本ICから ………… 約15分（約4.3km）
- 益城熊本空港ICから ………… 約10分（約4km）
- 阿蘇くまもと空港から ………… 約25分（約13km）
- JR熊本駅から ………… 約25分（約8.2km）
- JR水前寺駅から ………… 約15分（約4.2km）

バスによるアクセス

桜町バスターミナルから

15番のりば

- 都市バス「長嶺小学校」行、「免許センター」行（［G1-4］、［G1-5］表示）
  「日赤病院前」バス停下車（約30分）。そこから徒歩1分

26番のりば

- 都市バス「日赤病院·長嶺団地」行（［H1-1］、［H2-1］、［H3-1］表示）
  「県立大通り」又は「県立大学前」バス停下車（約40分）。
  そこから徒歩1分

JR熊本駅方面から

- バスにより桜町バスターミナル下車（約10分）
- 市電により辛島町電停下車（約10分）、その後桜町バスターミナルまで徒歩約2分

JR新水前寺駅方面「水前寺駅通り」バス停（スーパーマーケット前）から

- 都市バス「日赤病院·長嶺団地」行乗車（［H2-1］、［H3-1］表示）
  「県立大通り」バス停又は「県立大学前」バス停にて下車（約20分）。そこから徒歩1分

JR水前寺駅方面南口「水前寺駅前」バス停から

- 都市バス「日赤病院·長嶺団地」行乗車（［H2-1］表示）
  「県立大通り」バス停又は「県立大学前」バス停にて下車（約20分）。そこから徒歩1分

JR水前寺駅方面北口「熊高正門前」バス停から

- 都市バス「日赤病院·長嶺団地」行乗車（［H1-1］、［H4-1］表示）
  「県立大通り」バス停又は「県立大学前」バス停にて下車（約20分）。そこから徒歩1分

熊本県立大学
〒862-8502 熊本市東区月出3丁目1番100号
TEL 096-383-2929（代） FAX 096-384-6765
http://www.pu-kumamoto.ac.jp/
E-mail:kyoumu@pu-kumamoto.ac.jp

熊本県立大学 検索

VEGETABLE OIL INK
この印刷物は環境に配慮して植物油インキを使用しています。